

徳用クヤダ遺跡3

2017

石川県野々市市教育委員会

徳用クヤダ遺跡3

2017

石川県野々市市教育委員会

例 言

- 1 本書は、徳用クヤダ遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は、石川県野々市市徳用町・郷町地内である。
- 3 調査原因は、野々市市北西部土地地区画整理事業にともなうものである。
- 4 調査は、野々市市北西部土地地区画整理組合からの依頼を受けて野々市市教育委員会が実施した。
- 5 調査にかかる費用は、野々市市北西部土地地区画整理組合と野々市市が負担した。
- 6 現地調査の年度・期間・面積・担当者は以下のとおりである。
平成17年度 第3次
期間 平成17年4月10日～平成17年11月28日 面積 1,645㎡ 担当者 徳野裕子 野々市市教育委員会文化振興課職員
平成20年度 第6次
期間 平成20年4月9日～平成21年1月30日 面積 3,332㎡ 担当者 徳野裕子
平成21年度 第8次
期間 平成21年12月1日～平成22年2月2日 面積 601㎡ 担当者 田村昌宏 野々市市教育委員会文化振興課職員
平成22年度 第9次
期間 平成22年4月20日～平成22年8月31日 面積 2,011㎡ 担当者 徳野裕子
- 7 出土品整理は平成18～28年度に野々市市教育委員会が実施した。
- 8 報告書の刊行は平成28年度に野々市市教育委員会文化課が実施し、執筆・編集は田村昌宏が行った。
- 9 本書についての凡例は以下のとおりである。
(1) 方位は座標北を指し、座標は国土交通省告示の平面直角座標第Ⅶ系に準拠している。
(2) 水平基準は海抜高であり、T.P.(東京湾平均海面標高)による。
(3) 出土遺物番号は、本文・観察表・挿図・写真に対応する。
(4) 挿図の縮尺は図に示すとおりである。また、写真図版における遺物の縮尺は統一していない。
(5) 土層図の注記は、農林水産省農林水産技術会事務局・財団法人 日本色彩研究所監修『新版標準土色帖』に拠った。
(6) 遺構名称の略号は以下のとおりである。
掘立柱建物：SB、竪穴建物・竪穴状遺構：SI、土坑：SK、井戸：SE、溝：SD、不明遺構：SX、自然河道：NR、小穴：P
- 10 調査に関する記録と出土遺物は、野々市市教育委員会が一括して保管・管理している。

目 次

第1章 調査の経過	1	第5章 第8次調査の成果	45
第1節 調査に至る経緯	1	第1節 遺構	45
第2節 発掘調査作業の経過	1	第2節 遺物	45
第2章 遺跡の位置と環境	2	第3節 まとめ	45
第1節 地理的環境	2	第6章 第9次調査の成果	49
第2節 歴史的環境	3	第1節 遺構	49
第3章 調査の方法	4	第2節 遺物	51
第1節 調査の方法	4	第3節 まとめ	51
第2節 層序	4	写真図版	68
第4章 第3・6次調査の成果	6		
第1節 遺構	6		
第2節 遺物	12		
第3節 まとめ	12		

第1章 調査の経過

第1節 調査に至る経緯

本報告収録の徳用クヤダ遺跡が所在する野々市市西北部地域は、整然とした水田が広がる農業振興地域であった。しかし、近年における周辺地域の都市化に伴い、本地域も住生活環境の変化が必要となり宅地化の促進が図られることになった。そこで、平成11年に野々市市西北部土地区画整理事業が施行されることが決定した。

西北部土地区画整理施行区域65.4ha内には、埋蔵文化財の存在する可能性があり、詳細な確認調査を行う必要が生じた。そこで、平成11年8月25日付で野々市市（当時）産業建設部長から野々市市教育委員会教育長宛に土地区画整理事業区域内の埋蔵文化財の分布調査についての依頼が出され、同年8月31日付けで同区域での分布調査を行う旨の回答をした。これに基づき、西北部土地区画整理施行区域内に試掘坑352箇所を設定し、宅地化など掘削作業できない箇所を除いた337箇所を、同年9月27日～10月19日にかけて試掘調査を実施した。その結果、以前より存在が確認されていた二日市イシバチ遺跡の南側の範囲が確定したほか、新たに、三日市ヒガシタンボ遺跡、三日市A遺跡、郷コボタ遺跡、徳用クヤダ遺跡を発見した。

この結果から、野々市市西北部土地区画整理組合、野々市市都市計画課、野々市市教育委員会と協議を重ね、埋蔵文化財包蔵地のうち、道路等恒久化する工事箇所と、民有地内で十分な遺跡の保護層が確保できない箇所については、発掘調査を行うことで合意した。平成12年4月13日付けで、野々市市と野々市市西北部土地区画整理組合との間で野々市市西北部土地区画整理事業地区内埋蔵文化財に関する協定書が交わされた。

二日市イシバチ遺跡、三日市ヒガシタンボ遺跡、三日市A遺跡、郷コボタ遺跡、徳用クヤダ遺跡に関する文化財保護法第57条の3に基づく届出については、西北部土地区画整理組合から文化庁長官宛に提出されたものを、平成12年3月29日付けで野々市市教育委員会教育長から石川県教育委員会教育長宛に達達した。これを受けて、同年3月30日付けで石川県教育委員会教育長から野々市市教育委員会教育長宛に埋蔵文化財発掘調査の届出に関する通知がなされた。

以上の手続きを終えて、平成13年度より上記5遺跡の発掘調査が開始された。

第2節 発掘調査作業の経過

第3次（平成17年度調査）

第3次発掘調査は、土地区画整理地区内の区画道路工事に伴う調査である。

平成17年4月1日、野々市市土地区画整理組合（当時 以下、西北部組合と呼称）から野々市市（当時）に当該地域における発掘調査の依頼があった。同月同日、野々市市は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を西北部組合に提出し、その計画書に基づいて、野々市市と西北部組合との間で委託契約を締結した。現地調査は4月10日より開始し11月28日に完了した。

第6次（平成20年度調査）

第6次発掘調査は、土地区画整理地区内の民有地内で十分な遺跡の保護層が確保できない箇所での調査である。

平成20年4月1日、西北部組合から野々市市に当該地域における発掘調査の依頼があった。同月同日、野々市市は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を西北部組合に提出し、その計画書に基づいて、野々市市と西北部組合との間で委託契約を締結した。現地調査は4月9日より開始し、平成21年1月30日に完了した。

第8次（平成21年度調査）

第8次発掘調査は、土地区画整理地区内を流れる郷用水の河川改修工事に伴う調査である。

平成21年4月1日、西北部組合から野々市市に本遺跡における発掘調査の依頼があった。同月同日、野々市市は本地区内の民有地内で十分な遺跡の保護層が確保できない箇所（第7次）における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を西北部組合に提出し、その計画書に基づいて、野々市市と西北部組合との間で委託契約を締結した。その後、西北部組合の方から、土地区画整理地区内の工事計画の中で、郷用水河川改修工事を先行して実施したい旨の話があり、平成21年11月16日、西北部組合から野々市市に当該地域における発掘調査の依頼があった。11月18日、野々市市は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の変更計画書を西北部組合に提出し、その計画書に基づいて、野々市市と西北部組合との間で委託契約を締結した。現地調査は12月1日より開始し、平成22年2月2日に完了した。

第9次（平成22年度調査）

第9次発掘調査は、土地区画整理地区内の公園用地に設けた調整池造成工事に伴う調査である。

平成22年4月1日、西北部組合から野々市市に当該地域における発掘調査の依頼があった。同月同日、野々市市は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を西北部組合に提出し、その計画書に基づいて、野々市市と西北部組合との間で委託契約を締結した。現地調査は4月20日より開始し、8月31日に完了した。

なお、出土品などの整理作業は、現地調査年度が終了した翌年度より随時実施し、併行して報告書の執筆を行い、編集作業等を経て平成29年2月24日までに、発掘調査報告書を刊行した。



第1図 野々市市位置図



第2図 北西部土地画整理事業地区遺跡位置図

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

野々市市は石川県のほぼ中央、金沢平野の要地に位置する。市の大きさは南北約6.7km、東西4.5kmで、県内で最も面積の小さい自治体である。市域は霊峰白山を源とする県下第一級河川手取川によって形成された手取川扇状地の北東部にあたり、扇中部と扇端部の狭間に位置する。本市で最も高い標高地は約50m、最も低い地点は約10mで、などらかな緩斜面となる地勢をみせている。

現在の野々市市は平坦な地形が広がっているが、従前は手取川から派生する多くの小河川によって形成された微高地と微低地が混在する地形であった。野々市で人々の生活が認められるのは縄文時代後期前半からで、集落の拠点は微高地であった。この時代は扇状地の大部分が未開の原野で、ススキや低木が生い茂る荒地であったようである。その後、稲作の伝わる弥生時代から金沢平野の中で水田耕作が営まれるようになり、土地の開墾が始まっていった。古代以降、農耕具の発達などにより凸凹の多い土地は次々と開発されていき、未開発地は耕作地として生まれ変わっていった。明治時代以降は、田区改正による耕地整理が各地で急速に広がり、市内全域は起伏のない平坦な地形へと移り変わり、水田区画は甚整目のように整然となった。このような大きく広がった田園風景は昭和30年代ころまで見られた。

しかし、昭和40年代の高度経済成長期以降は、県庁所在地金沢市の隣接地という地理的条件から、住宅地や商業施設の建設などが著しくなり、急速に水田風景は失われていった。特に、北部の御経塚地区や南部の三納・栗田・新庄地区は土地区画整理事業が進み、住宅地として生まれ変わっていった。今回、発掘調査箇所となる市域北西部地区も土地区画整理事業の一貫として行われており、周辺地は大きな変貌を遂げてきている。また、市内の東部には金沢工業大学、南部には石川県立大学といった教育機関が置かれ、野々市市は、若者が多く集う学園都市としての性格も持ち合わせている。

今回の発掘調査地である徳用クヤダ遺跡は、標高約15mで、手取川から派生する小河川によって形成された微高地上に立地する。ただし、市域上流部と比較して、大きな川原石の堆積は少なく、微低地との高低差も大差ないことから、当時の生活拠点の場としては、適した地であったと思われる。

第2節 歴史的環境

縄文時代

本遺跡より北東方約1km離れたところには国指定史跡となっている6御経塚遺跡が所在する。御経塚遺跡は、縄文時代後期中葉～弥生時代初期にかけて営まれた地域における拠点集落である。当遺跡で発見された御経塚式土器は縄文時代晩期前半の基準資料となる。御経塚遺跡の近隣には、縄文時代後期後半～晩期後半の1チカモリ遺跡や縄文時代後期後半～晩期後半の2中屋サワ遺跡といった集落遺跡が点在し、御経塚遺跡の拠点集落を中心に展開した山村的な集落であったようである。これらの遺跡は標高6～10mに立地し、扇状地を伏流する地下水の湧水域であった。また、当時の生活に必要な落葉広葉樹と照葉樹が混在する豊かな林野が大きく広がっていた場所でもあったことから、この地帯は当時の人々にとって生活環境に最適な場であったようである。

本遺跡より南東約2kmのところには、縄文時代晩期の17長竹遺跡がある。長竹遺跡は縄文時代晩期後半の基準資料となる土器が出土した遺跡で、水田稲作農耕が西日本に波及しはじめた極めて重要な時期である。なお、三日市A遺跡及び御経塚遺跡からは、当該時期の稲穂の圧痕のついた土器が出土している。

弥生時代

手取川扇状地一帯における弥生時代の遺跡分布を見ると、前期～中期にかけては極めて少なく、後期に数多く存在する。御経塚遺跡（ツカダ地区）、15乾道跡から、柴山山出村式と呼ばれる弥生時代前期の土器が確認されているが、この時期は弥生文化の波及が十分ではなく、まだ縄文文化の影響が強く残っていたようである。

弥生時代後期になると、鉄器の普及などを要因とする生産力の向上から人口が増え、それに伴い手取川扇状地一帯にも集落が展開するようになる。本遺跡周辺にある5御経塚シンデン遺跡、御経塚遺跡、7長池ニシタンボ遺跡、9二日市イシバチ遺跡、10郷コボタ遺跡、12三日市A遺跡、13三日市ヒガシタンボ遺跡、14徳丸ジョウジャダ遺跡などからは、堅穴建物や掘立柱建物などで構成される集落跡が見つかる。これは、農耕社会が急速に広がったことから、安定した農耕地の確保が必要となったため、広範にわたってムラが形成していったと考えられる。

古墳時代

古墳時代前半については、本遺跡周辺で、弥生時代後期からの流れを汲む集落跡を確認することができるが、扇状地上での集落数は激減し、一旦収束傾向となる。ただし、本遺跡より北方1kmにある御経塚シンデン遺跡・御経塚シンデン古墳群では、弥生集落廃絶後に15基の前方後方墳、方墳からなる大古墳群を造立している。また、二日市イシバチ遺跡でも一辺約18mの規模を中心とした大小の方墳7基を確認しており、各地域を治める首長層の存在を伺うことができる。

古墳時代後半になると、本遺跡から南方約4kmの市上流域の扇状地扇央部で末松古墳や上林古墳など後期古墳が築かれるようになる。これは河川上流域における開発が広がり始めていったことを意味する。

古代

7世紀後半には、本市南端で手取川扇状地扇央部に、県内最古の古代寺院、末松廃寺が建立される。末松廃寺跡は、東に塔、西に金堂が置かれた法起寺式の伽藍配置をもち、この寺院建立以降、市内南部地域を含む手取川扇状地扇央部一帯で耕作地開発が急速に進み、特に8世紀後半以降は18三納アラミヤ遺跡をはじめとする周辺各地に集落が増大していく。扇状地扇端部には、初期荘園の遺跡である3横江荘々家跡、4上荒屋遺跡が所在する。また、三日市A遺跡からは、9世紀頃に成立した古代の官道である北陸道の跡が見つかり、上記荘園遺跡との関係が指摘されている。

中世

11世紀後半～12世紀頃からは、在地領主層の武士団の形成が図られるようになった。地元武士団である林氏や富樫氏は、手取川扇状地での新開発や再開発に大きな影響を与えた。しかし、市内においては現在のところ中世前半にかけての遺跡はあまり多く確認されていない。中世の遺跡が多く認められるようになるのは、富樫氏が加賀国の守護職に任じられ、野々に守護所を置く14世紀頃からである。加賀国守護所富樫館跡は、本市東端に位置し、本遺跡をはじめ、北隣の郷コボタ遺跡や中屋サワ遺跡では、溝で囲まれた中に建物などが配置される散居村のような景観が広がる集落が認められる。また、本遺跡南東方1.5kmにある16堀内館跡では、幅15m、深さ1mほどの大きな堀で囲まれた屋敷地の跡も確認されている。15世紀以降になると、本遺跡、8長池キタノハシ遺跡、三日市A遺跡では、掘立柱建物、堅穴穴造構などの主要遺構が密集した村落形態を示し、14世紀頃までみられた散村から集村へと大きく変わる様相となる。

近世

現在見ることのできる集落は、近世に成立したと考えられる。郷町集落（本遺跡第9次）や御経塚集落内（御経塚遺跡デト地区）での発掘調査でも、近世の遺構・遺物を発見している。また、乾道跡や三日市A遺跡からは、近世前半の墓跡を確認している。

第3章 調査の方法

第1節 調査の方法

調査は、大型掘削機（重機）による表土の除去作業からはじめた。重機による掘削は、遺構（地山）面直上までとし、重機掘削完了後、作業員の人力で掘削作業を実施した。作業は、遺構（地山）面の検出を実施した後、遺構の地点を明確にするため、遺構略図を作成し、同時に遺構の掘削作業を行った。主要遺構や遺物が出土したものについては、図化記録をしてから完掘した。遺構完掘後は、清掃作業を行ってから、空中写真測量及び個別遺構写真を撮影して現地調査を終えた。

整理作業については、野々市市ふるさと歴史館内にある調査整理室で実施した。作業手順は、出土した遺物を、水で洗浄し乾燥させ、乾燥した遺物に遺跡名や出土した地点などを記名、及び同一個体となる遺物を接着剤で接合した。記名・接合後、一部の遺物は実測し、この遺物実測図や現地で表記した遺構実測図を製図トレスした。

作業完了後、遺物の写真を撮影し、併行して調査担当者が原稿執筆、図面・写真のレイアウト等を行い、報告書を刊行した。

第2節 層序

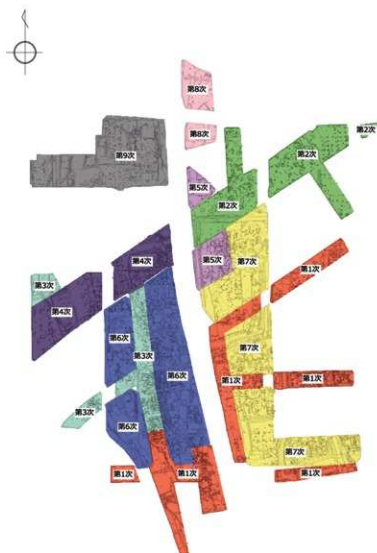
層序については、1の灰色粘質土は土地区画整理事業以前まで行われていた水田耕作土である。2の橙灰色粘質土は、1水田耕作土の整地層にあたる。3の暗灰色粘質土は、近世から近代までの水田耕作土と考えられる。4の暗灰褐色粘質土は古代以前の遺物包含層にあたり、中世の遺構面にも相当すると思われる。その下の5黄褐色粘質土は、古代より以前の遺構（地山）面である。

第1表 周辺の遺跡一覧表

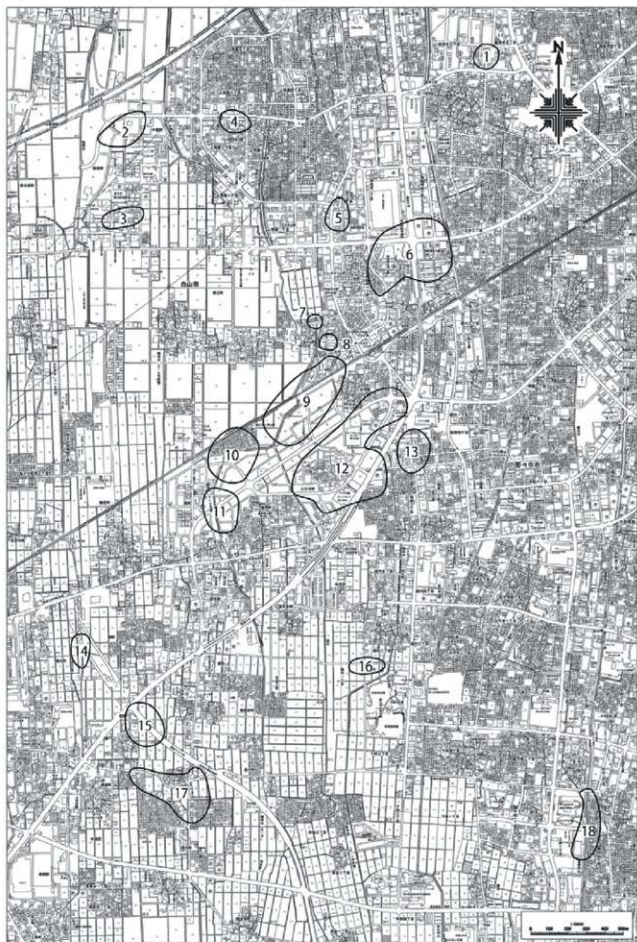
遺跡名	種別	時代
1 チカモリ遺跡	集落跡	縄文
2 中屋サワ遺跡	集落跡	縄文～中世
3 横江荘々家跡	荘園跡	古代
4 上荒屋遺跡	荘園跡	縄文～中世
5 御経塚シンデン遺跡等	集落跡	弥生～中世
6 御経塚遺跡	集落跡	縄文～中世
7 長池ニスタンボ遺跡	集落跡	弥生
8 長池キタノハシ遺跡	集落跡	中世
9 二日市イシバチ遺跡	集落跡	縄文～中世
10 郷クボタ遺跡	集落跡	弥生～中世
11 徳用クヤダ遺跡	集落跡	弥生～中世
12 三日市A遺跡	集落跡	縄文～中世
13 三日市ヒガシタンボ遺跡	集落跡	弥生～中世
14 徳丸ジョウジャ遺跡	集落跡	弥生 古代
15 乾道跡	集落跡	縄文～近世
16 堀内船跡	船跡	中世
17 長竹遺跡	散布地	縄文～古墳
18 三納アラムヤ遺跡	集落跡	古代 中世

	1 灰色粘質土（水田耕作土）
	2 橙灰色粘質土（水田耕作土整地層）
	3 暗灰色粘質土
	4 暗灰褐色粘質土（遺物包含層）
	5 黄褐色粘質土（地山）

第3図 基本土層図



第4図 発掘調査年次位置図



第5図 遺跡の位置と周辺の遺跡

第4章 第3・6次調査の成果

第3次調査区と第6次調査区は隣接しているため併せて報告する。また、第3次調査区は、第4次調査区を挟んで北方をA区、南側をB区とする。A区の主要遺構は溝のみで、B区においては、掘立柱建物、堅穴状遺構、土坑、溝など多種に及ぶ。

第1節 遺構（第6図）

① 掘立柱建物

本次調査における掘立柱建物は3棟分報告するが、調査区内には柱穴に相当するビットがまだまだ多く認められることから、建物数は本報告以上に増えると考えられる。

SB1（第7、10図）

B区北端で確認した掘立柱建物で、北半は調査区外に延びるため全容はわからない。南北1間以上×東西2間で、方位はN8°Wである。柱間の長さは南北が4.2m、東西が3.0～3.3m、柱穴の形状は略円形で、直径40～70cm、深さ30cm前後を測る。

SB2（第8、10図）

SD6の南側に位置する総柱式掘立柱建物である。南北3間×東西3間で、西面は庇となる。方位はN5°Wである。柱間の長さは南北3.0～4.0m、東西3.2～4.0m、主屋と庇の柱間の長さ約2.8mである。柱穴は略円形で、直径30～70cm、深さ35～85cmを測る。

SB3（第9、10図）

調査区南端に位置する掘立柱建物である。南北1間×東西3間で、方位はW8°Sである。柱間の長さは南北が4.0～4.4m、東西が2.0～3.4m、深さ25～55cmを測る。

② 堅穴状遺構

SI1（第7、10図）

B区北端で確認した堅穴状遺構である。本遺構の北半分は調査区外へと延び、南東部はSK1に切られているため、全容はわからない。南北長1.5m以上、東西長約2.0m、深さ約20cmを測る。本遺構の中央部には人頭大の大きさの石が複数入ったビット1基が認められる。

SI2（第7、10図）

B区北端に位置する南北に長い隅丸長方形のプランをしている。東西溝SD1が本遺構の中央部を走り、大きく分断している。規模は南北長約3.2m、東西長約2.2m、深さ15～25cmを測る。

SI3（第7、10図）

B区北端に位置する隅丸方形プランの堅穴状遺構で、SI2により西壁は崩されている。また、東西溝SD1が本遺構の北端を横断していることから、プランの全容はよくわからない。規模は南北約3.2m、東西3.1m、深さ15～30cmである。

SI4（第7、11図）

B区北側SD2の南隣にある東西に長い長方形プランの堅穴状遺構である。遺構内には、方形のさなる落ち込みが見られる。規模は、南北長約2.2m、東西長約4.6m、深さ20～30cmを測る。

SI5（第7、11図）

SD2の南方に位置する堅穴状遺構である。東半分はSK6に切られており全容は不明である。東西長1.2m以上、南北長約2.0m、深さ20～35cmを測る。

SI6（第7、11図）

SK6の南側に位置する南北に長い隅丸長方形の堅穴状遺構である。南北長約4.3m、東西長約3.2m、深さ25～30cmを測る。本遺構の中央には、南北溝SD4が走っており、その溝による掘り込みが認められる。

SI7（第7、11図）

SI6の南隣に位置する。隅丸方形のプランであるが、東辺は湾曲しておりやや歪な形状をしている。南北長約3.4m、東西長約3.4m、深さ30cm前後を測る。本遺構の中央には南北溝SD4が縦断する。

SI8（第7、11図）

SI18と切り合っている堅穴状遺構で、土層断面からSI18が新しいことがわかっている。プランは隅丸方形と考えられるが、ビットを含む複数の遺構が錯綜しており、形状は歪になっている。南北長約3.8m、東西長約3.0m、深さ約30cmを測る。

SI9（第7、12図）

SK2の南隣に位置し、南半分はSI10に切れ全容は不明である。南北長1.7m以上、東西長約2.8m、深さ約15cmを測る。

SI10 (第7、12図)

SI9の南側を造り替えるように掘られている堅穴状遺構である。隅丸方形プランをし、南東部はやや出っ張っている、南北長約3.1m、東西長約2.8m、深さ約20cmを測る。

SI11 (第7、12図)

SI10の西隣に位置し、南北に長い長方形プランを呈する。南北長約2.6m、東西長約1.8m、深さ約15cmを測る。

SI12 (第7、12図)

SI10・11の南隣に位置する正方形に近い堅穴状遺構である。南北長約2.1m、東西長約2.0m、深さ約20cmを測る。

SI13 (第7、12図)

SI11の南隣に位置し、SI12・14・15が交わっていることから全容はわからない。南北長1.7m以上、東西長約2.1m、深さ約15cmを測る。堅穴内には人頭大の石列が南北方向に走っているが、本遺構に伴うものではないと考えられる。

SI14 (第7、12図)

SI13・15と接する堅穴状遺構で、平面図ではSI15に切られる図示をしているが、土層断面からSI14の方が新しいことがわかっている。また、本遺構を取り囲むように人頭大の石列が西側と南側で見られる。これは、SI13・15を埋めた後に本遺構の造成の際に補強するために置かれたものと考えられる。石列を含む規模は南北長約1.5m、東西長約2.8m、深さ約20cmを測る。

SI15 (第7、12図)

SI14と交わる隅丸方形をした堅穴状遺構で、東側は調査区外へ延びる。南北長約3.3m、東西長3.5m以上、深さ約30cmを測る。

SI16 (第7、12図)

SI15の南西隣にあり、SI15・17と交わる。東西に長い隅丸長方形をし、南北長約3.1m、東西長約5.0m、深さ約30cmを測る。

SI17 (第7、12図)

SK8の南隣に位置する。SI16に東半を切られ全容は不明である。南北長約1.8m、東西長1.8m以上、深さ約45cmを測る。

SI18 (第7、11図)

SI8と切り合っている堅穴状遺構で、土層断面から本遺構が新しいことがわかっている。プランは隅丸方形である。南北長約2.7m、東西長約3.1m、深さ約20cmを測る。

SI19 (第7、13図)

SI17・18の南隣に位置し、東側が大きく膨らんだ隅丸方形をしている。南北長約4.9m、東西長約5.4m、深さ約50cmを測る。

SI20 (第7、13図)

SK10の南隣に位置し、南北に長い隅丸長方形プランをしている。東壁の際には、補強のためによる拳大の石を並べている。南端は、SK20により切られている。南北長約3.3m、東西長約2.4m、深さ約20cmを測る。

SI21 (第7、13図)

SI19の南隣に位置し、東西に長い隅丸長方形プランをしている。南北長約3.0m、東西長約4.0m、深さ約50cmを測る。

SI22 (第7・8、13図)

SI21の南隣に位置し、SD6と切り合う。平面図ではSD6が切った形状をしているが、土層断面から本遺構の方が新しいことがわかっている。プランは東西に長い隅丸長方形で、南北長1.7m以上、東西長約4.0m、深さ50cm前後を測る。

SI23 (第8、14図)

SD6の西側に位置し、正方形プランを呈する。規模は一辺約3.0m、深さ15～20cmを測る。土層断面から改修が認められており、当初掘られた箇所から、1mほど南に移動して造り替えた。

SI24 (第7、8、14図)

SI20の南東側にある隅丸方形の堅穴で、改修により北側へ2m程移動している。東半は攪乱を受けており全容は不明である。改修前は南北長2.5m以上、東西長3.4m以上、深さ約50cm、改修後は南北長約4.0m、東西長1.6m以上、深さ約20cmである。

SI25 (第8、14図)

SK33・34の南側にある隅丸方形の堅穴である。東端は調査区外となる。南北長約4.8m、東西長4.5m以上、深さ約60cmを測る。

SI26 (第8、15図)

SI25の南隣に位置し、東端は調査区の外へ延びる。土層断面からは明確に示すことはできなかったが、平面形状から複数の堅穴が切り合っていたと思われる。規模は南北長約6.4m、東西長3.6m以上、深さ約45～55cmを測る。

SI27 (第8、15図)

SK44の北隣に位置する。南北に長い隅丸略方形のプランをし、南北長約5.7m、東西長約4.4m、深さ約40cmを測る。底には小ぶりの石が多数見られるが、地山土の中に混じって堆積した礫石である。

SI28 (第8、15図)

SI26の南隣に位置する。東半は調査区外へと延びる。南北長約5.5m、東西長約2.4m、深さ40cm前後を測る。

SI29 (第8、15図)

SI30に切られている方形プランの堅穴状遺構である。南北長約3.4m、東西長1.8m以上、深さ40cm前後を測る。

SI30 (第8、15図)

SI28の南西側にいる隅丸正方形プランの堅穴状遺構である。一辺約5.2m、東西長1.8m以上、深さ50～60cmを測る。

SI31 (第8、9、16図)

SI30の東隣に位置し、東半は調査区外へと延びる。複数の遺構が錯綜しており、形状は不定形に見えるが、従来は方形プランであったと考えられる。南北長4.6m以上、東西長3.2m以上、深さ40～50cmを測る。

SI32 (第9、16図)

SI31の西側に位置する隅丸方形プランの堅穴状遺構である。土層断面から2回の改修が認められる。南北長約9.5m、東西長約4.8mと規模が大きく見えるが、一辺約4mの堅穴状遺構が同箇所でも2回改修されたことによる。深さ約30cmを測る。

SI33 (第9、16図)

SI32の南西側に位置する隅丸方形プランの堅穴である。南北長約3.0m、東西長約3.4m、深さ10～15cmを測る。

③ 土坑

SK1 (第7、10図)

B区北端に位置する正方形プランの土坑である。一辺約1.2m、深さ約30cmを測る。堅穴状遺構SI11を切っている。

SK2 (第7、16図)

B区北端のSD2と接する土坑である。東西に細長い楕円形をするが、SD2が重複することから全体の様相はわからない。南北長約2.3m、東西長推定約7.6m、深さ25～30cmを測る。

SK3 (第7、17図)

B区北側のSK2、SD2の南隣に位置する不定形な形をした土坑である。土層断面から複数の穴が掘り直されたことがわかっており、そのことで複雑な形状をしたプランになったようである。南北長約4.1m、東西長約2.5m、深さ35～70cmを測る。

SK4 (第7、11図)

B区北側のSI4に切られている隅丸方形の土坑である。南北約2.0m、東西約1.7m、深さ30cm前後を測る。

SK5 (第7、17図)

B区北端のSD2の南側に位置する東西に長い楕円形をした土坑で、東端の様相はわからない。南北長約1.5m、東西長1.8m以上、深さは約35cmを測る。

SK6 (第7、11図)

SK5の西隣に位置する東西に長い長方形プランの土坑である。南北長約1.4m、東西長約2.2m、深さは約80cmを測る。

SK7 (第7、14図)

SI8の南西側にいる隅丸方形の土坑である。南北長約1.4m、東西長約1.6m、深さは約15cmを測る。小型の堅穴状遺構になるかもしれない。

SK8 (第7、17図)

SI17の北隣に位置する歪な楕円形をした土坑である。南北長約1.8m、東西長約2.4m、深さは約25cmを測る。

SK9 (第7、17図)

南側にSI16に切られている南北に長い長方形土坑である。南北長2.3m以上、東西長約1.5m、深さは約15cmを測る。

SK10 (第7、13図)

SI19と交わり、また複数回掘り直していることが土層断面で確認できる。そのため、平面プランは不定形である。南北長最大約3.0m、東西長4.2m以上、深さ30～40cmを測る。

SK11 (第7、17図)

B区北端のSB1内にある土坑で、北半は調査区外となるため、全容は不明である。南北長1.3m以上、東西長約1.2m、深さは約25cmを測る。

SK12 (第7、17図)

SB1の南側に位置する東西に長い隅丸長方形プランをした土坑である。南北長約0.8m、東西長約2.0m、深さ約40cmを測る。

SK13 (第7、17図)

SK12の西隣に位置する南北に長い隅丸長方形プランの土坑である。北端に長径約60cm、短径約40cm、深さ約50cmの小穴が存在するが、土層の状況から小穴が埋まった後に本土坑が掘られていたことがわかっており、土坑は、南北長約2.6m、東西長約0.8m、深さ約20cmを測る。

SK14（第7、18図）

SK12の南隣に位置する東西に長い長方形土坑で、東端はSK15に切られている。南北長約1.3m、東西長約2.8m、深さ約20cmを測る。

SK15（第7、18図）

SK14に接する南北に長い隅丸長方形土坑である。南北長約1.6m、東西長約1.0m、深さ約10cmを測る。

SK16（第7、17図）

SK14・15の南側にある東西に長い長方形土坑である。南北長約1.1m、東西長約1.9m、深さ約25cmを測る。

SK17（第7、18図）

SK16の東隣に位置するやや歪な方形土坑である。南北長約1.3m、東西長約1.7m、深さ約30cmを測る。

SK18（第7、18図）

東西溝SD5や、L字型のSD6と切り合いをもった隅丸長方形をした土坑である。南北長約1.5m、東西長約2.2m、深さ約30cmである。

SK19（第7、8、18図）

東西溝SD5に北側を切られている隅丸長方形をした土坑である。南北長1.7m以上、東西長約1.3m、深さ約30cmである。

SK20（第7、8、13図）

SI20の南隣に位置する楕円形をした土坑である。長辺約2.4m、短辺約1.4m、深さ約50cmを測る。

SK21（第7、8、13図）

SI22の西隣に位置する略方形をした土坑である。南北長、東西長ともに約1.2m、深さ約50cmを測る。

SK22（第8、18図）

掘立柱建物SB2に接する長方形プランの土坑である。南北長約1.4m、東西長約0.8m、深さ約30cmを測る。

SK23（第8、18図）

SK22の南側にある土坑で、東半分の様相はわからない。南北長約1.6m、東西長1.3m以上、深さ約25cmを測る。

SK24（第8、18図）

B区中央西端に位置する。一度掘り直したことによって、瓢箪型の形状となっている。南北長約2.2m、東西長約1.5m、深さ約50cmを測る。

SK25（第8、18図）

SI23の南側に位置する。東西に長い長方形をした土坑であるが、南西部は膨らんだ形状をしている。南北長約1.5m、東西長約2.5m、深さ約75cmを測る。

SK26（第8、18図）

SK28の北隣にある南北に長い隅丸長方形の土坑である。南北長約2.3m、東西長約1.4m、深さ40～50cmを測る。

SK27（第8、18図）

SK26に切られている南北に長い長方形の土坑である。南北長約1.9m、東西長約1.3m、深さ約30cmを測る。土層断面から、SK26・27内で複数回掘り直しがあつたようである。

SK28（第8、19図）

SK26の南隣に位置する方形の土坑である。南北長約2.2m、東西長約2.4m、深さ70～90cmを測る。堆積土からは、少量の遺物と拳大の石が多数見つかった。

SK29（第8、9、19図）

SK28の東隣に位置する隅丸方形の土坑である。南北長約2.0m、東西長約2.4m、深さ約20cmを測る。埋土からは灰緑石などの遺物が認められる。小規模な堅穴状遺構になるかもしれない。

SK30（第8、19図）

SK29の東隣に位置する隅丸方形の土坑である。南北長約1.8m、東西長約2.2m、深さ約40～50cmを測る。覆土からは少量の遺物や炭化材、拳大の石が見つかった。

SK31（第8、19図）

2基の隅丸方形土坑が重複し、東端はSD8によって切られる。南北長約2.4m、東西長2.0m以上、深さ約40cmを測る。

SK32（第8、19図）

SB2の南西にある東西に長い略楕円形土坑である。南北長約1.7m、東西長約2.6m、深さ約30cmを測る。

SK33（第8、19図）

SK34と交わる隅丸正方形の土坑で、土層断面からSK34が新しいことがわかっている。一辺約1.5m、深さ約50cmを測る。

SK34（第8、19図）

SK33と接する東西に長い長方形土坑である。南北長約1.5m、東西長約2.6m、深さ約15cmを測る。

SK35 (第8、19図)

SI25の西隣に位置し、SK36と接する。隅丸正方形プランで、一辺約1.7m、深さ約15cmを測る。

SK36 (第8、19図)

SK35と交わる南北に長い隅丸長方形をした土坑である。南北長約2.7m、東西長約1.3m、深さ約20cmを測る。

SK37 (第8、14図)

SK38・39に切られた南北に長い略長方形のプランをする。南北長約2.0m、東西長0.8m以上、深さ約45cmを測る。

SK38 (第8、14図)

SK37の西隣に位置する隅丸方形の土坑で、ほぼ正方形に近い。南北長約2.2m、東西長約2.4m、深さ約60cmを測る。覆土から茶臼などの遺物や拳大の自然石が見つかった。

SK39 (第8、14図)

SI25、SK37の間にある略長方形の土坑である。南北長約2.7m、東西長約2.5m、深さ30～40cmを測る。

SK40 (第8、19図)

SD7の南隣に位置する東西に長い楕円形土坑である。南北長約0.9m、東西長約2.2m、深さ約80cmを測る。

SK41 (第8、20図)

SK40の南西、小穴が密集している箇所位置する方形土坑である。南北長約1.3m、東西長約1.1m、深さ約15cmを測る。

SK42 (第8、20図)

SI27の西隣に位置する東西に長い長方形土坑である。南北長約1.2m、東西長約3.0m、深さ約25cmを測る。

SK43 (第8、20図)

SK42の南隣に接する東西に長い不定形土坑である。南北長約1.0m、東西長約3.0m、深さ約35cmを測る。

SK44 (第8、9、20図)

SI27の南隣に位置する東西に長い長方形の土坑である。南北長約1.5m、東西長約2.2m、深さ20～30cmを測る。

SK45 (第8、20図)

SD9の南側に位置する東西に長い長方形土坑であるが、複数の穴が錯綜しており、元の形状はわかりにくい。南北長約2.4m、東西長約4.0m、深さ約50cmを測る。

SK46 (第8、20図)

SK45の東隣にある隅丸方形の土坑で、SK47に切られていることから全容は不明である。南北長約2.0m、東西長1.1m以上、深さ約35cmを測る。

SK47 (第8、20図)

SK45・47と接する方形土坑で、内部にテラスやピットを有する。南北長約2.3m、東西長約2.1m、最深部約45cmを測る。

SK48 (第8、20図)

SK47の東隣に位置する隅丸方形の土坑である。南北長約1.8m、東西長約1.5m、深さ約30cmを測る。

SK49 (第9、20図)

SK44の南側に位置する略円形の土坑で、南北間がやや長い。南北長約2.5m、東西長約2.2m、深さ約65cmを測る。堆積土からは少量の中世土器や拳大の自然石が大量に見つかっている。

SK50 (第9、20図)

SK49の南東側に位置する略方形の土坑であるが、東半は調査区外となるため全容はわからない。南北長約1.35m、東西長95cm以上、深さ約105cmを測る。覆土からは拳大の自然石が多く見つかっている。

SK51 (第9、21図)

NR1の際に存在する略円形土坑で、東側は調査区外に延びる。南北長約2.5m、東西長2.0m以上、深さ約60cmを測る。

SK52 (第9、21図)

SI33の南隣に位置する東西に長い略長方形土坑である。南北長約2.7m、東西長約6.8m、深さ約50cmを測る。

SK53 (第9、21図)

SK52の東側に位置する東西に長い楕円形をした土坑である。南北長約1.2m、東西長約2.1m、深さ約45cmを測る。

SK54 (第9、21図)

B区南端にある東西に長い略長方形の土坑である。南北長約1.8m、東西長約3.8m、深さ約60cmを測る。

④ 溝

SD1 (第7図)

調査区北端にある北東-南西方向の溝である。全長約15m、溝幅は60～100cm、深さ28～48cmを測る。方位はW22°Sである。

SD2 (第7、16図)

SD1南側で確認した東西方向の溝である。全長約17m、幅160～230cm、深さ56～60cmで、方位はW6°Sである。

SD3 (第7図)

SI7とSI18の間を走る東西溝である。長さ約6m、幅20～30cm、深さ8～15cmで、方位はW2°Nである。

SD4 (第7図)

SI6・7の中央を縦断して走る南北溝で、北方はSD2まで到達する。長さ約17m、幅約70cm、深さ約40cm、方位N7°Sである。

SD5 (第7、8図)

SI21とSI22の間を走る東西溝である。長さ約22m、幅70～100cm、深さ20～25cmで、方位はW2°Nである。

SD6 (第7、8図)

掘立柱建物SB2の北隣に位置するL字型の溝である。東西長約23m、南北長約6.5m、幅90～130cm、深さ40～70cmを測る。方位は東西ラインがW8°S、南北ラインはN6°Wである。南北ラインの延長上にはSD4が存在する。

SD7 (第8、19図)

掘立柱建物SB2の南側に位置する東西溝である。長さ約29m、幅110～180cm、深さ40～55cmを測る。方位はW6°Sである。

SD8 (第8、9、19図)

SD7西端から派生する南北溝で、南端はNR1に切られている。長さ約29m、幅50～90cm、深さ5～30cm、方位は真北である。

SD9 (第8、9、20図)

SI27から東方へと延び、SI30付近で南方へと向きを変える。東西長約26m、南北長約19m、幅50～100cm、深さ15～40cm、方位は東西ラインがW4°S、南北ラインがN6°Eである。

SD10 (第8、9図)

SI30から西方へ伸びる東西溝で6m進んだところで南方に向きを変える。全長約9m、幅50～100cm、深さ45～60cmを測る。

SD11 (第9図)

SI32の西方にある東西溝で、SX8・9に切られている。長さ約13m、幅50～70cm、深さ15～35cm、方位はW12°Sである。

SD12 (第9図)

SK52から西方に伸びる溝で、SD9と同一になるかもしれない。長さ約9m、幅40～90cm、深さ23～43cm、方位W8°Sである。

SD13 (第9図)

SD12の南隣にある東西溝である。長さ約21m、幅120～200cm、深さ24～53cmを測る。方位はW8°Sである。

SD14 (第6図)

A区中央を南北に走る溝である。北から南方へ進むに連れて少しずつ東方に湾曲する。長さ約14m、幅30～50cm、深さ20～35cmである。

SD15 (第6図)

SD14の東側にいる南北溝である。長さ約12m、幅約40cm、深さ15～25cmを測る。方位はN5°Wである。

SD16 (第6図)

SD14の西隣にある北西～南東方の溝である。長さ約12m、幅70～100cm、深さ20～60cmを測る。方位はN40°Wである。

SD17 (第6図)

調査区中央を走る東西溝である。長さ約14m、幅120～150cm、深さ15～25cmを測る。方位はW16°Sである。

SD18 (第6図)

SD17の南を並走する東西溝である。長さ約16m、幅60～75cm、深さ25～45cmを測る。方位はSD17と同様W16°Sである。

SD19 (第6図)

SD18の南隣を並走する東西溝である。長さ約15m、幅80～120cm、深さ30～60cmを測る。方位はSD17・18と同様W16°Sである。

⑤ 不明遺構

不明遺構については、選択して報告する。

SX8 (第9、22図)

SI32の西側に位置する瓢箪のような形状をした穴である。2基のビットが切り合っているかもしれない。南北長約2.2m、東西長約1.0m、深さ約50cmを測る。

SX10 (第9、22図)

SK50の南西方にある不定形な穴である。平面プランでは2基の穴が切り合う形状を示しているが、土層断面からは3基の穴が切り合っていたことがわかった。南西側にある穴は長辺約1.2m、短辺約0.9m、深さ約70cmを測り、土層断面で柱状と思われる層土を確認したことから、柱穴になると考えられる。北東側にあるもう一方の穴は、一辺70～90cm、30cm前後の深さをもつ。

SX14 (第7、22図)

近世以降の自然河道NR1の一角で確認した木で組まれた板枠装置である。この板枠は、東西約5.5m、南北約2.5m、

深さ30～45cmの不定形な落ち込みの中央部に置かれている。板枘装置は、はじめに直径約10cm、長さ1m前後の本杭4本を70～90cm間隔で並べ、その上に長さ約2.6m、幅約25cm、厚さ2、3cm程の板材を6枚敷き詰める。調査時において板材の一部は滅失、及び剥落していた。敷かれた板材の北端と南端には、同様の大きさの板を立てて、倒れないように直径約10cm本杭をそばに打ち込む。さらに、立てた板の外側には、本杭だけでなく拳大から人頭大の大きさの自然石を敷き詰めて補強している。なお、東と西側は、板を立てた痕跡は認められなかった。この装置の用途は不明であるが、溝の一角に造られたことなどから、水場のような場所であったと推測する。

第2節 遺物（第23～29図）

2～25は弥生土器である。2～10は擬凹線を有する有段口縁甕で、10は外面に煤が付く。11から17は甕で、13と15は内外面に赤彩を施す。18～23は高坪で、23には海綿骨針が認められる。28～33は古代の須恵器で、33の甕の外面には降灰が認められる。34～164は中世土器・陶磁器である。34～76は土師器皿である。34、43、60の内外面には煤が付く。39、44、47、49、50、53、55、59、62、63、65、66、68、70、72は灯心油痕が見られる。56の内面には刺突文のような痕跡が認められる。77～87は白磁である。82の皿は扶高台、87の皿の外底部には×と記した墨書が書かれている。88～114は青磁碗で、89と90は端反碗である。91、92、98及び104には竈描蓮弁文、93～95は竈線描蓮弁文、96は雷文が見られる。106～113の見込みに草花文が施されている。青磁は碗の他に115の後花皿、116～118の盤のような器種も確認できる。118の竈線描文の盤は漆継が見られる。121～136は瀬戸焼で、124の天目茶碗の外面には青磁碗のような竈線描のような文様が認められる。132の灰釉瓶子、136の灰釉花瓶には断面漆継の痕が認められる。137は瓦質風炉の脚部、138は口縁端部に雷文帯を有する瓦質の鉢である。139～143は越前焼、144～164は珠洲焼で、148の壺、152～155の櫛鉢の口縁端部には波状文が施されている。157の櫛鉢断面には漆継が見られる。165～179は18～19世紀の近世陶磁器である。

180は土師の完形品、181は木製の栓である。182～189は鉄洋、190、191は鉄釘である。192～206は銅銭で、192～201は洪武通寶など中世に流通した中国銭、202～206は近世の寛永通寶である。196～198は鋳によって2枚並びに3枚重なった状態となっている。

207～269は石製品である。207～214は石鉈で、そのほとんどは使用により欠損している。216～242は砥石で、大半は中砥であるが242のような仕上げ砥も認められる。243と244は越前焼の割れた陶片を砥石に転用したものである。246と247は製品ではないが、自然石の表面に煤が付着している。245及び249～254は火行の一部、255は石鉈である。256は茶臼、257～262は石臼である。257～260は上臼、261と262は下臼にあたる。264～269は石英でできた棒状製品、270はガラス棒である。

第3節 まとめ

本調査区では15世紀を中心とした中世の集落が主体となる。調査では弥生土器や須恵器なども定量見つかったり、溝や自然河道（NR1）などからの出土である。本調査区から北東方には弥生後期及び9世紀前半を主とする古代の集落が存在することから、本調査区で発見された当該時期の遺物は周辺地からの流れ込みによるものと推測する。

本調査区における中世の主要遺構は、掘立柱建物、堅穴状遺構、土坑、溝などである。掘立柱建物については本報告書においては3棟報告するが、SD7とSD9、SD9とSD10・11、SD11とSD12の間には多くの小穴が確認でき、複数棟の掘立柱建物が建替えを行なうことが存在したと推定される。

溝については、東西方位のSD2、3、7、9、11、12と南北方位のSD4、8、L字上にクランクするSD6などが挙げられる。これらの溝は広大な土地を均一に区画するため計画的に掘削されている。東西溝SD2～3、SD3～6、SD7～9、SD11～12の間の距離は12m前後、SD6～7との間は17mを測る。これらの東西溝の西端にはSD4及び8の南北溝が走り、これらと溝の組み合わせによって、いくつかの区画が認められる。

堅穴状遺構と土坑も数多く見つかる。両遺構の区別は定義が困難であるため、原則一辺2m以上の方形に近いもので、底がフラットな形状をするものを堅穴状遺構、それ以外を土坑とした。堅穴状遺構については本調査区の東側に集中し、SI9～11、SI12～15、SI32のように複数回造り替えしながら同箇所に設置している。土坑は、SK12～17、SK26～31、SK33～39、SK45～48でそれぞれ群をもち、SK33～48は前述した掘立柱建物が有する小穴群と調査区東側に集中する堅穴状遺構群の間に存在する。

以上から、本調査区における中世集落については、溝で区画した空間地をいくつも形成して、その中には掘立柱建物、土坑、堅穴状遺構を計画的に配置した宅地を造成した状況が見て取れる。本調査区の東隣、現在の郷用水を挟んだところには南北約60m、東西約30mの堀で囲まれた在地有力者層の館が存在する。また、この館の南側に本調査で確認したような区画された溝内に掘立柱建物や堅穴状遺構を有した宅地や道路状遺構が見つかる。

本調査区を含む過年度調査で確認した徳用クヤダ遺跡の中世の集落は、地域を治めた有力者の館を中心に、溝や道路などで区画された町割りで形成された宅地が整然と並ぶ規則的な村立であったようである。



第6図 遺構全体図



B区



- SB 1
- SI 1~22・24
- SK 1~21
- SD 1~6
- SX 14
- P 1~5

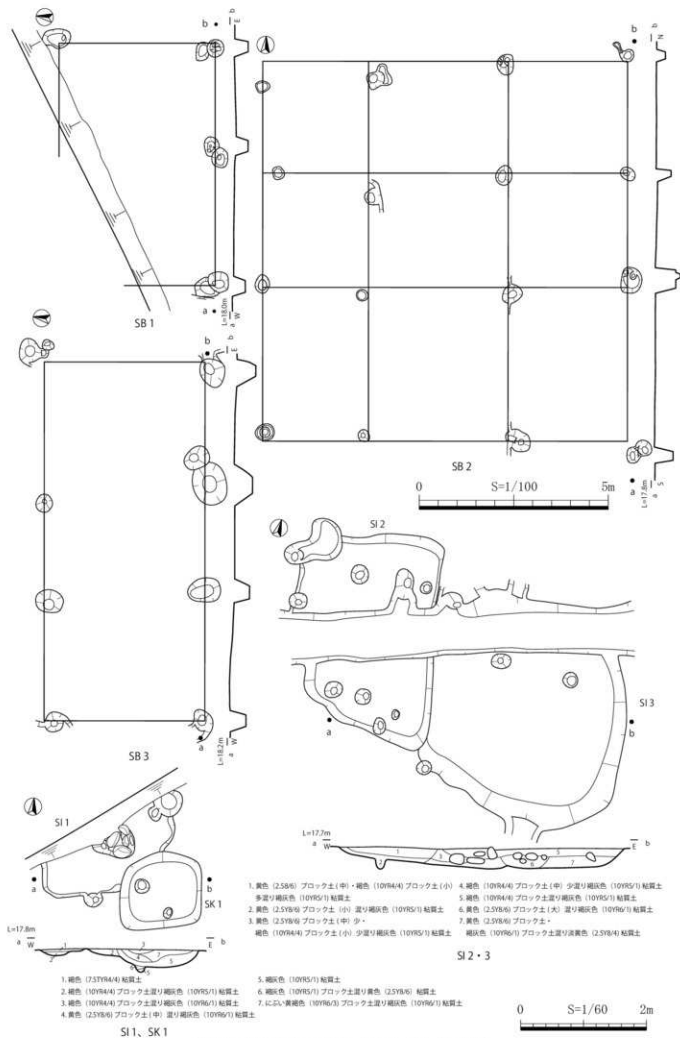
第7図 遺構全体図1（遺構番号）

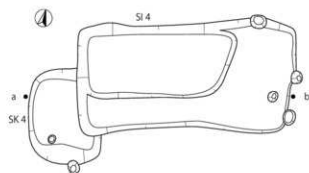


第8図 遺構全体図2
(遺構番号)



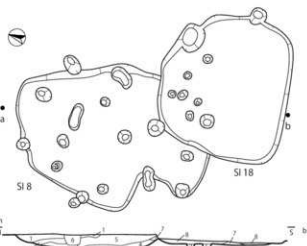
第9図 遺構全体図3 (遺構番号)





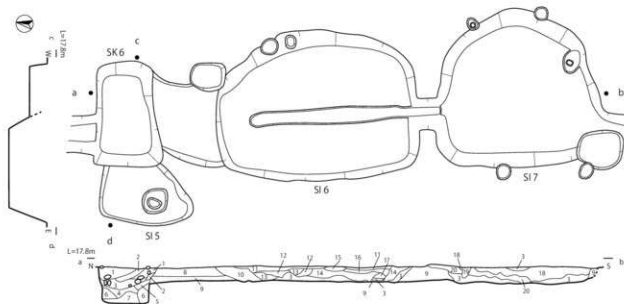
- L=17.8m
- a W 1 2 3 4 5 6 7 8 E b
1. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 少・淡黄色 (2.5Y8/4) ブロック土 (大) 塗り褐色 (10YR6/1) 粘質土
 2. 褐色 (10YR5/1) 粘質土
 3. 褐色 (10YR6/1) ブロック土 (大)・黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (大) 塗り淡黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
 4. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 塗り褐色 (10YR6/1) 粘質土
 5. 褐色 (10YR6/1) 粘質土
 6. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 多塗り褐色 (10YR6/1) 粘質土
 7. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小)
 8. 褐色 (10YR5/1) ブロック土 (小) 塗り褐色 (10YR6/1) 粘質土
 9. 褐色 (10YR6/1) 粘質土と黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土との混土

SI 4, SK 4



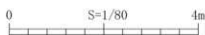
- L=17.8m
- a N 1 2 3 4 5 6 7 8 9 S b
1. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 淡黄色 (2.5Y8/4) 微砂土ブロック土 (中) 塗り・褐色 (10YR6/1) 粘質土
 2. 褐色 (10YR6/1) 少塗り黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
 3. 淡黄色 (2.5Y8/4) 微砂土ブロック土 (中) 塗り褐色 (10YR5/1) 粘質土
 4. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・黄褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中) 少塗り褐色 (10YR6/1) 粘質土
 5. 褐色 (10YR6/1) 塗り黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
 6. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (大) 多塗り褐色 (10YR6/1) 粘質土
 7. 褐色 (10YR6/1) 粘質土
 8. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 少塗り褐色 (10YR5/1) 粘質土
 9. 黄褐色 (2.5Y8/6) 塗り褐色 (10YR6/1) 粘質土

SI 8・18

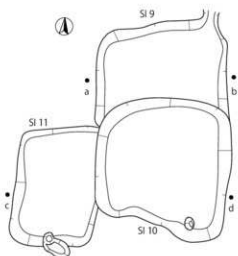


- L=17.8m
- a N 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 S b
1. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・褐色 (10YR4/6) ブロック土・黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土塗り灰色 (N5/1) 粘質土
 2. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土塗り灰色 (N5/1) 粘質土
 3. 灰色 (N5/1) 粘質土
 4. 灰色 (N6/1) 粘質土
 5. 灰色 (N6/1) 粘質土
 6. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・褐色 (N3/1) ブロック土塗り灰色 (N6/1) 粘質土
 7. 灰色 (N5/1) 粘質土
 8. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・黄褐色 (10YR6/1) ブロック土塗り淡黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
 9. 淡黄色 (2.5Y8/6) 砂質土
 10. 褐色 (10YR4/6) ブロック土多塗り灰色 (N6/1) 粘質土
 11. 褐色 (10YR4/6) ブロック土塗り灰色 (N6/1) 粘質土
 12. 褐色 (10YR4/6) ブロック土塗り灰色 (N6/1) 粘質土
 13. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土少塗り灰色 (N5/1) 粘質土
 14. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・淡黄色 (2.5Y8/6) ブロック土塗り灰色 (N6/1) 粘質土
 15. 褐色 (10YR4/6) ブロック土・淡黄色 (2.5Y8/6) ブロック土塗り灰色 (N6/1) 粘質土
 16. 淡黄色 (2.5Y8/6) ブロック土多塗り灰色 (N6/1) 粘質土
 17. 淡黄色 (2.5Y8/6) ブロック土塗り灰色 (N5/1) 粘質土
 18. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・灰色 (N6/1) ブロック土 (大) 塗り黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
 19. 灰色 (N6/1) 粘質土 (粘性強い)
 20. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土塗り灰色 (N6/1) 粘質土

SI 5・6・7, SK 6

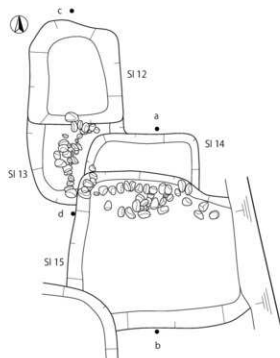


第11図 SI4~8・18, SK4・6 (S=1/80)



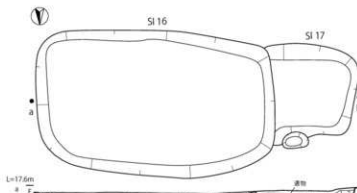
1. 褐色色 (10YR4/1) ブロック土 (中)・黄色 (2.5YR/6) ブロック土多量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
2. 褐色色 (10YR5/1) ブロック土・褐色色 (10YR4/1) ブロック土 (中)・少・黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中)・灰白色 (10YR7/1) ブロック土多量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
3. 褐色色 (10YR4/1) ブロック土 (中) 少量混り黄色 (2.5YR/6) 粘質土
4. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
5. 褐色色 (10YR6/1) 粘質土 (粘性強・)
6. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土

SI 9・10・11



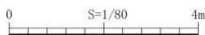
1. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中)・褐色色 (10YR4/1) ブロック土混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (大) 少量混り褐色色 (10YR4/1) 粘質土
4. 褐色色 (10YR4/1) ブロック土混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
5. 褐色色 (10YR5/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
7. 褐色色 (10YR5/1) ブロック土混り黄色 (2.5YR/6) 粘質土
8. 褐色色 (10YR6/1) ブロック土混り黄色 (2.5YR/6) 粘質土

SI 12・13・14・15

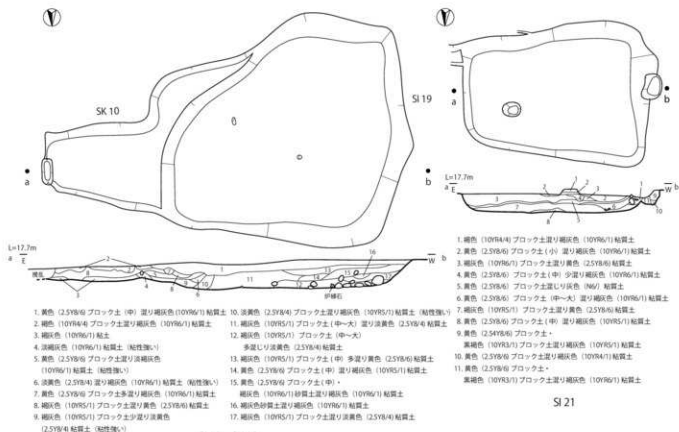


1. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中)・褐色色 (10YR3/1) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土
2. 褐色色 (10YR5/1) 粘質土と黄色 (2.5YR/6) 粘質土との混土
3. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中)・褐色色 (10YR3/1) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
4. 褐色色 (10YR6/1) 粘質土
5. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土 (粘性強・)
7. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土 (粘性強・)
8. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少量混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土 (粘性強・)
9. 褐色色 (10YR4/1) 粘質土
10. 淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土少量混り褐色色 (10YR6/1) 粘質土 (粘性強・)
11. 灰化物少量混り灰色 (10YR6/1) 粘質土
12. 褐色色 (10YR3/1) 粘質土 (粘性強・)
13. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中)・少量混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土
14. 褐色色 (10YR6/1) ブロック土混り黄色 (2.5YR/6) 粘質土
15. 淡黄色 (10YR6/1) ブロック土混り褐色色 (10YR4/1) 粘質土
16. 褐色色 (10YR3/1) ブロック土混り淡黄色 (2.5YR/6) 粘質土 (粘性強・)
17. 褐色色 (10YR3/1) 粘質土 (粘性強・) と灰色 (7.5YR/1) 粘質土 (粘性強・) との混土

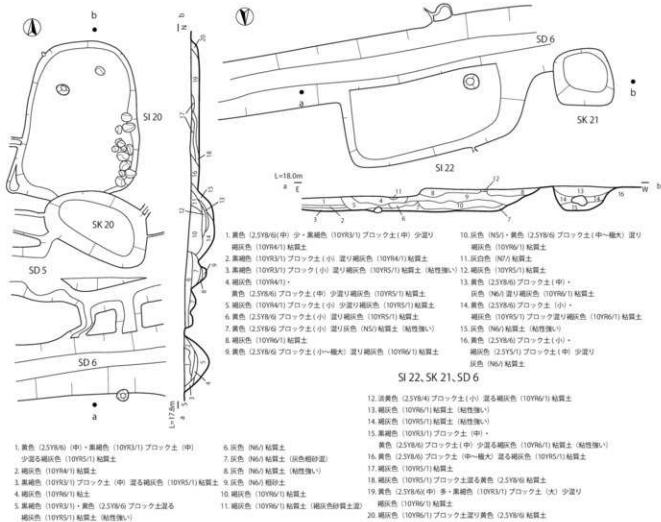
SI 16・17



第12図 SI9～17 (S=1/80)



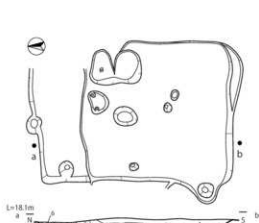
SI 19, SK 10



SI 22, SK 21, SD 6

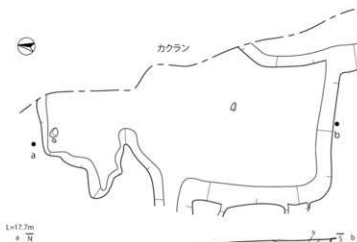
SI 20, SK 20, SD 5・6

第13図 SI19～22, SK10・20・21, SD5・6 (S=1/80)



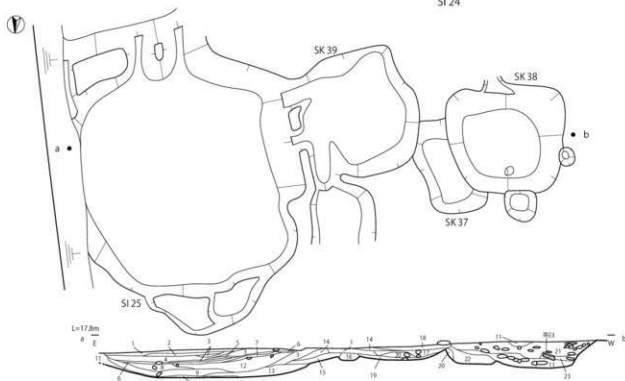
1. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土・に少し黄色 (2.5YR/3) ブロック土・黄色 (2.5YR/6) ブロック土置き層状色 (10YR6/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土置き層状色 (10YR6/1) 粘質土
3. 褐色色 (10YR5/1) 粘質土
4. 褐色色 (10YR6/1) 粘質土
5. 灰黄褐色 (10YR6/2) ブロック土置き層状色 (10YR6/1) 粘質土
6. 灰黄色 (2.5Y7/2) 置き層状色 (10YR6/1) 粘質土

SI 23



1. 灰色 (N5/0) 粘質土
2. 灰色 (N6/0) 粘質土
3. 褐色色 (10YR5/1) 粘質土
4. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少し・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中) 少し・灰化物置き層状色 (10YR5/1) 粘質土
5. 褐色色 (10YR4/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中～大) 多量置き層状色 (10YR6/1) 粘質土
7. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少し置き層状色 (10YR6/1) 粘質土
8. 灰色砂質土置き層状色 (N6/0) 粘質土
9. 褐色色 (10YR6/1) ブロック土置き層状色 (2.5YR/6) 粘質土
10. 褐色色 (10YR6/1) 粘質土
11. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (大) 置き層状色 (10YR5/1) 粘質土

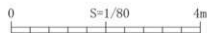
SI 24

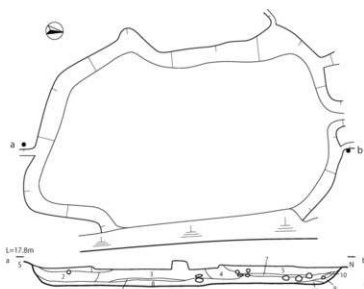


1. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 少し置き層状色 (10YR5/1) 粘質土
2. 灰白色 (2.5YR/2) 焼砂土置き層状色 (10YR5/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5YR/2) ブロック土・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中) 少し・灰白色 (7.5Y7/1) 焼砂土置き層状色 (10YR4/1) 粘質土
4. 灰色 (N6/0) 焼砂土・灰白色 (2.5YR/2) 焼砂土置き層状色 (10YR5/1) 粘質土
5. 灰白色 (2.5YR/2) 焼砂土
6. 灰色 (N6/0) 焼砂土
7. 灰白色 (7.5Y7/1) 焼砂土・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (小) 置き層状色 (10YR4/1) 粘質土
8. 灰化物置き層状色 (N5/0) 粘質土
9. 灰色 (N5/0) 粘質土 (粘性強い)
10. 灰色 (N4/0) 粘土
11. 褐色色 (10YR4/1) 粘質土
12. 灰白色 (2.5YR/2) 焼砂土置き層状色 (N5/0) 粘質土
13. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 置き層状色 (N5/0) 粘質土 (粘性強い)
14. 灰白色 (7.5Y7/1) 焼砂土・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中)・黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 置き層状色 (10YR5/1) 粘質土
15. 灰白色 (7.5Y7/1) 焼砂土置き層状色 (10YR5/1) 粘質土
16. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中～大) 置き層状色 (10YR6/1) 粘質土
17. 灰褐色色 (10YR4/1) 粘質土
18. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少し・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (小) 少し置き層状色 (10YR4/1) 粘質土
19. 褐色色 (10YR6/1) 粘質土 (粘性強い)
20. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 置き層状色 (10YR4/1) 粘質土
21. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小～大)・灰化物置き層状色 (10YR4/1) 粘質土
22. 灰色 (N6/0) 粘土
23. 黄色 (10YR2/1) ブロック土・黄色 (2.5YR/6) ブロック土置き層状色 (10YR4/1) 粘質土

SI 25, SK 37～39

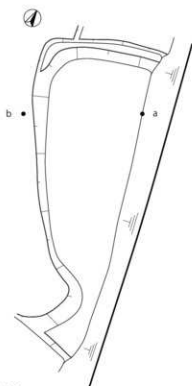
第14図 SI23～25, SK37～39 (S=1/80)





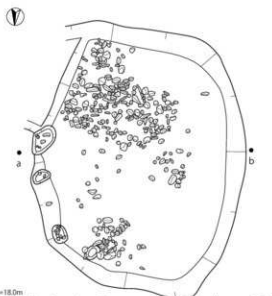
1. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小・中)・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (小) 少量埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 多・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (種大)・灰化物埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中・大)・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (種大)・灰化物埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土
4. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中)・灰化物埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土
5. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 少量埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小) 少量埋め戻り土 (2.5Y5/1) 粘質土
7. 灰白色 (7.5Y7/1) 埋め戻り土 (2.5Y6/1) 粘質土
8. 灰白色埋め戻り土 (N6/1) 粘質土
9. 黄褐色 (10YR5/1) 粘質土
10. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小) 埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土
11. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土埋め戻り土 (N6/1) 粘質土

SI 26



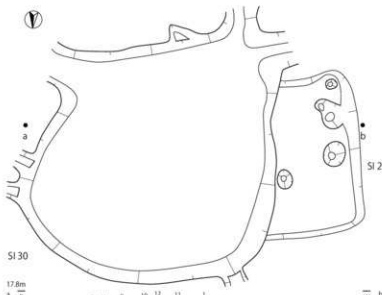
1. 灰白色 (N6/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土
3. 灰白色 (N6/1) 粘質土 (粘性強)
4. 黄褐色 (10YR6/1) ブロック土埋め戻り土 (2.5Y8/6) 粘質土
5. 灰白色 (N6/1) 粘質土 (粘性強)
6. 黄褐色 (10YR6/1) 粘質土 (粘性強)

SI 28



1. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土埋め戻り土 (2.5Y5/1) 粘質土
2. 黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土
3. 灰化物埋め戻り土 (2.5Y6/1) 埋め戻り土
4. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土埋め戻り土 (N5/1) 粘質土
5. 灰白色 (N4/1) ブロック土・黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土埋め戻り土 (N5/1) 粘質土
6. 黄褐色 (2.5Y6/1) 埋め戻り土・黄褐色 (2.5Y8/6) と埋め戻り土 (10YR6/6) との混土
7. 黄褐色 (2.5Y7/1) 埋め戻り土 (N5/1) 粘質土
8. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・灰白色 (N4/1) ブロック土・灰化物埋め戻り土 (N5/1) 粘質土
9. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土・灰白色 (N4/1) ブロック土埋め戻り土 (2.5Y6/1) 粘質土
10. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土・灰白色 (N6/1) ブロック土
11. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土埋め戻り土 (2.5Y6/1) 粘質土
12. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土・灰白色 (N5/1) ブロック土少量埋め戻り土 (2.5Y6/1) 粘質土
13. 灰白色 (N6/1) 粘質土
14. 灰白色 (N6/1) 粘質土

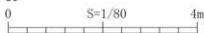
SI 27

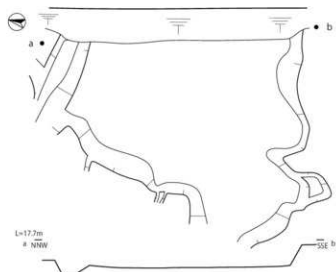


1. 黄褐色 (5Y6/1) 粘質土
2. 灰白色 (N6/1) 粘質土
3. 黄褐色 (2.5Y8/6) 砂土埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土
4. 黄褐色 (2.5Y8/6) 砂土埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土 (粘性強)
5. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中・大) 埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土
6. 灰白色 (N6/1) 粘質土
7. 灰白色埋め戻り土 (N6/1) 粘質土
8. 灰白色 (N6/1) 粘質土
9. 灰白色 (7.5Y7/1) 埋め戻り土
10. 灰白色 (7.5Y7/1) 埋め戻り土
11. 灰白色 (N5/1) 粘質土埋め戻り土 (N6/1) 粘質土 (粘性強)
12. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土多量埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土
13. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中)・黄褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中) 埋め戻り土 (10YR4/1) 粘質土 (粘性強)
14. 黄色 (2.5Y8/6) 粘質土埋め戻り土 (N6/1) 粘質土
15. 黄褐色 (10YR6/1) ブロック土埋め戻り土 (2.5Y8/6) 粘質土
16. 黄褐色 (10YR5/1) 粘質土

SI 29-30

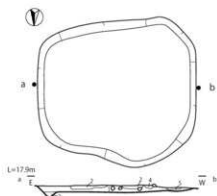
第15図 SI26~30 (S=1/80)





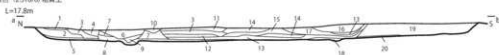
SI 31

1. 褐色 (10YR6/1) ブロック土盛り褐色 (2.5YR6/6) 粘質土
2. 灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
3. 灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土 (粘性強い)
4. 灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土・褐色 (10YR4/1) ブロック土 (少)
盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
5. 灰色 (N6/1) 粘質土 (粘性強い)
6. 明褐色 (5B7/1) 砂質土
7. 灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土盛り灰色 (N5/1) 粘質土
8. 灰色 (N5/1) 粘質土 (粘性強い)
9. 灰色焼砂土盛り灰色 (N6/1) 粘質土
10. 濃い黄褐色焼砂土盛り・濃い黄褐色 (10YR5/3) 粘質土
11. 淡黄色 (2.5Y8/4) 焼砂土・
褐色 (10YR5/1) 粘質土ブロック土 (中)
少盛り灰色 (N6/1) 粘質土
12. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小)・
褐色 (10YR4/1) ブロック土 (小)・
灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
13. 灰色 (N6/1) 粘質土 (粘性強い)
14. 灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
15. 灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土
16. 灰黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小) 盛り褐色 (10YR4/1) 粘質土
17. 灰黄色 (2.5Y7/2) 焼砂土 (大)・黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (少)・
黄褐色 (10YR3/2) ブロック土 (中) 少盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
18. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土盛り灰色 (N6/1) 粘質土 (粘性強い)
19. 灰化物盛り褐色 (10YR4/1) 粘質土
20. 褐色 (10YR4/1) ブロック土盛り黄色 (2.5Y8/6) 粘質土



SI 33

1. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土多盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5Y8/6) 粘質土・褐色 (10YR5/1) 粘質土との混土
4. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (少) 盛り褐色 (10YR4/1) 粘質土
5. 灰色 (N6/1) 粘質土

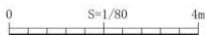


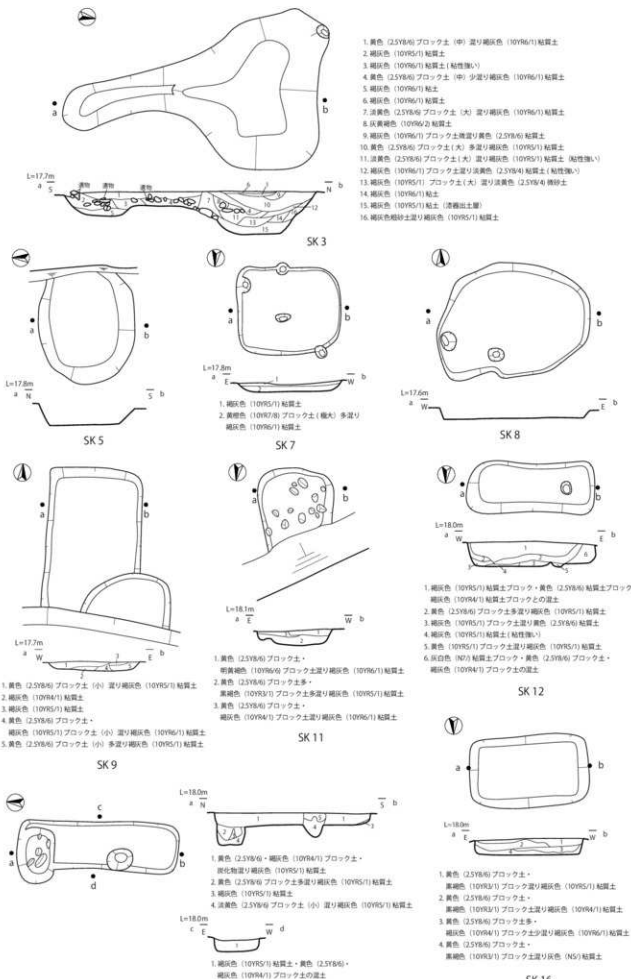
SI 32

1. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 少盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
3. 褐色 (10YR6/1) ブロック土少盛り黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
4. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 多盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
5. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 多盛り灰黄褐色 (10YR6/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
7. 灰化物盛り灰色 (N6/1) 粘質土
8. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土・
褐色 (10YR4/6) ブロック土盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
9. 褐色 (10YR4/6) ブロック土・
黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 少盛り灰色 (N6/1) 粘質土
10. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中)・
明黄褐色 (10YR6/6) ブロック土盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
11. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土多・
褐色 (10YR4/1) ブロック土盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
12. 褐色 (10YR6/1) 粘質土
13. 褐色 (10YR5/1) 粘質土
14. 淡黄色 (2.5Y8/4) 焼砂土盛り褐色 (10YR4/1) 粘質土
15. 褐色 (10YR4/1) 粘質土
16. 褐色 (10YR4/1) 粘質土
17. 淡黄色 (2.5Y8/4) 焼砂土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
18. 褐色 (10YR5/1) ブロック土・
黄色 (2.5Y8/6) ブロック土少盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
19. 黄褐色 (10YR3/2) 粘質土
20. 褐色 (10YR4/1) ブロック土多盛り黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
21. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 少盛り黄色 (2.5Y8/6) 粘質土
22. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小)・
灰化物盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
23. 黄色 (2.5Y8/6) 焼砂土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土

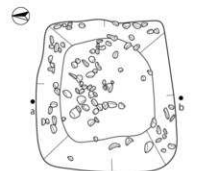
SK 2, SD 2

第16図 SI31~33, SK2, SD2 (S=1/80)





第17図 SK3・5・7~9・11~13・16 (S=1/60)

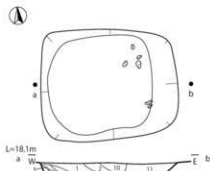


1. 灰色 (N5S) 粘質土
2. 灰色 (N6s) 粘質土
3. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土・細砂土混り黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
4. 灰褐色 (2.5Y7/1) 灰土・2.5Y7/1 粘質土
5. 灰色 (2.5Y8/0) ブロック土・細砂土混り灰色 (2.5Y7/1) 粘質土
6. 灰白色 (2.5Y7/1) ブロック土混り灰色 (2.5Y8/0) 粘質土
7. 淡黄色 (2.5R/6) ブロック土・黄色 (2.5Y8/0) ブロック土・灰色 (N4s) ブロック混り黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土
8. 淡黄色 (2.5Y8/4) 細砂土混り淡黄色 (2.5Y8/6) 細砂土
9. 淡黄色 (2.5R/8) 細砂土混り灰白色 (N6s) 粘質土
10. 淡黄色 (2.5Y8/6) ブロック土混り灰白色 (N5S) 粘質土
11. 淡灰色 (N5S) 粘質土



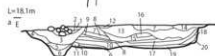
1. 灰色 (N5/3) 粘質土とにふい黄褐色 (10YR5/3) 粘質土との混土
2. 淡黄色 (2.5YR/4) ブロック土混り灰色 (N6/3) 粘質土
3. 褐色 (10YR4/4) ブロック土・
淡黄色 (2.5YR/4) ブロック土混り灰色 (N5/3) 粘質土
4. 褐色 (10YR4/4) ブロック土混り灰色 (N6/3) 粘質土

SK 29



- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 | 8. 灰褐色・灰黄褐色砂土置り |
| 2. 黄色ブロック土置り | 9. 灰色 (N5) 粘質土 |
| 3. 黄灰色 (2.5Y4/1) 粘質土 | 9. 黄褐色 (2.5Y3/3) 粘質土 |
| 4. 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土 | 10. 灰白色 (N7/1) 粘質土 |
| 4. 黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土 | 11. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック・ |
| 5. 黄褐色砂土置り | 黄灰色 (2.5Y6/1)・ |
| 6. 黄灰色 (2.5Y6/1) 粘質土 | 黄灰色 (2.5Y4/1) ブロック置り |
| 7. 灰色 (N4) 粘質土 (粘性強い) | にふい・黄褐色 (10YR5/6) 粘質土 |
| 8. 灰色 (N5) 粘質土 | |

SK 30



18. 灰白色 (2.5Y7/1) 粘質土
19. 灰白色 (2.5Y7/2) 砂粒土
20. 灰白色 (2.5Y7/1) 粘質土

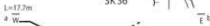
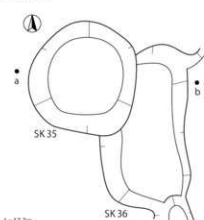


- 1.黄褐色 (30YR7/6) ブロック土
- 淡黄色 (2.5Y8/4) ブロック土盛り
- 灰色 (N6) 粘質土
- 2.黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土盛り
- 灰色 (N6) 粘質土
- 3.灰色 (N6) 粘質土
- 4.灰色 (N6) 粘質土
- 5.黄褐色 (2.5Y7/1) ブロック土盛り
- 灰白色 (2.5Y9/1) 粘質土
- 6.灰色粗砂土
- 7.黄灰色 (2.5Y5/1) 粘質土
- 8.黄褐色 (2.5Y5/6) ブロック土盛り
- 灰色 (N5.5) 粘質土
- 9.黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土盛り
- 黄褐色 (2.5Y5/1) ブロック土盛り
- 灰色 (N6) 粘質土
- 10.灰色 (2.5Y6/6) ブロック土
- 黄褐色 (2.5Y3/1) ブロック土盛り
- 灰色 (N6) 粘質土

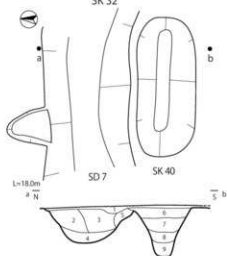
SK 32



1. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 混り褐色色 (10YR5/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 多量り褐色色 (10YR5/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 多量り褐色色 (10YR4/1) 粘質土
4. 黄色 (2.5Y8/6) ブロック土 (中) 多量り褐色色 (10YR6/1) 粘質土
5. 褐色色 (10YR4/1) ブロック土 (小) 混り黄色 (2.5Y8/6) 粘質土

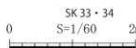


SK 35•36



1. 明褐色 (75YR5/6) ブロック土混り褐色土 (10YR6/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5YR5/6) ブロック土 (大) 混り褐色土 (10YR5/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5YR5/6) ブロック土 (中)・黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (大) 少
量炭化物混り褐色土 (10YR5/1) 粘質土 (粘性強)
4. 灰赤 (N5/6) 粘質土
5. 褐色土 (10YR5/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5YR5/6) ブロック土 (中) 混り褐色土 (10YR5/1) 粘質土
7. 灰赤 (N5/6) 粘質土 (粘性強)
8. 灰赤 (N5/6) 粘質土
9. 灰赤 (N6/6) 粘質土と黄色 (2.5YR5/6) 粘質土との混土

SK 40, SD 7

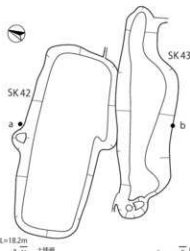


第19図 SK28~36・40, SD7・8 (S=1/60)



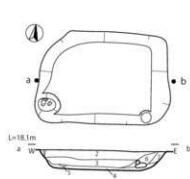
1. 褐色色 (10YR6/1) ブロック土盛り褐色 (2.5YR/6) 粘質土
2. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (大) 多・灰化物盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
4. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (大) 盛り褐色 (10YR5/1) 粘質土

SK 41



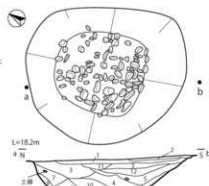
1. 明黄褐色 (10YR6/6) ブロック土・灰化物少盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
2. 灰色 (N6/1) 粘質土
3. 黄色 (10YR6/6) 焼砂土盛り褐色 (N6/1) 粘質土
4. 黄色 (10YR6/6) ブロック土・灰褐色 (10YR3/2) 盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
5. 褐色色 (10YR4/1) ブロック土盛り褐色 (10YR6/1) 粘質土
6. 黄色 (10YR6/6) ブロック土盛り褐色 (N6/1) 粘質土

SK 42・43



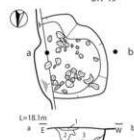
1. 黄褐色 (10YR6/6) ブロック土盛り褐色 (N5/1) 粘質土
2. 褐色 (10YR4/4) と灰色 (N6/1) との混土
3. 黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土
4. 灰褐色 (2.5YR/4) 粘質土
5. 黄色 (2.5YR/1) 粘質土と黄色 (2.5YR/6) 粘質土との混土
6. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り褐色 (N6/1) 粘質土
7. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土

SK 44



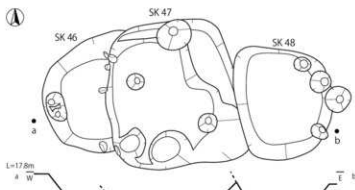
1. 黄褐色 (10YR6/6) ブロック土盛り褐色 (N5/1) 粘質土
2. 灰白色 (N7/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土・灰褐色 (2.5YR/4) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土
4. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土・灰褐色 (2.5YR/4) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土
5. 灰褐色・黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土
6. 黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土 (粘性強い)
7. 黄褐色 (2.5YR/4) 粘質土
8. 黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土
9. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/4) 粘質土
10. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/1) 粘質土
11. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り褐色 (N6/1) 粘質土
12. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土・灰褐色 (2.5YR/4) ブロック土盛り褐色 (N6/1) 粘質土

SK 49



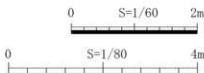
1. 黄褐色 (10YR6/6) ブロック土盛り褐色 (N6/1) 粘質土
2. 黄褐色 (10YR6/6) ブロック土盛り褐色 (10YR4/4) と灰色 (N5/1) との混土
3. 褐色 (10YR4/4) と灰色 (N5/1) との混土
4. 灰色 (N6/1) 粘質土
5. 黄色 (N6/1) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土
6. 灰褐色 (N6/1) ブロック土盛り黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土

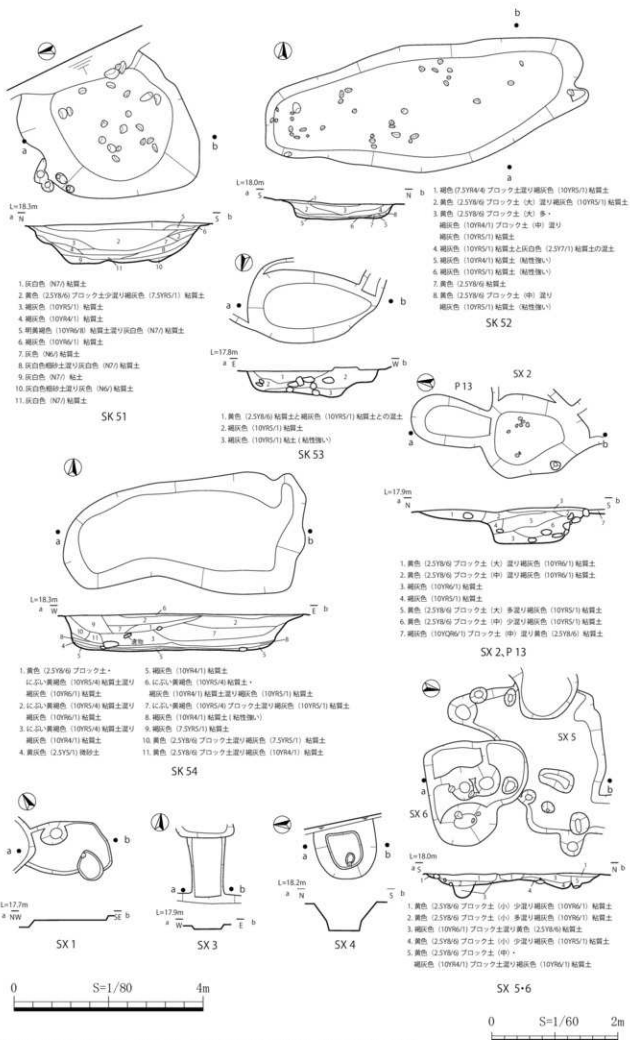
SK 50



SK 46・47・48

第20図 SK41~44・46~49 (S=1/60), SK45・50, SD9 (S=1/80)



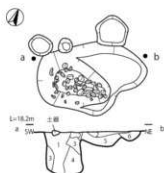


第21図 SK51・53・54, SX1~4, P13 (S=1/60), SK52, SX5・6 (S=1/80)



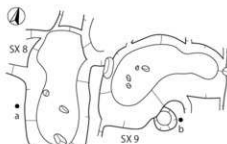
1. 明黄褐色 (10YR6/6) ブロック土盛り
細灰色 (10YR6/1) 粘質土
2. 細灰色 (10YR5/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (大) 盛り
細灰色 (10YR5/1) 粘質土
4. 明黄褐色 (10YR6/6) ブロック土盛り
灰黄褐色 (10YR5/2) 粘質土

SX 7

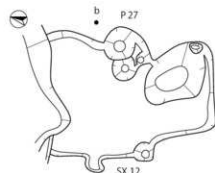


1. 灰色 (N6) ブロック土多盛り黄褐色 (10YR6/6) 粘質土
2. 灰色 (N6) ブロック土盛り黄褐色 (10YR6/6) 粘質土
3. 灰色 (N6) ブロック土少盛り黄褐色 (10YR6/6) 粘質土
4. 灰色 (N6) ブロック土盛り黄色 (2.5YR/6) 粘質土
5. 黄灰色 (2.5Y/1) ブロック土盛り黄褐色 (10YR6/6) 粘質土
6. 灰色 (N6) ブロック土・
黄灰色 (2.5Y/1) ブロック土盛り黄褐色 (10YR6/6) 粘質土

SX 10

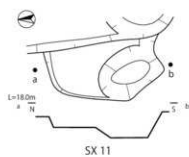


SX 8-9

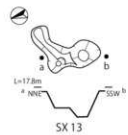


1. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土少盛り細灰色 (10YR5/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土盛り灰色 (N6) 粘質土
3. 灰色 (N6) ブロック土盛りに広い黄褐色 (10YR5/3) 粘質土
4. 広い黄褐色 (10YR5/3) 粘質土
5. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土多盛り黄灰色 (2.5Y/1) 粘質土
6. 黄灰色 (2.5Y/1) 粘質土

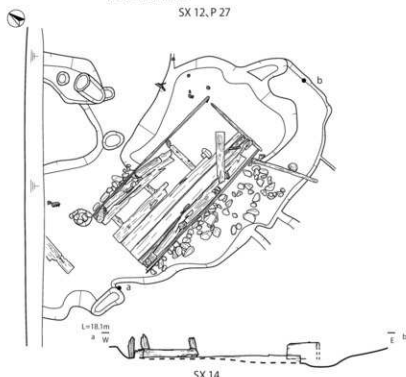
SX 12, P 27



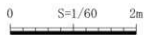
SX 11



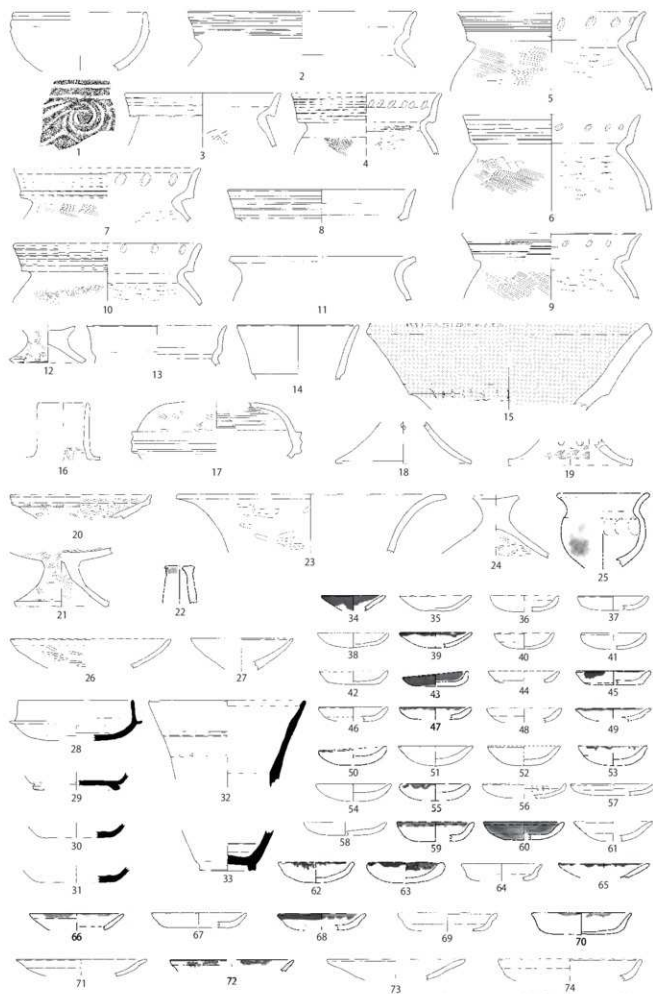
SX 13



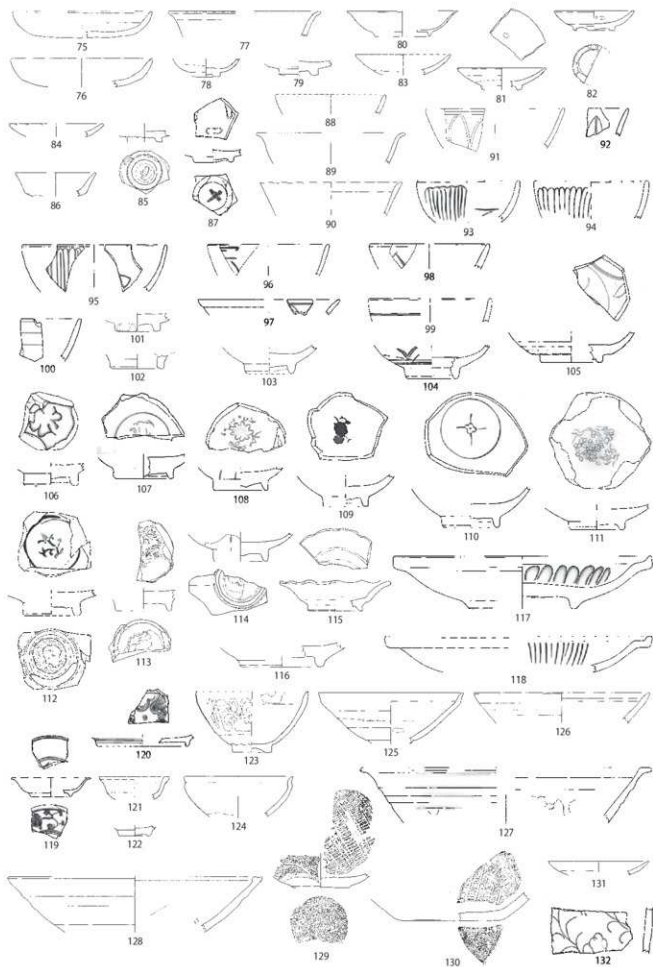
SX 14



第22図 SX7~14、P27 (S=1/60)

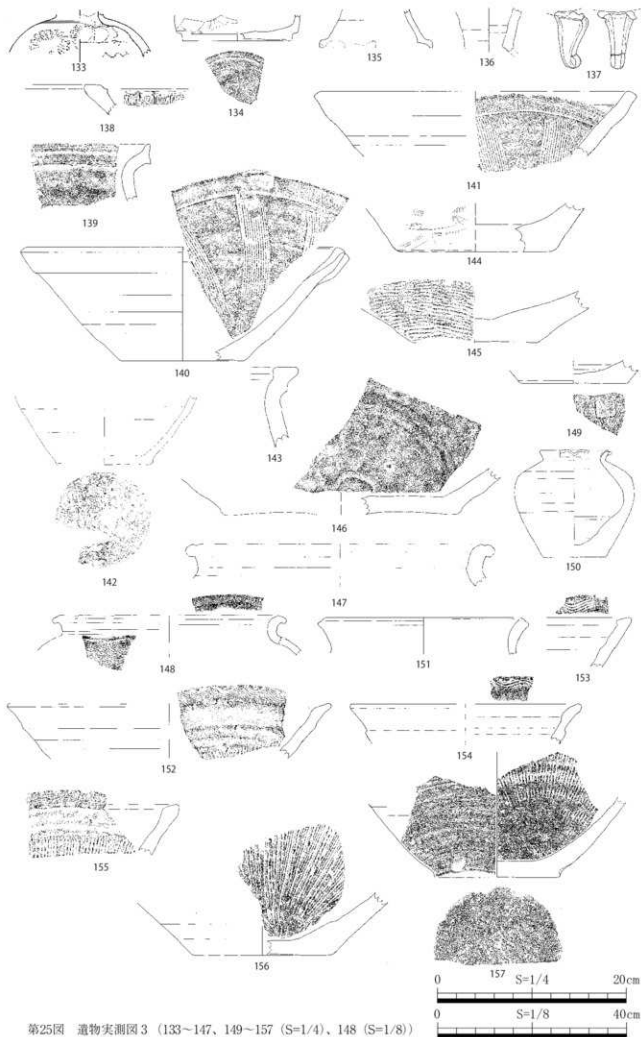


第23図 遺物実測図1 (S=1/4)

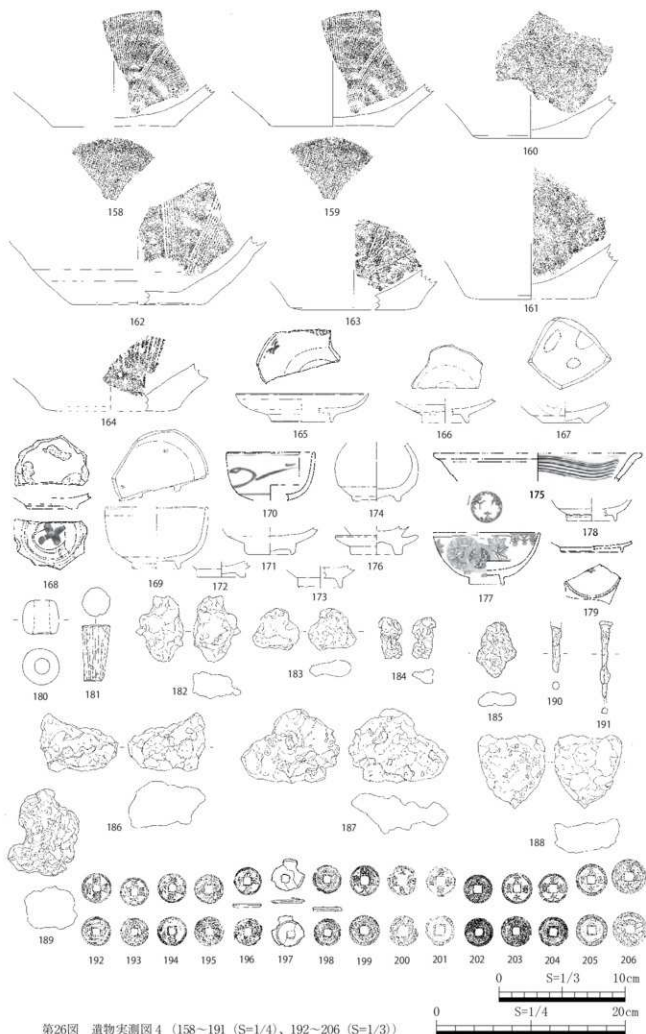


第24図 遺物実測図 2 (S=1/4)

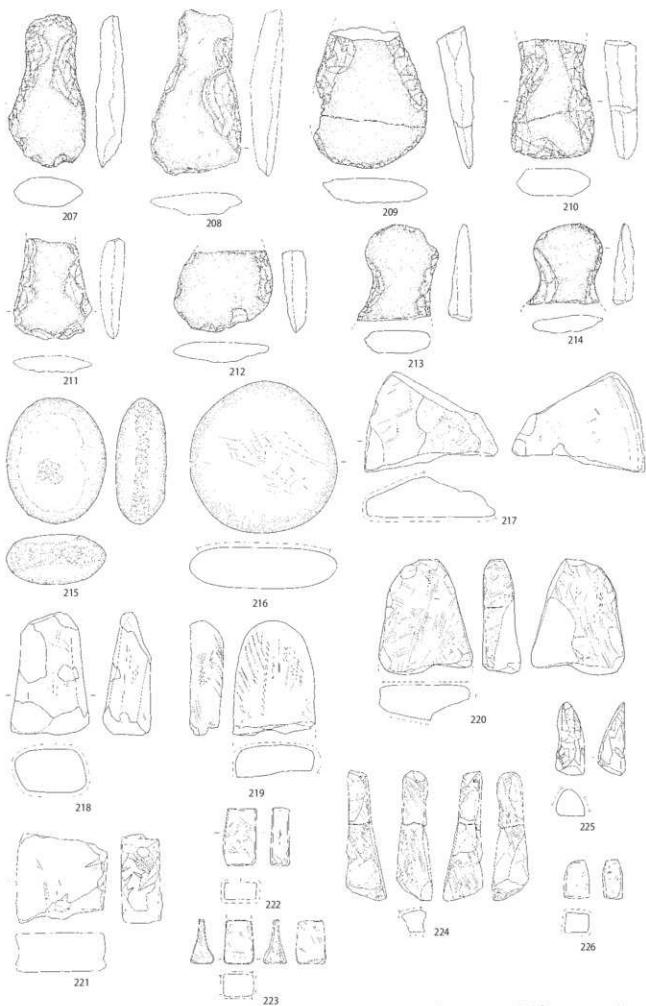




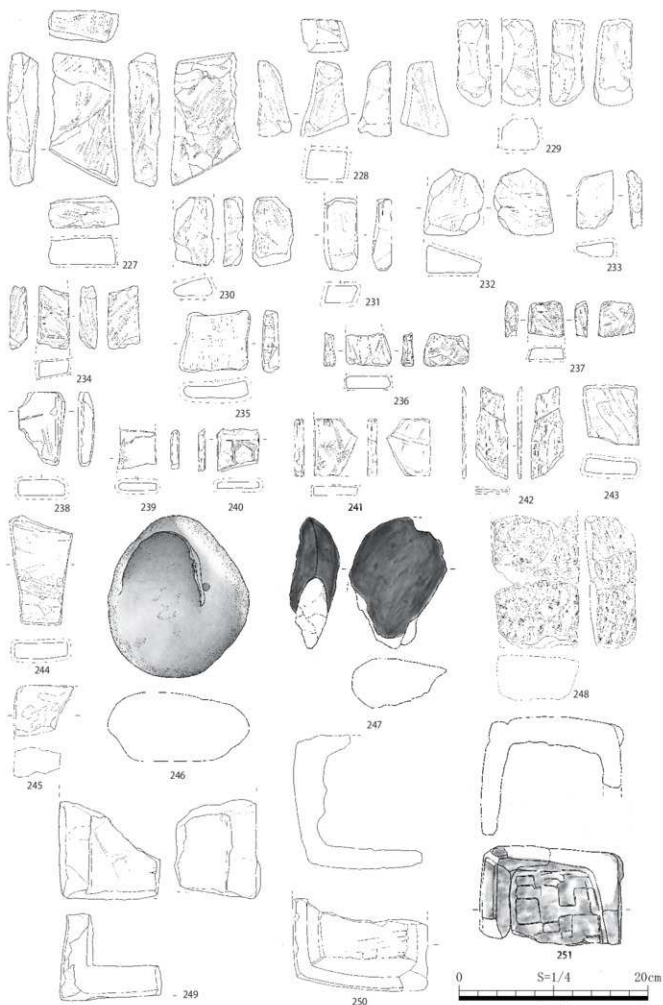
第25図 遺物実測図3 (133~147、149~157 (S=1/4)、148 (S=1/8))



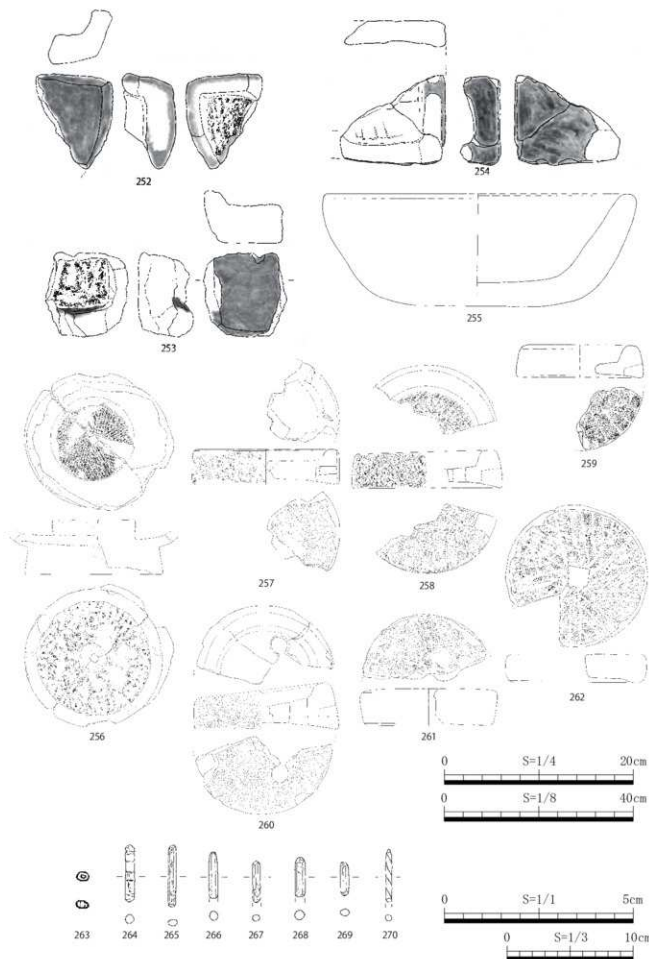
第26図 遺物実測図4 (158~191 (S=1/4)、192~206 (S=1/3))



第27図 遺物実測図5 (S=1/4)



第28図 遺物実測図6 (227~247、249~251 (S=1/4)、248 (S=1/8))



第29図 遺物実測図7 (252~255 ($S=1/4$), 256~262 ($S=1/8$), 263 ($S=1/1$), 264~270 ($S=1/3$))

第2表 土器・陶磁器観察表

番号	遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外) 調整 (内)	色調 (外) 色調 (内)	残存率	備考	実測 番号
1	6次 NR1	縄文土器 浅鉢	144			ナデ	にぶい黄緑 橙	口縁部 1/9	沈線文 LR縄文	T206
2	6次 NR1	弥生土器 類	342			ナデ	浅黄緑	口縁部 1/6	擬巴綫8条	T226
3	3次 SD16	弥生土器 類	166			ナデ	にぶい黄緑 にぶい黄緑	1/9	擬巴綫5条	N511
4	6次 SD2	弥生土器 類	160	頸部径 125		ナデ、ハケ ナデ、ケズリ	灰黄緑 にぶい黄緑	口縁部 2/9	擬巴綫9条 指頭圧痕	N217
5	6次 SD2	弥生土器 類	200	頸部径 160		ヨコナデ、ハケ ナデ、ケズリ	にぶい黄緑 浅黄緑	口縁部 1/3	擬巴綫9条、 指頭圧痕 外面壁	T205
6	6次 SD2	弥生土器 類	180	頸部径 158		ヨコナデ、ハケ ヨコナデ、ケズリ		口縁部 2/9	擬巴綫6条 指頭圧痕	N214
7	6次 SD2	弥生土器 類	198	頸部径 158		ヨコナデ、ハケ ヨコナデ、ケズリ	浅黄、にぶい黄緑 にぶい黄緑、にぶい黄	口縁部 2/9	擬巴綫6条 指頭圧痕	N212
8	3次 NR1	弥生土器 類	200			ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄緑、黄灰 にぶい黄緑	1/4	擬巴綫3~5条	N495
9	6次 SD2	弥生土器 類	190	頸部径 150		ヨコナデ、ハケ ヨコナデ、ケズリ	淡黄 淡黄	口縁部 2/9	擬巴綫8条 指頭圧痕	N213
10	6次 SD2	弥生土器 類	200		162	ヨコナデ、ハケ ヨコナデ、ケズリ	にぶい黄緑、橙 橙	口縁部 1/4	擬巴綫7条、 指頭圧痕 外面壁	T209
11	3次 NR1	弥生土器 類	(198)	頸部径 (170)		ヨコナデ ナデ	橙、にぶい橙、 灰、にぶい橙	1/6		N494
12	6次 SD2	弥生土器 壺		頸部径 42	82	ナデ、ミガキ ナデ	にぶい黄緑 明黄緑	底部 全周		T223
13	6次 SD2	弥生土器 壺	149	129		ナデ ナデ	明赤褐 明赤褐	7/36	内外面赤彩	N200
14	6次 SD2	弥生土器 壺	129	頸部径 90		ナデ ナデ	灰黄緑 にぶい黄緑	口縁部 5/36 頸部 1/4		N215
15	6次 SD2	弥生土器 壺	292			ナデ ナデ	浅黄緑 橙	口縁部 1/3	内外面赤彩 割突文	T211
16	3次 SK30	弥生土器 壺	54	頸部径 60		ナデ ナデ	にぶい黄緑 にぶい黄緑	口縁部 1/2		N491
17	3次 SK30	弥生土器 裝飾壺			180	ミガキ ナデ、ハケ	にぶい黄緑 にぶい黄緑	底部 1/6	沈線3本	N490
18	6次 SD2	弥生土器 高坏			144	ナデ ナデ	にぶい橙 にぶい橙	底部 4/9	透孔1	T221
19	6次 SD2	弥生土器 高坏			132	ミガキ ナデ	にぶい黄緑 にぶい黄緑、明黄緑	底部 1/4	透孔2	N216
20	3次 SK30	弥生土器 高坏	150			ナデ、ミガキ ナデ、ミガキ	にぶい黄緑、オリーブ黒 にぶい黄緑	1/6	黒唐	N492
21	3次 SK30	弥生土器 高坏			100	ミガキ ハケ、ナデ	にぶい黄緑 にぶい黄緑	底部 1/9	工具痕	N489
22	3次 P7	弥生土器 高坏			柱状部 34	ナデ ナデ	にぶい黄緑 にぶい黄緑	底部 1/4	外面壁	T427
23	3次 SD8	弥生土器 高坏	286			ヨコナデ、ミガキ ヨコナデ	明黄緑 橙	口縁部 1/12	海綿骨針 内面壁	T406
24	6次 NR1	弥生土器 壺	つまみ部 44			ナデ ミガキ、ハケ、ナデ	浅黄緑 淡本緑	つまみ部 全周		T210
25	3次 SK30 P4・5	弥生土器 小型壺	98			ナデ ナデ	にぶい黄緑、灰 にぶい黄緑、にぶい橙	8/12	接合痕	N459
26	3次 P4	土師器 高坏	170			ヨコナデ、ミガキ ヨコナデ	にぶい黄緑 にぶい黄緑	口縁部 1/12		T434
27	3次 P4	土師器 器台	108			ヨコナデ ヨコナデ	浅黄緑 浅黄緑	口縁部 1/6		T435
28	6次 NR1	須恵器 坏身	120	43	蓋の受け台 140	ロクロナデ ロクロナデ	灰 灰	1/6		N218
29	6次 NR1	須恵器 有台坏	92			ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	底部 1/4	回転ヘラ切り	T224
30	3次 SD7	須恵器 坏			(78)	ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	1/7		N462
31	3次 SD21	須恵器 坏			80	ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	底部 1/9		T471
32	6次 NR1	須恵器 瓶	166			ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	口縁部 2/9		T220
33	6次 SX12	須恵器 瓶			60	ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	底部 全周	外面障灰	O6
34	6次 包含層	土師器 皿	68			ナデ ナデ	浅黄緑 浅黄緑	口縁部 1/4	内外面壁	O63
35	6次 SD7	土師器 皿	76	16.5	30	ナデ ナデ	浅黄緑、灰黄緑 にぶい黄緑、灰黄緑	口縁部、底部 2/3		H122
36	3次 SK31	土師器 皿	73	17	40	ナデ ナデ	浅黄緑 浅黄緑	7/18		N452
37	6次 SK41	土師器 皿	74	15	45	ナデ ナデ	浅黄緑 浅黄緑	1/3		O38
38	3次 P12	土師器 皿	76	13~19	40	ナデ ナデ	浅黄緑、にぶい黄緑 浅黄緑	1/2		N454

番号	造構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
39	6次 SI28	土師器 皿	76			ナデ	浅黄橙	口縁部 1/7	灯芯油痕	O35
40	6次 SX1	土師器 皿	64	17	30	ナデ	浅黄橙	口縁部 3/4		H109
41	3次 P25	土師器 皿	68			ナデ	にぶい黄橙	底部 全周		T424
42	6次 SI6	土師器 皿	72.5	15.4	53	ナデ	灰白、明黄褐	少片		H137
43	6次 P13	土師器 皿	70	16	40	ナデ	灰白、明黄褐	ほぼ全形		O40
44	3次 包含層	土師器 皿	74			ナデ	明黄褐	口縁部 1/6		T423
45	6次 SI30	土師器 皿	80	15	65	ナデ	浅黄橙、にぶい赤橙	1/7	灯芯油痕	O36
46	6次 SX13	土師器 皿	74	15	40	ナデ	浅黄橙	1/4		O53
47	3次 P9	土師器 皿	76			ナデ	浅黄橙	口縁部 1/4	灯芯油痕	T429
48	3次 P11	土師器 皿	80			ナデ	浅黄橙	口縁部 1/6		T420
49	6次 SX46	土師器 皿	80	20	30	ナデ	にぶい橙、浅赤橙	1/4	灯芯油痕	O61
50	6次 SK45	土師器 皿	70	20	30	ナデ	浅黄橙	口縁部 1/2		O59
51	6次 SI02	土師器 皿	80	21	36	ナデ	灰白	ほぼ全形	灯芯油痕	H126
52	6次 SI02	土師器 皿	78	21	38	ナデ	浅黄橙	底部 2/3		H124
53	6次 SI07	土師器 皿	73	21	36	ナデ	浅黄橙	口縁部 1/3		H111
54	6次 SX5	土師器 皿	80		30	ナデ	浅黄橙	ほぼ全形	灯芯油痕	O39
55	6次 SX12	土師器 皿	74	18	30	ナデ	浅黄橙	口縁部 1/4	灯芯油痕	O7
56	3次 P4	土師器 皿	88	15		ナデ	浅黄橙	口縁部 1/6		T433
57	3次 SK28	土師器 皿	90	12	55	ナデ	にぶい黄橙	5/18		N451
58	3次 SK28	土師器 皿	89	14	50	ナデ	にぶい黄橙	2/3		N464
59	3次 SD8	土師器 皿	82	20.1	50	ナデ	浅黄橙、黒	口縁部 8/9	灯芯油痕	N455
60	3次 P17	土師器 皿	86	19	40	ナデ	浅黄橙、黒	底部 1/2		N453
61	6次 SI02	土師器 皿	84	21	30	ナデ	黒褐	1/5	内外面煤	H125
62	6次 SI12	土師器 皿	81	22	30	ナデ	浅黄橙	口縁部 1/3		H112
63	6次 SD7	土師器 皿	83		48	ナデ	浅黄橙、橙	口縁部 4/5	灯芯油痕	H121
64	3次 SK8	土師器 皿	86			ナデ	浅黄橙、橙	底部全周		T484
65	6次 SI26	土師器 皿	96			ナデ	にぶい橙	口縁部 1/6		O32
66	3次 包含層	土師器 皿	102			ナデ	浅黄橙	口縁部 1/3	灯芯油痕	N535
67	3次 SD5	土師器 皿	10	16	7	ナデ	にぶい黄橙、黒褐	1/9	灯芯油痕	T410
68	6次 SD9	土師器 皿	93	17	45	ナデ	にぶい黄橙	口縁部 1/9		O47
69	3次 SD2	土師器 皿	104			ナデ	浅黄橙	1/3	灯芯油痕	T437
70	3次 SD21	土師器 皿	106	23	60	ナデ	浅黄橙	口縁部 1/9		T468
71	3次 P23	土師器 皿	138			ナデ	灰白	口縁部 1/6	灯芯油痕	T418
72	3次 P24	土師器 皿	(130)			ナデ	浅黄橙	口縁部 1/9		T411
73	3次 SX4	土師器 皿	156			ナデ	浅黄橙	口縁部 1/18	灯芯油痕	T405
74	3次 SK28	土師器 皿	152			ナデ	浅黄橙	口縁部 1/9		T431
75	3次 SK28	土師器 皿	148	28	110	ナデ	浅黄橙	口縁部 1/12		N447
76	3次 SK28	土師器 皿	(150)			ナデ	にぶい黄橙	7/9		N502
						ナデ	にぶい黄橙	口縁部 1/12		
						ナデ	浅黄橙			

番号	造構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
77	3次 SD21	白磁 碗	(162)			口クロナデ	明緑灰	少片		T469
78	6次 SD2	白磁 碗		31		口クロナデ	灰白、灰黄	底部 全周	白磁軸	H128
79	3次 SK6	白磁 碗			42	口クロナデ	灰白	底部 全周	白磁軸、外底部朱書き	T480
80	6次 包含層	白磁 碗	118			口クロナデ	灰白	口縁部 1/7	白磁軸	H108
81	6次 SD2	白磁 皿	94	23.5	42	口クロナデ	淡黄、にぶい黄橙	底部 1/4	白磁軸	H127
82	6次 SX3	白磁 皿	84	21	45	口クロナデ	灰白	口縁部 1/6	底部 1/3	O62
83	6次 SD10	白磁 皿	101			口クロナデ	灰白	口縁部 1/5	白磁軸	O46
84	6次 包含層	白磁 皿	(100)			口クロナデ	灰白	口縁部 1/8	白磁軸	O58
85	6次 SD8	白磁 皿		28		口クロナデ	灰白	底部 全周	白磁軸	H110
86	6次 SX9	白磁 小坏	85			口クロナデ	灰白	口縁部 1/5	白磁軸	O22
87	6次 SK45	白磁 皿			42	口クロナデ	灰白	底部 3/4	外底部黒書、白磁軸	O25
88	3次 壁面	青磁 碗	118			口クロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/9	青磁軸	T441
89	6次 SD19	青磁 碗	(158)			口クロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/9	青磁軸	H115
90	6次 SD6	青磁 碗	151			口クロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/5	青磁軸	H135
91	6次 SK38	青磁 碗	(148)			口クロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/11	底縁部朱文、青磁軸	H103
92	3次 P19	青磁 碗				口クロナデ	灰オリーブ	少片	青磁軸	T414
93	6次 SX6	青磁 碗	110			口クロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/7	青磁軸、漆華 底縁部朱文	O27
94	6次 包含層	青磁 碗	122			口クロナデ	灰白	口縁部 1/4	漆華、青磁軸 底縁部朱文	O64
95	3次 P15	青磁 碗	(154)			口クロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/18	青磁軸	T417
96	6次 包含層	青磁 碗	(130)			口クロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/10	底縁部朱文 青磁軸	O51
97	3次 SK44	青磁 碗	(150)			口クロナデ	灰オリーブ	少片	青磁軸 貫入	T415
98	3次 包含層	青磁 碗	(128)			口クロナデ	明オリーブ	1/18	青磁軸 底縁部朱文	N510
99	6次 SK54	青磁 碗	(131)			口クロナデ	明オリーブ	口縁部 1/14	青磁軸 沈線	O3
100	3次 SD7	青磁 碗				口クロナデ	灰オリーブ	少片	青磁軸	N463
101	6次 SD33	青磁 碗		48		口クロナデ	明オリーブ	底部 1/2	青磁軸	O16
102	3次 SK19	青磁 碗		54		口クロナデ	灰オリーブ	底径 4/9	青磁軸	T485
103	6次 SX6	青磁 碗		50		口クロナデ	灰オリーブ	底部 1/3	青磁軸	O28
104	3次 SD1	青磁 碗		56		口クロナデ	灰オリーブ	底部 1/6	青磁軸、底縁部朱文	N509
105	3次 SK28	青磁 碗		67		口クロナデ	灰オリーブ	2/9	青磁軸	N445
106	6次 SK47	青磁 碗		59		口クロナデ	明緑灰	底部 全周	青磁軸、草花文	O29
107	3次 SD5	青磁 碗		64		口クロナデ	灰オリーブ	底部 1/2	青磁軸、草花文	T409
108	3次 SD21	青磁 碗		58		口クロナデ	灰オリーブ	1/2	青磁軸、草花文	N504
109	6次 包含層	青磁 碗		48		口クロナデ	灰オリーブ	底部 全周	青磁軸、草花文	O60
110	6次 包含層	青磁 碗		60		口クロナデ	灰オリーブ	底部 全周	青磁軸、漆華、草花文	O57
111	6次 包含層	青磁 碗		60		口クロナデ	灰オリーブ	底部 全周	青磁軸、草花文	O68
112	6次 P26	青磁 碗		60		口クロナデ	灰オリーブ	底部 全周	青磁軸、草花文	O45
113	6次 SD2	青磁 碗		60		口クロナデ	灰オリーブ	底部 1/2	青磁軸、草花文 「吉」刻字	H129
114	6次 SD2	青磁 碗		58		口クロナデ	灰オリーブ	底部 1/3	青磁軸	H130

番号	造構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
115	3次 P1	青磁 梅花文	119	32	58	クロナデ	灰オリーブ	口縁部 2/9	青磁軸	T440
116	3次 SK49	青磁 盤				クロナデ	灰オリーブ			
117	6次 P6	青磁 盤	273	56	112	クロナデ	オリーブ灰	少片	青磁軸 漆継	T408
118	6次 P27	青磁 盤	(284)			クロナデ	オリーブ灰	口縁部 1/6 底部 1/2	青磁軸	O70
119	6次 SD7	染付 皿	85	20	43	クロナデ	オリーブ灰	口縁部 1/12	青磁軸、漆継 彫線描文	O54
120	3次 SI6	染付 皿			96	クロナデ	灰白	口縁部 1/7 底部 1/8	透明軸	HI23
121	3次 P3	瀬戸焼 小杯	74			クロナデ	灰白	底部 1/12	呉須、透明軸	T486
122	6次 SD9	瀬戸焼 大目基碗			34	クロナデ	灰黄	口縁部 1/9	鉄軸	T430
123	6次 SI2	瀬戸焼 大目基碗	119.5	65.5		クロナデ	灰黄			
124	3次 SX4	瀬戸焼 大目基碗	116			クロナデ	黒濁、にぶい橙	底部 全周	鉄軸	O49
125	6次 SK2	瀬戸焼 平碗	155	43		クロナデ	黒濁	口縁部 2/9	鉄軸	T404
126	3次 SX10	瀬戸焼 平碗	186			クロナデ	黒濁			
127	6次 SD6	瀬戸焼 折縁深皿	(310)			クロナデ	オリーブ黄、灰黄	口縁部 3/10 底部 1/11	灰軸	HI18
128	3次 SK6	瀬戸焼 押目付大皿	270			クロナデ	オリーブ黄	口縁部 1/18	鉄軸	T442
129	6次 SI24	瀬戸焼 押皿			60	クロナデ	浅黄			
130	3次 SD21	瀬戸焼 押皿			(110)	クロナデ	浅黄	口縁部 1/11	鉄軸	HI36
131	6次 SK32	瀬戸焼 皿	107			クロナデ	浅黄、オリーブ、灰黄			
132	3次 SD21	瀬戸焼 飯子		体部径 (154)		クロナデ	浅黄、オリーブ	口縁部 1/7 体部 1/6	鉄軸 内面降灰	O8
133	6次 SD2	瀬戸焼 飯子		頸部径 50		クロナデ	灰白			
134	6次 SK3	瀬戸焼 胎形容器			116	クロナデ	灰黄、にぶい黄濁	口縁部 1/4	鉄軸	HI17
135	3次 SK38	瀬戸焼 花瓶	120			クロナデ	灰黄、暗オリーブ			
136	6次 SD2	瀬戸焼 花瓶				クロナデ	黒、にぶい濁	口縁部 1/4	鉄軸	HI04
137	3次 包含層	瀬戸焼 風車	最大長 61	最大幅 36	最大厚 41	クロナデ	灰黄濁			
138	6次 SD6	瀬戸焼 鉢				クロナデ	灰白	口縁部 1/7	鉄軸 内面降灰	O8
139	6次 SD2	瀬戸焼 鉢				クロナデ	灰白			
140	6次 SX8	瀬戸焼 播鉢	345	120	130	クロナデ	灰黄、黒	口縁部 1/6 底部 1/8	注口部指頭圧痕	O17
141	6次 SD7	瀬戸焼 播鉢	(341)			クロナデ	灰黄、黒			
142	6次 SK6・8・SD11	瀬戸焼 鉢			204	クロナデ	灰黄濁	口縁部 1/8	鉄軸	HI20
143	3次 SD20	瀬戸焼 鉢				クロナデ	灰黄濁			
144	6次 包含層	瀬戸焼 鉢				クロナデ	暗赤濁	底部 2/3	鉄軸	O31
145	6次 SK45	瀬戸焼 鉢				クロナデ	灰白			
146	6次 SK38	瀬戸焼 鉢			160	クロナデ	にぶい濁	口縁部 1/9	鉄軸	T483
147	3次 SK28	瀬戸焼 鉢	(326)			クロナデ	にぶい濁			
148	6次 SK28	瀬戸焼 鉢	(600)			クロナデ	灰黄濁	底部 1/9	鉄軸	T483
149	3次 SK32	瀬戸焼 鉢			133	クロナデ	灰白			
150	6次 SK28	瀬戸焼 鉢			248	クロナデ	タタキ	底部 1/3	鉄軸	O24
151	3次 SD8	瀬戸焼 鉢	224			クロナデ	灰			
152	6次 SK52	瀬戸焼 播鉢	(243)			クロナデ	にぶい赤濁、灰濁	口縁部 1/6 底部 1/6	内面底部磨耗 砥石転用	HI02
						クロナデ	にぶい濁			
						クロナデ	灰白	口縁部 1/9	鉄軸	N501
						クロナデ	灰			
						クロナデ	タタキ	底部 1/10	波状文	N496
						クロナデ	灰			
						クロナデ	灰	底部 1/9	鉄軸	T413
						クロナデ	灰			
						クロナデ	黒、オリーブ濁、灰、白	口縁部 1/10	波状紋	O10
						クロナデ	黒、灰			

番号	造構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号	
						調整 (内)	色調 (内)				
153	3次 SD21	珠洲焼 片口楕鉢	(246)			クロロナデ	灰	少片	波状紋	T470	
154	3次 SD7	珠洲焼 楕鉢				クロロナデ	灰				1/18
155	6次 SX6	珠洲焼 楕鉢				クロロナデ	灰	口縁部 1/16		波状紋	
156	6次 SD2	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰	底部 1/4	H106					
157	6次 SK37	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰			底部 1/2	漆器	H101		
158	6次 SD6	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰	底部 1/4					H134	
159	6次 SD7	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰		底部 1/4	H119				
160	6次 SI33	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰白	底部 1/2			O15			
161	6次 SK52	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰白		底部 1/2			内面底僅	O9	
162	6次 SX9	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰白	底部 1/5		O21				
163	6次 SK53	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰		底部 1/5		O13			
164	3次 SD8	珠洲焼 楕鉢	クロロナデ	灰白	1/7				N457		
165	3次 SX14	陶器 皿	クロロナデ	灰白		口縁部 1/12 底唇 1/4	蛇の目輪割き			T532	
166	3次 SD21	陶器 皿	クロロナデ	灰白、にぶい橙	5/12			灰軸 磨胎、蛇の目輪割き			N512
167	3次 SX01	陶器 皿	クロロナデ	灰白、にぶい黄橙		底部 全周			灰軸、磨胎 見込み砂目3割	T533	
168	6次 SD13	肥前陶器 皿	クロロナデ	浅黄褐	底部 1/2		見込み砂目3割 外底部黒書「×」				O42
169	3次 SX14	陶器 碗	クロロナデ	灰白		口縁部 1/6		灰軸、磨胎 胎土目2		T527	
170	3次 SX14	陶器 碗	クロロナデ	灰白	口縁部 1/3				T528		
171	3次 P10	陶器 碗	クロロナデ	灰白、にぶい橙		底部 8/9	N488				
172	3次 P2	陶器 茶碗	クロロナデ	灰白	高台 17/18			鉄軸		N529	
173	3次 SD14	陶器 茶碗	クロロナデ	にぶい黄橙		7/18			鉄軸		N530
174	6次 SD13	陶器 花瓶	クロロナデ	黒	底部 1/2 底部 2/3		鉄軸			O41	
175	3次 SX14	唐津焼 鉢	クロロナデ	にぶい橙、灰黄褐		口縁部 1/9		刷目			T534
176	6次 包合製	瀬戸焼 仏御具	クロロナデ	浅黄褐	底部 全周				鉄軸	O65	
177	3次 SD14	磁器 碗	クロロナデ	灰白		7/9	透明釉				N503
178	3次 SD14	磁器 碗	クロロナデ	明緑灰	1/6			輪割き、染付		N505	
179	3次 P16	磁器 皿	クロロナデ	明緑灰		底部 1/3			T436		
			クロロナデ	灰白							

第3表 土製・陶製品観察表

番号	造構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	実測 番号
180	6次 SX7	土師	36		39	43.5	孔徑 17mm	O19
243	6次 SI13							
244	6次 SI12	越前焼	64	57.5	16	85	砥石転用	H114
		越前焼	116	67	17	140	砥石転用	H113

第4表 木製品観察表

番号	造構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	実測 番号
181	3次 SX14	杵	59	上部径 30	下部径 18			N506

第5表 鉄・銅製品観察表

番号	グリッド 遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	実測 番号
182	3次 SK28	鉄洋	71	51	30	80.6		N446
183	3次 SI6	鉄洋	44.0	50	19	40		T487
184	3次 SK29	鉄洋	44	25	16	20.6		N499
185	6次 SK52	鉄洋	59	43	18	37.9		O11
186	3次 SX10	鉄洋	62	83	52	260		T444
187	3次 SX10	鉄洋	79	105	49	250		T443
188	3次 包含層	鉄洋	78	71	39	240		N513
189	6次 SD6	鉄洋	93	71	46	245		H138
190	3次 SD2	鉄釘	(49)	(11)	(8)	(3.7)		T416
191	3次 P21	鉄釘	82	14	10	6.3		T425 T426
192	3次 P20	銅銭	23	23	1	3.3	朝鮮通寶	T402-A
193	3次 P20	銅銭	21	22	1.5	3	至大通寶	T402-B
194	3次 P20	銅銭	22	22	1.5	4.1	洪武通寶	T402-C
195	3次 P20	銅銭	22	23	1	2.6		T402-D
196	3次 P20	銅銭	22	21	3	5.6	洪武通寶 二枚重ね	T402-E
197	3次 P20	銅銭	(22)	(25)	(4)	(2.9)	三枚重ね	T402-F
198	3次 P20	銅銭	24	23	3	4.8	二枚重ね	T401
199	6次 SK25	銅銭	23	23	1.5	2.1	開元通寶	N302
200	6次 SK52	銅銭	24	(22.8)	1.3	(1.8)		O12
201	6次 SD9	銅銭	24.3	24	13.2	1.9	元符通寶	O48
202	3次 SX14	銅銭	22			3.1	寛永通寶	N517
203	3次 SX14	銅銭	24			1.8	寛永通寶	N518
204	3次 SX14	銅銭	23			1.6	寛永通寶	N519
205	6次 SD13	銅銭	25.28	25.15	124	2.5	寛永通寶 文銭	O43
206	6次 掘土	銅銭	27.6	27.6	1.3	3.9	寛永通寶 西文銭	O66

第6表 石製品等観察表

番号	遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考	実測 番号
207	6次 SD2	石罫	162	82	31	450	火山礫凝灰岩		T222
208	3次 SX14	石罫	177	96	35	595	火山礫凝灰岩		N514
209	6次 SD2	石罫	(150)	(121)	39	(640)	花崗斑岩		T225
210	6次 NR1	石罫	(127)	88	36	502	花崗斑岩		T208
211	3次 SX14	石罫	(107)	(83)	(26)	(250)	火山礫凝灰岩		N516
212	3次 SD17	石罫	(87)	(105)	(26)	(300)	粗流凝灰岩		T474
213	3次 包含層	石罫	(102)	(86)	(25)	(230)	粗流凝灰岩		T472
214	3次 包含層	石罫	(81)	(82)	(23)	(170)	凝灰岩		T473
215	3次 SD21	磨石	133.5	106	53	1060	砂岩		N475
216	6次 SX11	砥石	161	156	46	1822	凝灰岩		O18
217	6次 SX12	砥石	106	142	42	527	凝灰岩		O5
218	6次 包含層	砥石	130	83	51	632	砂岩		O69
219	6次 SD2	砥石	(122)	88	35	455	凝灰岩		T207
220	6次 包含層	砥石	(123)	(99)	(41)	(510)	砂岩		N204
221	6次 SX54	砥石	95	97	45	569	凝灰岩	中砥	O2
222	6次 P28	砥石	61	37	20	69.8	凝灰岩	中砥	O52
223	3次 SX14	砥石	47	32	25	40	凝灰岩	中砥	N507
224	3次 SD4	砥石	138	39	42	180	安山岩	中砥	T482
225	6次 SD12	砥石	72	31	28	62.9	砂岩		O44
226	6次 包含層	砥石	41	28	21	33	凝灰岩	中砥	O67
227	3次 SK50	砥石	142	73.5	34	450	安山岩	中砥	T407
228	3次 SK30	砥石	(80)	(51)	(35)	121.3	凝灰岩	中砥	N493
229	3次 SX14	砥石	(92)	(41)	(37)	(185.7)	凝灰岩	中砥	N515
230	3次 不明	砥石	(74)	(43)	(20)	(83.1)	砂岩	中砥	N458
231	6次 SK46	砥石	(78)	37	20	(70.4)	凝灰岩	中砥	O23
232	3次 SD7	砥石	(71)	(64)	(29)	(118.6)	凝灰岩	中砥	N460
233	6次 P29	砥石	62	39	16	42.4	凝灰岩	中砥	O56
234	3次 壁面	砥石	68	35	19	50	凝灰岩	中砥	N476
235	6次 P14	砥石	77	76	18	109.3	凝灰岩	中砥	O55
236	3次 包含層	砥石	(35)	(49)	(13)	(30)	砂岩	中砥	T412
237	3次 P22	砥石	(38)	(39)	(14)	(25)	凝灰岩	中砥	T428
238	6次 SD28	砥石	77	50	12	73	凝灰岩	中砥	O34
239	6次 SK53	砥石	(42)	42	10	25.2	砂岩		O14
240	6次 S111	砥石	(46)	45	7	(26)	砂岩		H116

番号	造構	砂種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考	実測 番号
241	3次 SX1	砥石	(61)	(46.5)	(10)	(30)	凝灰岩		T538
242	3次 SX1	砥石	98	34	4	15	泥岩	仕上砥	T536
243	3次 SX1	行火	(54)	(63)	(34)	(83)	凝灰岩		N537
246	6次 SK54	自然石	172	149	74	2530	安山岩	煤付着	O1
247	3次 SD2	自然石	(139)	(103)	(53)	(650)	安山岩	煤付着	T439
248	6次 SD28	砂礫石	(281)	185	108	(2800)	凝灰岩		O33
249	6次 SK54	行火	92	107	105	638	火山礫凝灰岩		O4
250	6次 P8	行火	144	(98)	(136)	680	軽石凝灰岩		N201
251	3次 SK29	行火	(106)	151	127	650	凝灰岩	煤付着	N498
252	3次 SD20	行火	(81)	(101)	(57)	(160)	凝灰岩	煤付着	T403
253	3次 SK6	行火	(99)	(88)	(59)	(250)	凝灰岩	煤付着	T481
254	3次 SD20	行火	(111)	(96)	(43)	(180)	凝灰岩	煤付着	N465
255	6次 SX9	石鉢	340	121	130	(5150)	凝灰岩		O20
256	6次 SK38	茶臼	292	178~174	115	11,000	凝灰岩		II105
257	6次 SK47	石臼	(169)	(152)	79	1538	凝灰岩	上臼	O30
258	6次 SK25	石臼	318	80		2100	緑色凝灰岩	上臼	N203
259	3次 SD8	石臼	(270)	70		1030	凝灰岩	上臼	N497
260	6次 SD26 SD28	石臼	305	99		3700	緑色凝灰岩	上臼	O37
261	6次 SD9	石臼	(150)	(264)	78	(3230)	凝灰岩	下臼	O50
262	6次 SK43	石臼	298	60		6000	緑色凝灰岩	下臼	N219
263	3次 SD14	玉	3	2		計測不可	緑色凝灰岩		N531
264	3次 SX14	石棒	45	8	7	3.8	石英		T523
265	3次 SX14	石棒	49	7	5	3.8	石英		T521
266	3次 SX14	石棒	(37)	(7)	(7)	(3.1)	石英		N520
267	3次 SX14	石棒	(33)	(7)	(5)	(2)	石英		T526
268	3次 SX14	石棒	(31)	(8)	(8)	(3.5)	石英		N522
269	3次 SX14	石棒	27	7	6	1.9	石英		T524
270	3次 SX14	ガラス棒	(42)	(5)	(5)	(2.1)		水色	T525

第5章 第8次調査の成果

第1節 遺構

第8次調査区では、中央部に東西を走る市道があり、その箇所は調査を実施することはできなかった。また、調査区西側の一角には郷用水の旧流路が認められ、一部の遺構が滅失している。

① 竪穴建物

SI1 (第30、31図)

調査区中央で確認した弥生時代の竪穴建物である。本遺構の南半分は現在の市道へと延び、全容はわからない。北東-南西長約4.2m、北西-南東長約4.7m、深さ25~30cmを測る。貼床は認められなかった。竪穴内に直径20~35cm、深さ約20cmのビット2基が存在し、柱穴になるかもしれない。

SI2 (第30、31図)

調査区中央部、SI1の西隣に位置する弥生時代の竪穴建物である。建物の大部分は、現在の市道や郷用水の旧流路にかかり全容は不明である。南北長2.8m以上、東西長1.3m以上、深さ約20cmを測る。貼床は認められなかった。

② 溝

SD1 (第30、31図)

調査区北端にある東西方向の溝である。全長約15m、溝幅85~230cmで、土層断面から一度掘り直されたことが認められる。深さは当初掘られた溝が50~60cm、掘り直された時の溝は約30cmを測る。方位はW3°Nである。

SD2 (第30、31図)

調査区南端で確認した東西方向の溝である。全長約16m、幅150~220cm、深さ70~90cmで、方位はW3°Sである。

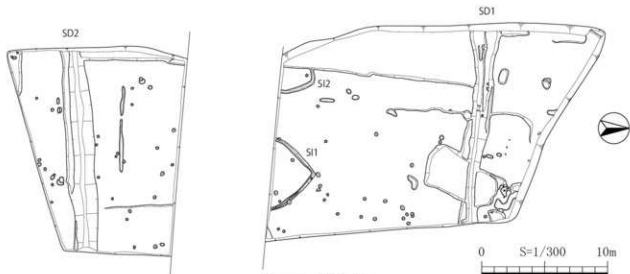
第2節 遺物 (第31~32図)

1~4は縄文土器である。1の深鉢口縁部には穿孔が見られる。5~21は弥生土器で、5~19はSI1、20及び21はSI2からの出土である。5~9は有段口縁を有した甕で擬凹線はもたない。17は器台脚部で棒状の形状をする。19は内外面に赤彩を施した鉢である。20は擬凹線をもたない有段口縁甕、21は底部に穿孔を有する。22~28は中世陶磁器である。22~25は青磁、26・27は瀬戸焼、28は珠洲焼で、22は外面に篋描蓮弁文、内面底部に刻花文を描いた碗である。28は珠洲焼篋鉢で口縁端部には波状文が見られる。31~37は石製品、38・39は金属品である。31と32は石鍬で、32は半分に欠損しており、使用中に割れたと考えられる。34~37は砥石で、いずれも中砥にあたる。38は鉄製小刀の欠損品と思われるが、錆の付着が著しい。

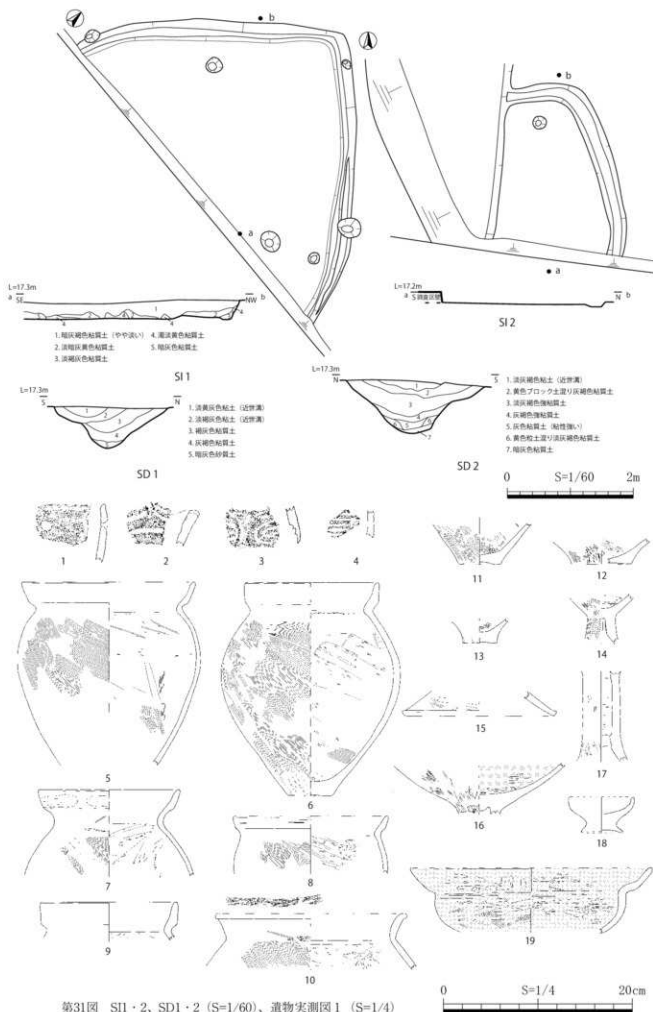
第3節 まとめ

竪穴建物SI1及びSI2は、出土した土器から、弥生時代後期後半の法仏式の時期にあたると思われる。本調査区は当該遺跡の北端にあたり、本遺跡の主体は中世集落である。それに対して、本遺跡の北方100mには弥生時代後期の集落跡が確認されている郷コボタ遺跡が存在する。今回見つかった竪穴建物SI1及びSI2は、郷コボタ遺跡で展開される弥生集落の一部にあたると思われる。

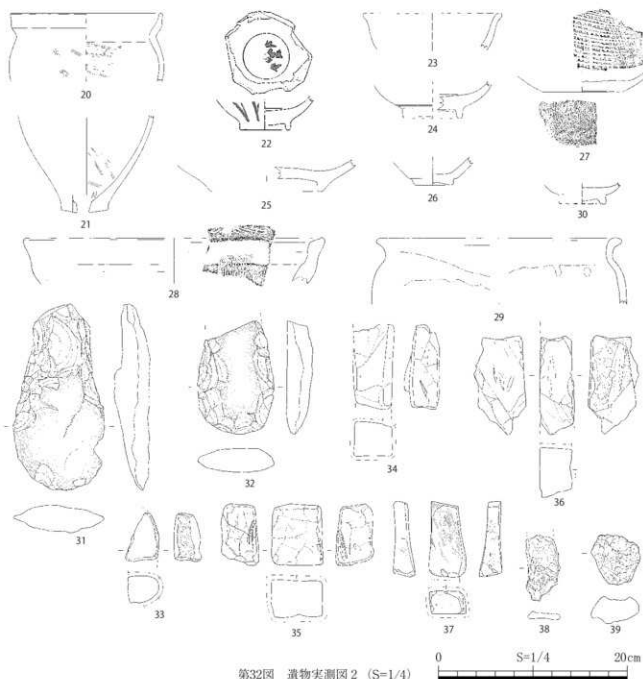
中世の主要遺構はSD1とSD2が認められる。両者の溝は東西方向、最大幅が約2m、深さが50~90cmと均一しており、同時期に存在していたと考えられる。機能については、区画及び排水施設と考えられる。両溝間の距離は約33mを測り、両溝間にまたがる空間地は中世集落の宅地の一部、もしくは耕作地と想定される。



第30図 遺構全体図



第31図 SI1・2、SD1・2 (S=1/60)、遺物実測図1 (S=1/4)



第32図 遺物実測図2 (S=1/4)

第7表 土器・陶磁器観察表

番号	遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
1	8次 S12	縄文土器 深鉢				ナデ	にぶい黄橙	少片	穿孔1 孔径4~9mm	O37
						ナデ	浅黄橙			
2	8次 S11	縄文土器 深鉢				ナデ	にぶい黄橙	少片	波状口縁 精製	O18
						ナデ	にぶい黄橙			
3	8次 S11	縄文土器 鉢				ナデ	にぶい黄橙	少片	精製	O19
						ナデ	にぶい黄橙			
4	8次 S11	縄文土器 鉢				ナデ	にぶい黄橙	少片	精製	O20
						ナデ	にぶい黄橙			
5	8次 S11	弥生土器 甕	186	頸部径 155	体部径 194	ヨコナデ、ハケ	にぶい橙、淡赤橙	口縁部 4/3 頸部 全周 製造3	外面煤	O3
						ヨコナデ、ハケ、ケズリ	にぶい黄橙			
6	8次 S11	弥生土器 甕	140	260	44	ヨコナデ、ハケ、ケズリ	にぶい黄橙	口縁部~胴1/2 底部全周	外面煤	O2
						ヨコナデ、ハケ、ケズリ	褐灰			
7	8次 S11	弥生土器 甕	150	頸部径 115		ヨコナデ、ハケ、ケズリ	にぶい橙	口縁部 1/12	外面煤	O7
						ヨコナデ、ケズリ	にぶい橙			
8	8次 S11	弥生土器 甕	165	頸部径 149	体部径 163	ヨコナデ、ハケ	にぶい橙	口縁部 1/7	外面煤	O10
						ヨコナデ、ケズリ	浅黄橙、褐灰			
9	8次 S11	弥生土器 甕	145	頸部径 132		ヨコナデ	にぶい橙	口縁部 2/3		O9
						ヨコナデ、ケズリ	にぶい橙			
10	8次 S11	弥生土器 甕	230	頸部径 180		ヨコナデ、ハケ	にぶい黄橙	口縁部 1/5	外面煤	O11
						ヨコナデ、ケズリ	にぶい黄橙			

番号	遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
11	8次 SI1	弥生土器 甕			44	ハケ		底部全周	外面煤	O12
12	8次 SI1	弥生土器 甕			64	ハケ	にぶい黄橙	底部全周		O13
13	8次 SI1	弥生土器 甕			36	ケズリ	にぶい黄橙	底部全周		O14
14	8次 SI1	弥生土器 高坏			30	ハケ、ナデ	浅黄橙、褐灰	底部全周		O15
15	8次 SI1	弥生土器 高坏			165	ナデ	褐灰	柱状部全周		O8
16	8次 SI1	弥生土器 高坏			44	ハケ	浅黄橙	柱状部全周		O16
17	8次 SI1	弥生土器 器台			40	ハケ	浅黄橙	柱状部全周		O15
18	8次 SI1	弥生土器 鉢	69		38	ナデ	浅黄橙	口縁部全周		O17
19	8次 SI1	弥生土器 鉢	256		202	ミガキ、ハケ	浅黄橙、赤橙	口縁部 1/2	内外面赤彩	O1
20	8次 SI2	弥生土器 甕	162		148	ヨコナデ、ハケ	浅黄橙	口縁部 1/6	外面煤	O5
21	8次 SI2	弥生土器 甕			50	ナデ	浅黄橙	底部全周	底部穿孔	O4
22	8次 SI2	青磁 碗			54	ハケ、ケズリ	浅黄橙	底部全周	青磁軸 匙柄通弁文、刺花文	O38
23	8次 SI2	青磁 碗	(148)			ミガキ、ハケ	浅黄橙、赤橙	口縁部 1/8	青磁軸	O27
24	8次 SI2	青磁 碗			63	ヨコナデ、ハケ	浅黄橙	口縁部 1/4	青磁軸 内外面沈線	O28
25	8次 SI2	青磁 鉢			118	ヨコナデ、ケズリ	浅黄橙	口縁部 1/7		O29
26	8次 SD1	瀬戸焼 天目茶碗			43	ナデ	浅黄橙	底部全周	鉄軸	O30
27	8次 SD2	瀬戸焼 鉢			86	ハケ、ケズリ	浅黄橙	底部 1/4		O31
28	8次 SD2	珠洲焼 福鉢	(320)			ロクロナデ	浅黄橙	口縁部 1/15	流状文	O32
29	8次 SD1	陶器 甕	(260)			ロクロナデ	褐灰	口縁部 1/8	鉄軸 灰軸	O25
30	8次 SD2	肥前陶器 碗			50	ロクロナデ	にぶい赤橙、灰白	高台部 2/3	内外面灰釉	O26

第 8 表 石製品観察表

番号	遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考	実測 番号
31	8次 SD1	石鎌	298	96	38	668	火山礫凝灰岩		O23
32	8次 SD1	石鎌	(120)	81	28	(345)	火山礫凝灰岩		O24
33	8次 包含層	磨石類	52	36	29	61.7	砂岩		O33
34	8次 SI1	砥石	(90)	44	37	(76.3)	凝灰岩	中砥	O22
35	8次 SI1	砥石	65	55	40	94.2	凝灰岩	中砥	O21
36	8次 SD2	砥石	(105)	37	54	(243)	緑色凝灰岩	中砥	O34
37	8次 SD2	砥石	80	39	24	77.8	泥岩	中砥	O35

第 9 表 鉄製品観察表

番号	グリッド 遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	実測 番号
38	8次 SD2	小刀	(70)	37	9	(24.7)		O36
39	8次 包含層	鉄洋	54	52	30	86.1	碗形洋	O39

第6章 第9次調査の成果

第1節 遺構

① 竪穴状遺構

SI1 (第33、35図)

調査区北東端で確認した竪穴状遺構である。本遺構の北東部は後世の掘削により破壊を受けている。南北長約6.4m、東西長約6.8m、深さ約40cmを測る。土層断面から、複数回掘り直しがあったと想定される。

SI2 (第33、35図)

調査区南東端に位置する東西に長い長方形のプランの竪穴状遺構である。南北長約3.4m、東西長約6.2m、深さ約15cmを測る。竪穴内部にはSB3及び4の柱穴が認められる。

② 掘立柱建物

SB1 (第33、35図)

調査区北端で確認した掘立柱建物で、北半は調査区外に延びるため全容はわからない。南北1間以上×東西3間で、方位はW3°Nである。柱間の長さは南北が4.0m、東西が3.5～4.0m、柱穴の形状は略円形で、直径40～80cm、深さ18～39cmを測る。SB2 (第33、36図)

調査区北端に位置し、SB1と交わる。北半は調査区外に延びるため全容は不明である。南北1間以上×東西3間、方位は真北である。柱間の長さは南北4.0m以上、東西3.3～3.6m、柱穴は略円形・不定形で、直径30～60cm、深さ10～29cmを測る。SB3 (第33、36図)

調査区東端に位置し、東半はSD1によって滅失している。南北4間×東西2間以上で、方位はN3°Wである。柱間の長さは南北が2.3～2.6m、東西が2.5m前後、柱穴は略円形で、直径25～40cm、深さ14～42cmを測る。

SB4 (第33、36図)

SB3の西隣にある2間×4間の東西に長い総柱式掘立柱建物である。方位はW10°Sで南北長約4.8m、東西長約9.8mの規模である。柱間の長さは南北が2.4m前後、東西が2.2～2.7m、柱穴は略円形をしており、深さ24～56cmを測る。

SB5 (第33、36図)

調査区中央SD4の南隣に位置し、SB4・6・8とは重複する。南北に長い4間×2間の総柱式掘立柱建物で、方位はN5°Wである。南北長約10.2m、東西長約4.8mの規模で、柱間の長さは南北2.2～2.8m、東西2.5m前後、柱穴は略円形で、深さ15～42cmを測る。

SB6 (第33、37図)

SI2の西隣に位置し、SB4・5・7とは重複する。3間×2間東西棟の総柱式掘立柱建物で、方位はN5°Wである。南北長約4.8m、東西長約7.2mの規模で、柱間の長さは南北2.4m前後、東西2.0～2.5m、柱穴は略円形で、深さ7～47cmを測る。SB7 (第33、37図)

調査区南端で確認した掘立柱建物で、南半は調査区外に延びるため全容はわからない。南北1間以上×東西3間で、方位はW8°Sである。柱間の長さは南北が2.0m以上、東西が1.8～2.2m、柱穴の形状は略円形で、深さ18～26cmを測る。SB8 (第33、37図)

調査区南端、SB5・9と重複する4間×2間南北棟の総柱式掘立柱建物で、方位はN7°Wである。南北長約8.2m、東西長約4.5mの規模で、柱間の長さは南北1.6～2.4m、東西2.0～2.4m、柱穴は略円形で、深さ14～29cmを測る。

SB9 (第33、37図)

調査区中央南端で確認した掘立柱建物で、南半は調査区外に延びるため全容はわからない。南北2間以上×東西1間で、方位はN2°Wである。柱間の長さは南北が2.0～2.4m、東西が2.5m前後、柱穴の形状は略円形で、深さ22～30cmを測る。

③ 土坑

SK1 (第33、37図)

調査区北東端に位置する。東側はSD1に切られ、北側は調査区外へと延びるためプランはわからない。南北4.9m以上、東西2.9m以上、深さ約30cmを測る。竪穴状遺構SI1を切っている。

SK2 (第33、37図)

調査区北端に位置し、土層断面からSD2を切っていることがわかった略方形の土坑である。南北長約90cm、東西長約1.4m、深さ約25cmを測る。

SK3 (第33、35図)

SI1に切られている方形土坑で、全容は不明である。南北長約3.0m、東西長75cm以上、深さ約20cmを測る。

SK4 (第33、37図)

SK3の東隣に位置する略円形をした土坑で、南側はSK5に切られている。南北70cm以上、東西約1.1m、深さ約50cmを測る。

SK5 (第33、37図)

SK4を切っている略円形をした土坑である。南北長約1.4m、東西長約1.5m、深さは約40cmを測る。

SK6 (第33、37図)

SI1の南西隣に位置する東西に長い長方形プランの土坑である。北端はSD5に切られている。南北長2.2m以上、東西長約3.0m、深さは約40cmを測る。

SK7 (第33、38図)

SK5の西隣にある略円形した土坑である。内部にはテラスや小穴が見られる。直径約1.5m、最深部は約75cmを測る。

SK8 (第33、38図)

SK7の南隣に接する略円形をした土坑である。直径約1.4m、深さは約100cmを測る。

SK9 (第33、38図)

SK8の西隣にある南北に長い隅丸長方形土坑である。南北長約3.2m、東西長約1.5m、深さは最深部で約70cmを測る。

SK10 (第33、38図)

SK9と接する不定形土坑である。南北長約4.5m、東西長約3.2m、深さは最深部で約80cmを測る。

SK11 (第33、38図)

調査区中央SD7の北隣にある方形土坑で、北側には突起状に方形の穴が延びている。2基の土坑が切り合っているとも考えられる。南北長約3.5m、東西長約2.0m、深さは約55cmを測る。

SK12 (第33、38図)

SK11の南隣に接する方形プランの土坑である。SK11との前後関係はわからない。南北長1.7m以上、東西長約2.0m、深さ約40cmを測る。

SK13 (第33、38図)

SB5の東隣に位置する南北に長い長方形土坑である。南北長約1.2m、東西長約70cm、深さ約40cmを測る。

SK14 (第33、38図)

SI2の北側に位置する隅丸方形土坑である。南北長約1.4m、東西長約1.1m、深さ約35cmを測る。

SK15 (第33、38図)

SB4内にある方形土坑である。南北長約1.4m、東西長約1.7m、深さ約45cmを測る。

SK16 (第33、39図)

調査区南端のSB8内にある隅丸方形土坑である。南北長約2.6m、東西長約2.3m、深さ約85cmを測る。

SK17 (第33、38図)

SI1の東隣に位置する東西に長い長方形土坑である。南北長約80cm、東西長約1.4m、深さ約80cmを測る。

SK18 (第33、38図)

調査区西側のSD12及びSD13と接する不定形土坑である。北西-南東長2.7m以上、北東-南西長約1.9m、深さ約55cmである。

④ 溝

SD1 (第33、34、39図)

調査区東端にある近世の南北溝である。溝の一部は調査区外となるため溝幅の大きさは不明である。長さ約32m、幅2.7m以上、深さ35～65cmを測る。

SD2 (第33、37図)

調査区北端を走る東西溝である。溝の一部は調査区外となるため溝幅の大きさはわからない。長さ約25m、幅1.2m以上、深さ55～90cmである。

SD3 (第33、34、39図)

近世溝SD1の西隣に接する南北方向の溝である。SD1とは時期及び方向が同じである。長さ約22m、幅1.5m以上、深さ40～50cmである。

SD4 (第33、34、39図)

SI1の南東から南方へ、途中西方へ向きを変えるL字形の溝である。南北長約9m、東西長約28m、幅約1.0m、深さ約50cmである。東西ラインの一角には、深さが20cmと浅くなり、その周りに自然石が集積する箇所がある。

SD5 (第33、35、38図)

SI1の南をかすめるように走る東西溝である。長さ約14m、幅約70cm、深さ約20cm、方位W10°Nである。

SD6 (第33、34、39図)

SK10とSD4の間をつなぐように走る南北溝である。長さ約7m、幅約70cm、深さ20～30cmを測る。

SD7 (第33、34、39図)

SK12と接し、そこから南へ走る南北溝である。長さ約8m、幅1.0～1.5m、深さ65～70cmを測る。

SD8 (第33、34、39図)

SD7の西隣を並走するように走る南北溝で、南端はSD4と合流する。長さ約8m、幅約85cm、深さ40～50cmである。

SD9 (第33、34、39図)

SD8の西側にある南北溝で、北方は調査区外へと延びる。長さ約6m、幅80～120cm、深さ15～20cm、方位N4°Eである。

SD10 (第33図)

SD4から南へ約4mにある東西溝で、SD4と同方位で並走している。全長約30m、幅約50cm、深さ10～15cmを測る。

SD11 (第33図)

SD10の西側にある南北溝で、北端は調査区外へ、南端はSX2とぶつかる。長さ約5m、幅約70cm、深さ10～20cmである。

SD12 (第33図)

SX1・2の西隣を走る南北方の溝である。長さ約17m、幅50～80cm、深さ10～20cm、方位はN3°Eである。

SD13 (第33・39図)

SX1とSD14の間を走る北東-南西ラインの溝である。長さ約9m、幅30～50cm、深さ20～30cm、方位N40°Eである。

SD14 (第33、34、40図)

SD12の西方にある南北溝である。長さ約17m、幅2.0～2.5m、深さ1.2～1.4mを測る。

SD15 (第33図)

調査区西端の近世南北溝で、SD1と同様一部は調査区外となるため全容は不明である。長さ約13m、幅1.6m以上、深さ20～40cmである。

⑤ 不明遺構

SX1 (第33図)

調査区西方、SD12の東隣に位置する方形の落ち込みである。北端は調査区外へと延び、南端はSX2と接する。南北長約7.5m、東西長6.2～7.5m、深さ15～35cmを測る。

SX2 (第33、34、40図)

SK18・SD12の東にある大型の落ち込み遺構で、北端の一部はSX1と接し、南端は調査区外へと延びる。土層の状況から複数の穴が何回も掘り返されたものと考えられる。南北長約11m、東西長約19m、深さ60～140cmを測る。

SX3 (第33、34、40図)

SD14に切られた方形の落ち込み遺構である。北側は調査区外、東側はSD14と接していることで、全容がわからず、土坑ではなく不明遺構とした。堆積土中に拳から人頭大の自然石が散在していた。南北長3.1m以上、東西長1.5m以上、深さ約1.6mを測る。

第2節 遺物 (第41～44図)

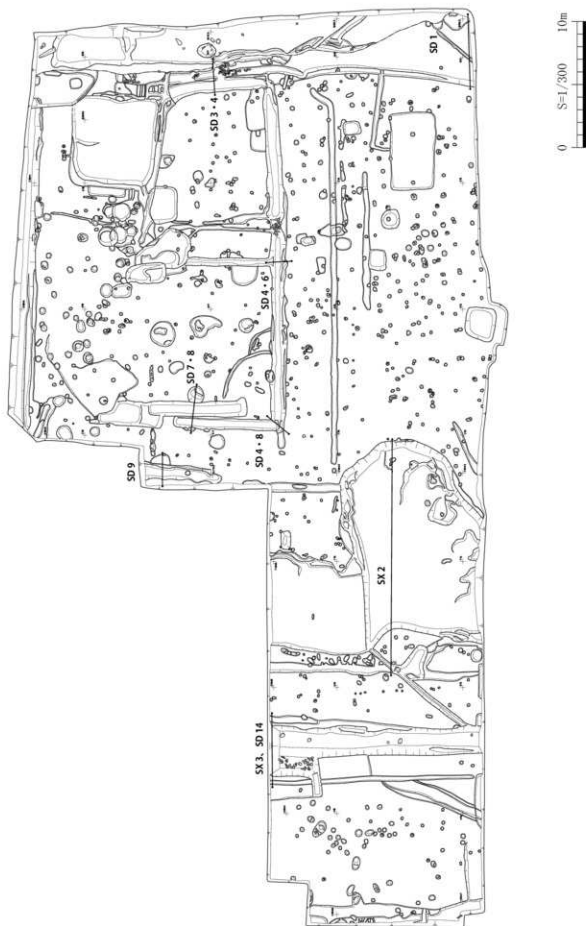
2～14は弥生から古墳時代にかけての土器で、弥生時代の土器は終末期にあたる月形式のものが多く、15～17は古代土器で、15の須恵器杯の外底部には刻線によるヘラ記号が付く。18～28は中世陶磁器である。20の珠洲焼鉢の口縁端部には波状文がみられる。25と26は青磁碗で、25外面には篋描蓮弁文、26内面には草花文が施されている。29と30は中世土師器皿で、30の口縁部には灯心油痕が認められる。31～89は碗、皿、鉢など日常雑器として使われた近世後半の陶磁器である。90～107は石製品である。90～97は石鎌で、刃こぼれや半分に割れているなど使用された痕跡がみられる。99の石臼は上臼が欠損したもので一部に煤が付着する。100～105は砥石である。100は上臼の転用品、103にはベンガラのようなものが一部に付着している。108、109は木製品である。109は木筒で、両面に墨痕があり、文字が書かれていたと思われるが判読はできない。110～112は土製品である。111は近世の箱底道具の民家、112は磁製人形で高麗聖人の顔と思われる。

第3節 まとめ

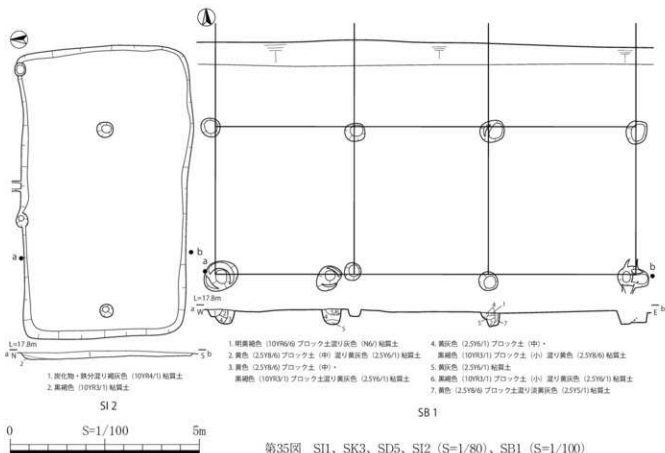
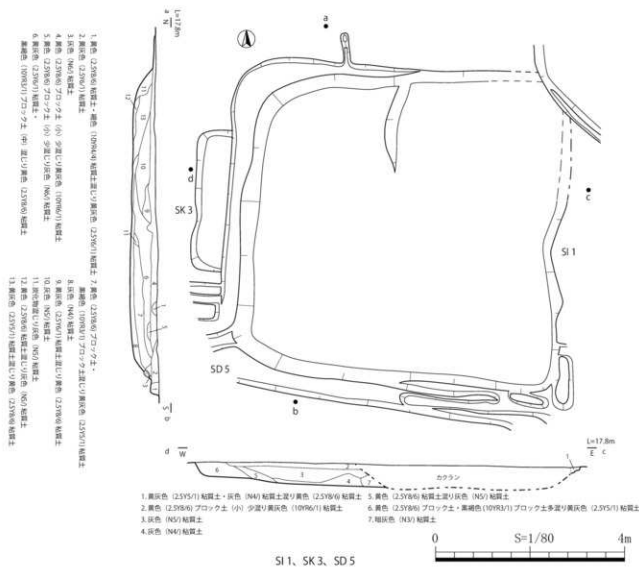
本調査区の主要な時期は弥生時代後期、中世及び近世でいずれも集落跡である。弥生後期、中世については、遺物は出土するが遺構はほとんど確認できず、周辺の調査の状況から推察すると、この2時期における本調査区の様相は集落の縁辺部にあたると想定される。近世においては、S11、SK1・3・6・11、SD1・4・5・6・7、SX2などから遺物が出土している。確認できた複数の掘立柱建物も近世の時期と推察される。掘立柱建物はSB1・2が調査区北端に、SB3～9が南側に位置する。これら建物群の間にはSK3～10の土坑が錯綜するように掘られ、その東隣には堅穴状遺構のS11が見られる。さらにその南側には東西及び南北方位のSD4～10の溝が走る。このSD4・5・6・8は大きな空地を有するための区画溝を呈している。また、SD4とSD10、SD8とSD11との間は道路状遺構になると想定され、建物・堅穴状遺構・空地がセットとなった宅地を溝で区画し、計画集落構成がみとれる。本調査区北側隣には現在の郷町の集落が存在する。今回の調査で確認した近世後半の遺跡は現郷町集落の前身にあたると思われる。



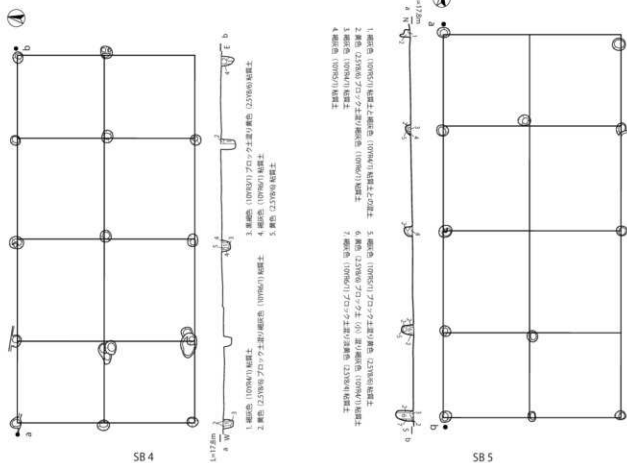
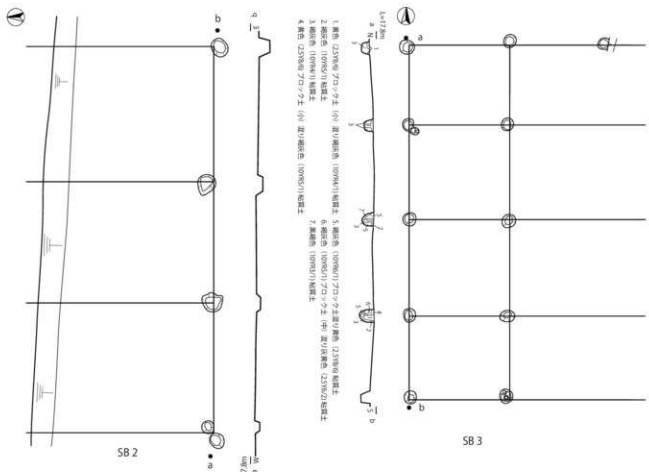
第33図 遺構全体図



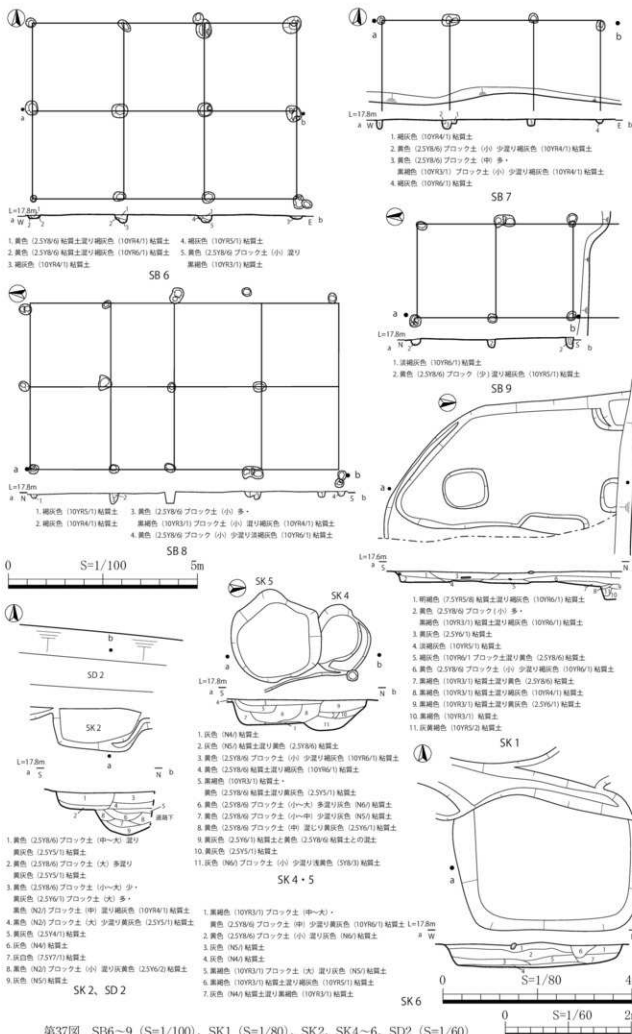
第34图 土層断面位置图



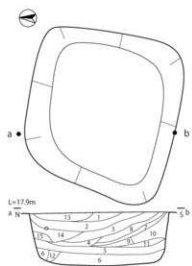
第35図 SI1, SK3, SD5, SI2 (S=1/80), SB1 (S=1/100)



第36図 SB2-5 (S=1/100)

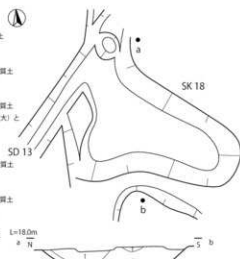


第37図 SB6~9 (S=1/100), SK1 (S=1/80), SK2, SK4~6, SD2 (S=1/60)



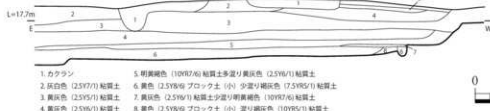
1. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (小) 多・
黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中〜大) 少量埋め戻り土 (10YR4/1) 粘質土
2. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中)・
黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中〜大) 少・
淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小〜中) 多埋り埋め戻り土 (10YR4/1) 粘質土
3. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (小〜大) 多・
黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 少・
淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小〜中) 多埋り埋め戻り土 (10YR4/1) 粘質土
4. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (大) と黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (大) と
淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (大) との混土
5. 灰色 (N6/5) 粘質土
6. 灰色 (N5/5) 粘質土
7. 淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小〜中) 多埋り埋め戻り土 (10YR4/1) 粘質土
8. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中〜大) 多・
黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小〜中) 多・
淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小〜中) 多埋り埋め戻り土 (10YR4/1) 粘質土
9. 淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中) 埋り埋め戻り土 (10YR4/1) 粘質土
10. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (小〜中) 多・
淡黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 多埋り埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土
11. 埋め戻り土 (10YR6/1) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/6) 粘質土
12. 褐色 (10YR4/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (N6/5) 粘質土
13. 灰色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 少量埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土
14. 灰色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 少・
黒褐色 (10YR3/1) 粘質土埋り埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土
15. 黒褐色 (10YR3/1) 粘質土埋り埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土

SK 16



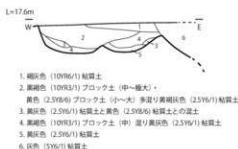
1. 灰白色 (2.5YR/1) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/6) 粘質土
2. 灰白色砂質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
3. 灰白色 (2.5YR/1) 砂質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/6) 砂質土
4. 灰白色 (2.5YR/1) 砂質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
5. 黄色 (2.5YR/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土

SK 18, SD 13



1. カクン
2. 灰白色 (2.5YR/1) 粘質土
3. 灰白色 (2.5YR/1) 粘質土
4. 灰白色 (2.5YR/1) 粘質土
5. 明黄褐色 (10YR7/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 少量埋め戻り土 (7.5YR/5) 粘質土
7. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土少量埋め戻り土 (10YR7/6) 粘質土
8. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 埋め戻り土 (10YR5/1) 粘質土

SD 1



1. 褐色 (10YR6/1) 粘質土
2. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中〜大) 多・
黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小〜大) 多埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
3. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土と黄色 (2.5YR/6) 粘質土との混土
4. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中) 埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
5. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土
6. 灰色 (5YR/6) 粘質土

SD 3・4



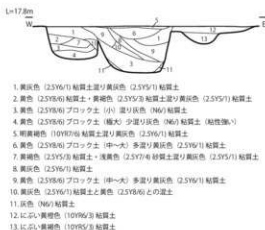
1. 灰色 (5YR/6) 粘質土
2. 灰色 (5YR/6) 粘質土
3. 灰色 (N6/5) 粘質土
4. 褐色 (10YR4/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (3YR/6) 粘質土
5. 炭化物埋り埋め戻り土 (5YR/6) 粘質土
6. 灰白色 (2.5YR/1) 砂質土
7. 灰色 (N5/5) 粘質土
8. 黄色 (2.5YR/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土

SD 4・6



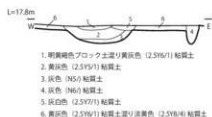
1. 灰白色 (2.5YR/1) 粘質土
2. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土
3. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土
4. 黒褐色 (10YR3/1) ブロック土 (中〜大) 多・
黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小〜中) 埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
5. 黄色 (2.5YR/6) 粘質土
6. 灰色 (N6/5) 粘質土
7. 灰色 (N5/5) 粘質土
8. 灰色砂質土埋り埋め戻り土 (N5/5) 粘質土
9. 灰色 (N6/5) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/6) 粘質土
10. 灰色砂質土多埋り埋め戻り土 (N6/5) 粘質土
11. 淡黄色 (2.5YR/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (N5/5) 粘質土
12. 黒褐色 (10YR3/1) 粘質土・
淡黄色 (2.5YR/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土

SD 4・8



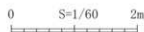
1. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
2. 黄色 (2.5YR/6) 粘質土・黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
3. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (小) 少量埋め戻り土 (N6/5) 粘質土 (粘性強)
4. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中〜大) 少量埋め戻り土 (N6/5) 粘質土 (粘性強)
5. 明黄褐色 (10YR7/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
6. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中〜大) 多埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
7. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土・淡黄色 (2.5YR/6) 砂質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
8. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土
9. 黄色 (2.5YR/6) ブロック土 (中〜大) 多埋り埋め戻り土 (2.5YR/1) 粘質土
10. 灰白色 (2.5YR/1) 粘質土と黄色 (2.5YR/6) との混土
11. 灰色 (N6/5) 粘質土
12. に近い黄褐色 (10YR6/3) 粘質土
13. に近い黄褐色 (10YR5/3) 粘質土

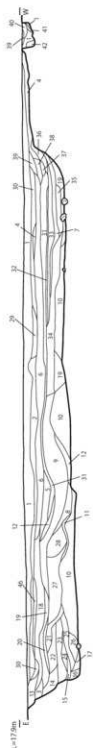
SD 7・8



1. 明黄褐色ブロック土埋り埋め戻り土 (2.5YR/6) 粘質土
2. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土
3. 灰色 (N5/5) 粘質土
4. 灰色 (N6/5) 粘質土
5. 灰白色 (2.5YR/1) 粘質土
6. 黄褐色 (2.5YR/6) 粘質土埋り埋め戻り土 (2.5YR/6) 粘質土

SD 9



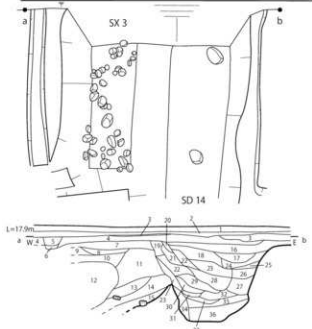


1. 緑灰色 (10YR4/1) 粘質土
2. 褐色 (10YR4/1) 粘質土より明黄褐色 (2.5Y7/6) 砂質土
3. 黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土より黄褐色 (2.5Y4/1) 粘質土
4. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小) 混り黄褐色 (2.5Y2/1) 粘質土
5. 灰白色 (5Y7/1) 粘質土・灰白色 (5Y5/1) 砂質土より灰白色 (7.5Y7/1) 砂質土
6. 淡黄褐色 (2.5Y8/3) 粘質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土
7. 灰白色 (5Y7/1) 粘質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 砂質土
8. 灰白色 (2.5Y6/2) 砂質土
9. 灰白色 (5Y7/1) 粘質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 砂質土
10. 黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
11. 黄褐色粘質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 砂質土
12. 淡黄褐色 (2.5Y8/3) 粘質土・黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土
13. 黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土より黄褐色 (10YR4/1) 粘質土
14. 黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土 (黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小) 混り)
15. 灰白色 (N6) 粘質土と灰白色 (7.5Y7/1) 粘質土との混り
16. 灰白色 (5Y7/1) 砂質土
17. 淡黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小) 混り黄褐色 (7.5Y7/1) 粘質土
18. 淡黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
19. 灰白色 (N7) 粘質土
20. 淡黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (小) 混り黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土
21. 黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土

22. 灰白色 (2.5Y6/1) 砂質土
23. 褐色 (10YR3/3) 砂質土より灰白色 (2.5Y6/1) 砂質土
24. 黄褐色 (2.5Y6/1) 砂質土
25. 小石 (径 5mm) 多量に黄褐色 (2.5Y6/1) 砂質土
26. 灰白色 (2.5Y6/1) 砂質土と黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土との混り
27. 淡黄褐色 (2.5Y8/3) 粘質土より灰白色 (N7) 粘質土
28. 淡黄褐色 (2.5Y8/3) 粘質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
29. 淡黄褐色 (2.5Y8/3) 粘質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土
30. 黄褐色 (2.5Y2/1) ブロック土 (小) 混り黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
31. 灰白色 (5Y8/1) 粘質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
32. 灰白色 (5Y8/1) 粘質土より淡黄褐色 (2.5Y7/4) 粘質土
33. 黄褐色 (2.5Y5/1) 砂質土より灰白色 (N7) 粘質土
34. 黄褐色 (2.5Y5/1) 砂質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土
35. 明黄褐色 (2.5Y7/6) 砂質土より灰白色 (N7) 粘質土
36. 灰白色 (5Y8/1) 粘質土より黄褐色 (10YR4/1) 粘質土
37. 褐色 (10YR4/1) 粘質土より灰白色 (5Y8/1) 粘質土
38. 黄褐色 (2.5Y2/1) 粘質土
39. 黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
40. 黄褐色 (10YR5/1) 粘質土
41. 褐色 (2.5Y8/6) 粘質土より黄褐色 (10YR4/1) 粘質土
42. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土より黄褐色 (10YR4/1) 粘質土

SX 2

0 S=1/100 5m

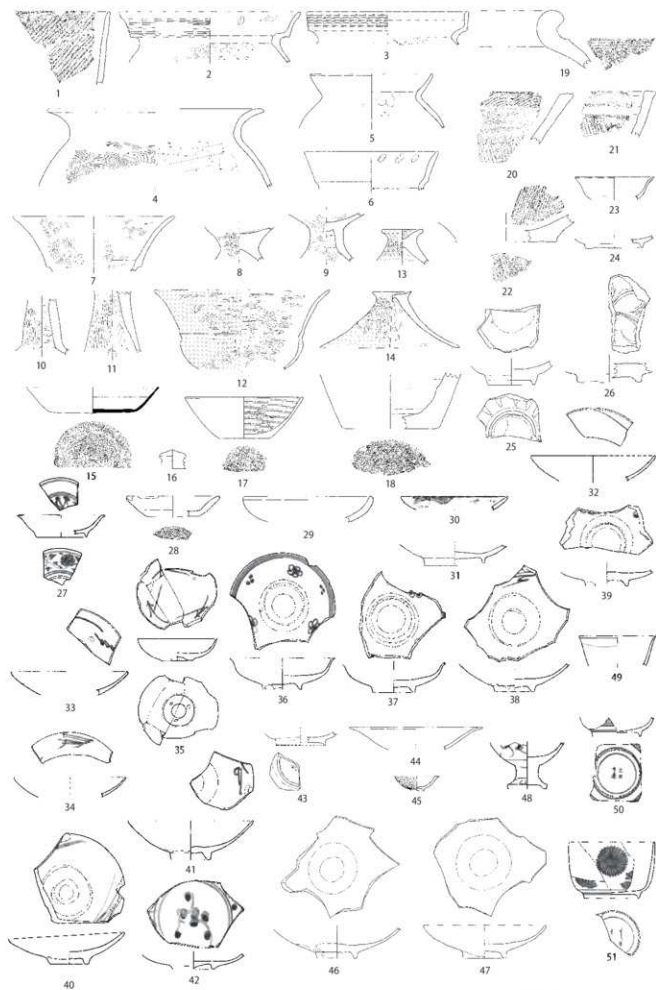


1. 砂土
2. 砂土
3. 灰土
4. 灰白色 (2.5Y6/1) 粘質土より黄褐色 (10YR4/2) 粘質土
5. 黄褐色 (10YR3/2) 粘質土
6. 黄褐色 (10YR3/2) ブロック土 (小) 混り黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
7. 黄褐色 (10YR3/2) 粘質土
8. 淡黄褐色 (10YR6/1) 粘質土
9. 淡黄褐色 (10YR6/1) 粘質土
10. 淡黄褐色 (10YR6/1) 粘質土より灰白色 (2.5Y6/1) 粘質土
11. 明黄褐色 (2.5Y7/6) 粘質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
12. 明黄褐色 (2.5Y7/6) 粘質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
13. 黄褐色 (2.5Y6/1) 砂質土 (灰白色 (2.5Y8/2) 粘質土混り)
14. 黄褐色 (10YR5/1) 粘質土
15. 灰白色 (10YR5/1) 粘質土
16. 灰白色 (10YR2/1) 粘質土
17. 灰白色 (7.5Y8/2) 粘質土より灰白色 (2.5Y6/1) 粘質土
18. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土より黄褐色 (10YR5/1) 粘質土
19. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土より黄褐色 (10YR5/1) 粘質土
20. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土より黄褐色 (10YR5/1) 粘質土
21. 淡黄褐色 (2.5Y7/1) 砂質土
22. 淡黄褐色 (2.5Y8/6) 砂質土
23. 灰白色 (7.5Y7/1) 砂質土
24. 灰白色 (5Y6/1) 砂質土
25. 灰白色 (7.5Y8/1) 砂質土より黄褐色 (10YR6/1) 砂質土
26. 灰白色 (7.5Y7/1) 砂質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 砂質土
27. 灰白色 (7.5Y7/1) 砂質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 砂質土
28. 灰白色 (2.5Y8/6) 砂質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 砂質土
29. 灰白色 (2.5Y6/1) 砂質土
30. 黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土
31. 黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
32. 黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
33. 黄褐色 (2.5Y6/1) 粘質土より黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
34. 黄褐色 (2.5Y8/6) ブロック土 (大) 混り黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土
35. 黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
36. 淡黄褐色 (2.5Y7/3) 砂質土より黄褐色 (2.5Y6/1) 砂質土
37. 黄褐色 (2.5Y8/6) 粘質土
38. 黄褐色 (2.5Y5/1) 粘質土より黄褐色 (2.5Y4/1) 粘質土

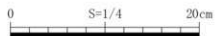
SX 3, SD 14

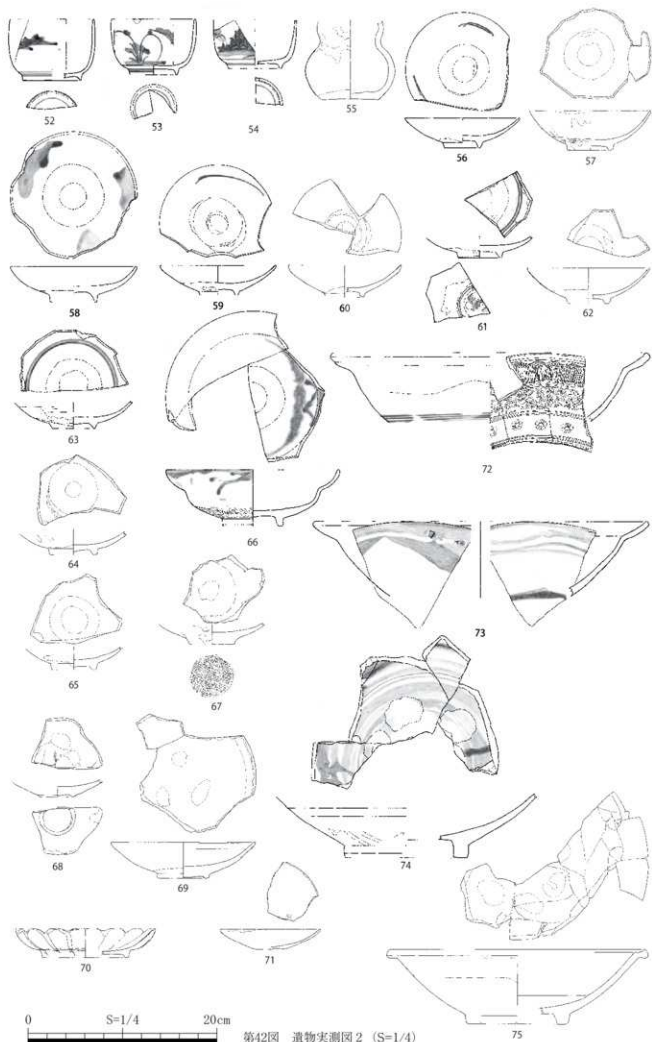
0 S=1/80 4m

第40図 SX2 (S=1/100), SX3, SD14 (S=1/80)

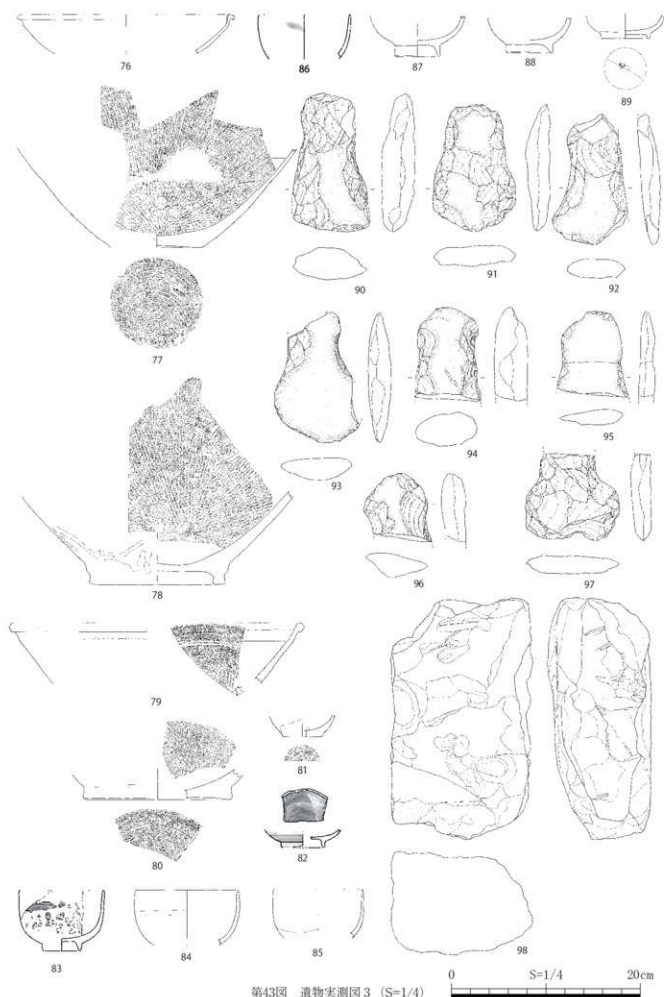


第41图 遺物実測図1 (S=1/4)

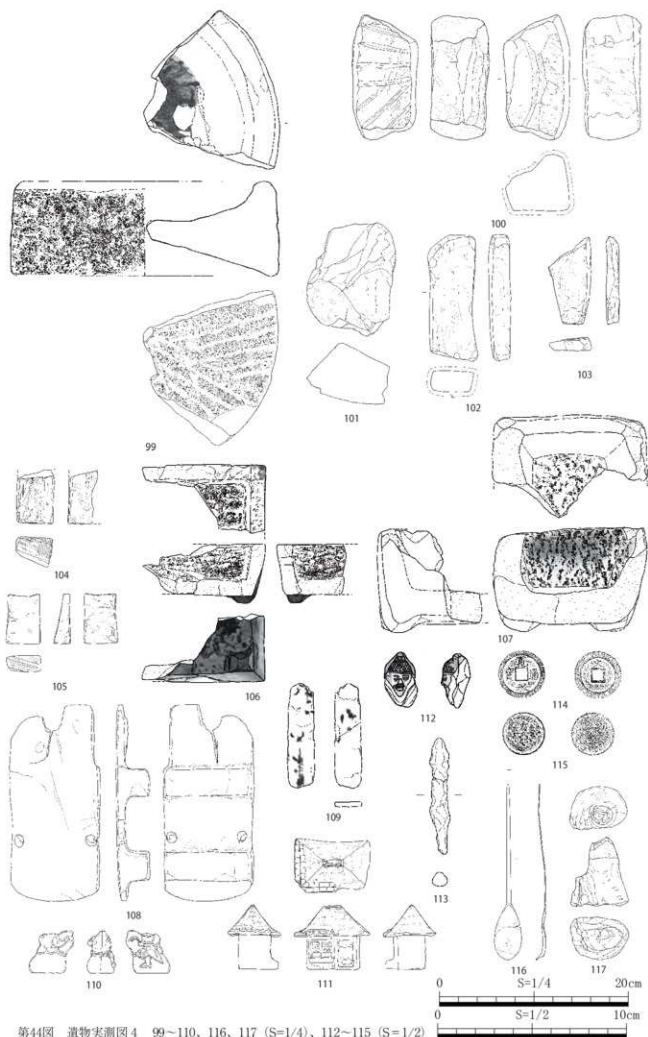




第42図 遺物実測図2 (S=1/4)



第43図 遺物実測図3 (S=1/4)



第44図 遺物実測図4 99~110、116、117 (S=1/4)、112~115 (S=1/2)

第10表 土器・陶磁器観察表

番号	遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
1	9次 SD14	縄文土器 深鉢				ナデ	にぶい黄橙	少片	海路管針 索直	H18
2	9次 SX1	弥生土器 甕	192	頸部径 148		ナデ	浅黄橙	口縁部 1/6 頸部 1/7	縄門線9条 指頭圧痕	H13
3	9次 包含層	弥生土器 甕	172	頸部径 146		ヨコナデ、ハケ	にぶい黄橙	口縁部 1/5 頸部 1/4	縄門線6条	H27
4	9次 SX1	弥生土器 甕	230	頸部径 182		ヨコナデ、ハケ	にぶい黄橙	口縁部 1/6	内面線	H12
5	9次 包含層	弥生土器 甕	130	頸部径 105		ヨコナデ、ハケ	浅黄橙	口縁部 1/6 頸部 1/8	体部 1/10 外面線	H26
6	9次 P5	弥生土器 壺	142			ヨコナデ	浅黄橙	口縁部 1/5	指頭圧痕	H18
7	9次 SX1	弥生土器 高坏	(172)			ヨコナデ、ハケ	浅黄橙	口縁部 1/8		H11
8	9次 包含層	弥生土器 台付壺			(51)	ミガキ	にぶい黄橙	全周		H31
9	9次 包含層	弥生土器 高坏		脚部径 36		ミガキ	にぶい黄橙	脚部 2/3		H32
10	9次 SX1	土師器 高坏		脚部径 32~42		ミガキ	にぶい黄橙	脚部全周		H14
11	9次 SD13	弥生土器 器台		脚部径 38		ナデ、ハケ	浅黄橙	脚部全周	透孔1	H19
12	9次 P6	弥生土器 鉢	186	体部径 130		ナデ、ハケ	浅黄橙	口縁部 3/4	外面赤彩	H19
13	9次 SD14	弥生土器 壺		つまみ径 44	頸部径 30	ミガキ	浅黄橙	つまみ部 7/8 頸部全周	外面赤彩	H17
14	9次 P4	弥生土器 須恵器 壺	148	頸部径 34		ナデ	浅黄橙	つまみ頸部全周	外面赤彩	H20
15	9次 包含層	須恵器 坏	140	28	88	ハケ、ナデ	浅黄橙	口縁部 1/2 底部 1/2	外底部ヘラ記号	H34
16	9次 SK16	須恵器 壺		つまみ径 28		ロクロナデ	灰白	つまみ部全周		H87
17	9次 包含層	土師器 碗	125	44	52	ロクロナデ	にぶい黄橙	口縁部 1/6 底部 1/2	体部 1/6 内黒	H33
18	9次 SK12	珠洲焼 壺			103	ミガキ	黒褐	底部 1/3		H96
19	9次 SD15	珠洲焼 甕				ロクロナデ	灰	少片		H12
20	9次 SD2	珠洲焼 深鉢				ロクロナデ	黄灰	少片	波状文	H49
21	9次 SD2	珠洲焼 深鉢				ロクロナデ	灰	少片		H48
22	9次 SD2	珠洲焼 深鉢			(108)	ロクロナデ	灰	少片		H47
23	9次 SD2	白磁 碗	84			ロクロナデ	灰白	口縁部 1/5	白磁軸	H45
24	9次 包含層	白磁 皿		高台径 62		ロクロナデ	灰黄	高台部 1/5	白磁軸	H112
25	9次 SD2	青磁 碗		高台径 50		ロクロナデ	灰白	高台部 1/2	青磁軸 匙插通弁文	H46
26	9次 SD15	青磁 碗		高台径 58		ロクロナデ	灰白	高台部 1/2	青磁軸 草花文	H14
27	9次 包含層	染付 皿	94	23.5	高台径 53	ロクロナデ	明緑灰、浅黄	口縁部 1/7 高台部 1/7		H116
28	9次 包含層	瀬戸焼 皿	68	15	38	ロクロナデ	明緑灰	口縁部 1/5 底部 1/4	灰軸	H111
29	9次 SD2	土師器 皿	114			ロクロナデ	灰白	口縁部 1/4		H85
30	9次 SK9	土師器 皿	114			ナデ	にぶい黄橙	口縁部 1/7	灯芯油痕	H79
31	9次 SD7	肥前磁器 白磁皿		高台径 50		ナデ	にぶい黄橙	高台部 1/2	白磁軸	H61
32	9次 SD9	肥前磁器 染付皿	131			ロクロナデ	灰白	口縁部 1/6		H56
33	9次 SD6	肥前磁器 染付皿	124			ロクロナデ	明緑灰	口縁部 1/7		H54
34	9次 包含層	肥前陶器 皿	119			ロクロナデ	灰白	高台部 1/4	白磁軸	H109
35	9次 SD7	肥前磁器 染付皿	84.5	24	34	ロクロナデ	明緑灰	口縁部 3/8 底部全周	砂目	H58

番号	遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
36	9次 SD7	肥前磁器 染付皿	112	33	高台径 42	クロロナデ	灰白	口縁部 1/2 高台部全周	蛇の目輪測ぎ 砂付着	H157
37	9次 SD9	肥前磁器 染付皿		高台径 45		クロロナデ	明緑灰、灰白	高台部全周 体部 1/2	蛇の目輪測ぎ	H155
38	9次 SD11	肥前磁器 皿		高台径 42		クロロナデ	灰白	高台部全周	白磁輪 蛇の目輪測ぎ	H199
39	9次 SD4	染付 皿		高台径 45		クロロナデ	明緑灰、灰黄	高台部 1/2	蛇の目輪測ぎ	H141
40	9次 包含物	肥前磁器 皿	123	高台径 40.5		クロロナデ	明緑灰、にぶい橙	口縁部 1/4 高台部全周	透明輪 蛇の目輪測ぎ	H114
41	9次 SD11	肥前磁器 皿	133	41	高台径 42	クロロナデ	灰白、灰黄	高台部 2/8 口縁部 1/16	透明輪 蛇の目輪測ぎ	H100
42	9次 包含物	肥前陶器 皿		高台径 45		クロロナデ	明オリブ灰、灰黄			H106
43	9次 SK3	白磁 碗		高台径 53		クロロナデ	灰白	高台部 1/4	白磁輪 刻書 (人名か)	H171
44	9次 SD4	白磁 皿	142			クロロナデ	灰黄	口縁部 1/6	白磁輪	H137
45	9次 SK2	白磁 紅皿	47	16	145	クロロナデ	灰白	完形		H121
46	9次 SD4	青磁 皿		高台径 42		クロロナデ	明緑灰、灰白	高台部全周	砂付着 蛇の目輪測ぎ	H139
47	9次 SD4	青磁 皿	130	35	高台径 46	クロロナデ	明緑灰、灰黄	高台部全周	蛇の目輪測ぎ	H140
48	9次 SD4	肥前磁器 仏教器		脚部径 23	高台径 41	クロロナデ	明緑灰	脚部全周 高台部 1/2		H142
49	9次 SD4	肥前磁器 紅口	81			クロロナデ	灰白	口縁部 1/6		H143
50	9次 SD7	肥前磁器 染付碗		高台径 51		クロロナデ	灰白	高台部 6/7	大明年製	H159
51	9次 SD7	肥前磁器 染付碗	91	60	高台径 58	クロロナデ	灰白	口縁部 1/6 高台部 1/3		H163
52	9次 包含物	肥前磁器 碗	90	59	高台径 50	クロロナデ	灰白	口縁部 1/4 高台部 1/2		H113
53	9次 SK11	肥前磁器 碗	90	65	高台径 62	クロロナデ	灰白	口縁部 1/3 高台部 1/3	透明輪	H191
54	9次 SD4	肥前磁器 碗		高台径 57		クロロナデ	灰白	高台部 1/4 体部 1/9		H144
55	9次 SK1	陶器 壺		体部径 94.5	60	クロロナデ	褐、にぶい黄橙	体部全周 底部全周	鉄輪	H167
56	9次 SK9	肥前陶器 皿	122	31.5	高台径 38	クロロナデ	灰白、にぶい橙	口縁部 2/5 高台部全周	透明輪	H177
57	9次 SK9	肥前陶器 皿	128	42	高台径 49	クロロナデ	浅黄、灰白 緑灰、淡黄	口縁部 1/9 高台部全周	銅緑輪 蛇の目輪測ぎ	H172
58	9次 SD6	肥前陶器 皿	134	38	高台径 50	クロロナデ	浅黄、淡黄 浅黄、灰黄	口縁部 1/2 高台部全周	銅緑輪、蛇の目輪測ぎ 京焼風	H153
59	9次 SK11	肥前陶器 皿	124	32	39	クロロナデ	灰白、にぶい橙	口縁部 3/7 高台部全周	透明輪 蛇の目輪測ぎ	H193
60	9次 SK11	肥前陶器 皿	120	34	高台径 40	クロロナデ	明緑灰、灰黄	口縁部 1/3 高台部 1/2	透明輪 蛇の目輪測ぎ	H190
61	9次 包含物	肥前陶器 皿		高台径 46		クロロナデ	にぶい黄橙、明緑灰	高台部 1/4	透明輪、蛇の目輪測ぎ 外底部黒痕	H105
62	9次 SD1	肥前陶器 皿	130	38	高台径 43	クロロナデ	灰白、明緑灰	高台部 1/2	銅緑輪 蛇の目輪測ぎ	H103
63	9次 SD7	肥前陶器 染付皿		高台径 45		クロロナデ	灰白、にぶい橙、灰黄 明オリブ灰、灰白、にぶい橙	高台部 1/2 体部 1/2	陶胎染付	H162
64	9次 包含物	肥前陶器 皿		高台径 50		クロロナデ	オリブ黄、灰黄	高台部全周	銅緑輪 蛇の目輪測ぎ	H115
65	9次 壁面	肥前陶器 皿		高台径 47		クロロナデ	緑灰、灰オリブ、灰黄	高台部全周	銅緑輪 蛇の目輪測ぎ	H107
66	9次 SK10	肥前陶器 皿	184	60	高台径 64	クロロナデ	浅黄、灰黄	口縁部 1/3 高台部 4/9	銅緑輪	H188
67	9次 SD11	陶器 皿			47	クロロナデ	灰オリブ、灰黄	底部全周	灰釉 糸切り痕	H110
68	9次 SD1	肥前陶器 皿		高台径 38		クロロナデ	にぶい黄橙、灰白	鉄輪 砂目3個		H108
69	9次 SK10	肥前陶器 皿	154	高台径 56		クロロナデ	灰黄、にぶい黄橙	口縁部 1/6 高台部全周	黒灰輪 砂目3個	H181
70	9次 SD7	肥前陶器 皿	148	31	高台径 92	クロロナデ	オリブ灰、灰白	口縁部 1/5 高台部 1/4	銅緑輪	H164
71	9次 SD14	陶器 皿	107	21.5	30	クロロナデ	灰白	口縁部 1/6 底部 1/3	灰釉 外面燻	H16

番号	遺構	器種	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
72	9次 SK6	肥前陶器 鉢	338.5			ロクロナデ	暗灰黄、にぶい橙、にぶい赤褐	口縁部 1/7 体部 1/6		H169
73	9次 SK10	陶器 鉢	(356)			ロクロナデ	にぶい褐、灰白	口縁部 1/9	銅緑釉	H182
74	9次 SK9	肥前陶器 鉢		高台径 129		ロクロナデ、ケズリ	灰褐	高台部 1/3 体部 1/6	銅緑釉 胎土目3割	H175
75	9次 SD4SD7	肥前陶器 鉢	277	79	高台径 108	ロクロナデ	にぶい黄橙、にぶい橙、明黄褐	口縁部 1/7 高台部 4/9	白土塗銅毛目文	H194
76	9次 SD15	陶器 鉢	(232)			ロクロナデ	灰オリーブ	口縁部 1/8		H13
77	9次 SD4	陶器 鉢			98	ロクロナデ	灰オリーブ、オリーブ褐	底部全周 体部 1/5		H136
78	9次 SD15	陶器 鉢			144	ロクロナデ	赤褐、にぶい赤褐	底部全周 体部 1/5		H136
79	9次 SK6	肥前陶器 鉢	(312)			ロクロナデ	灰褐、赤褐	口縁部 1/12		H168
80	9次 包含層	陶器 鉢			158	ロクロナデ	にぶい黄橙、にぶい黄褐	底部 1/5		H117
81	9次 SK9	肥前陶器 鉢			41	ロクロナデ	にぶい橙、にぶい褐	底部 1/3	透明釉 糸切り痕	H178
82	9次 SK11	肥前陶器 鉢		高台径 46		ロクロナデ	にぶい黄褐、淡黄	高台部 1/3	銅毛目文	H101
83	9次 SK9	肥前陶器 鉢	91	64.5	高台径 39	ロクロナデ	灰白	口縁部 1/9 高台部全周	墨灰釉	H176
84	9次 SD4	唐津焼 埴	109			ロクロナデ	浅黄	口縁部 1/3 体部 1/2		H135
85	9次 SK1	瀬戸焼 丸碗	96			ロクロナデ	梅暗褐、にぶい橙	口縁部 3/13 体部 3/13	鉄釉	H166
86	9次 包含層	肥前陶器 鉢	98			ロクロナデ	浅黄	口縁部 1/5	京焼風	H104
87	9次 SK11	肥前陶器 鉢		高台径 48		ロクロナデ	にぶい黄橙、浅黄	高台部全周		H192
88	9次 SD7	肥前陶器 鉢		高台径 50		ロクロナデ	淡黄	高台部全周	銅緑釉	H160
89	9次 SD5	陶器 鉢		高台径 52		ロクロナデ	淡黄、灰白	高台部全周	外底部割書 透明釉	H150

第11表 石製品観察表

番号	遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考	実測 番号
90	9次 SK9	石罫	147	79	30	(455)	火山礫凝灰岩		H174
91	9次 包含層	石罫	134	88	26	333	火山礫凝灰岩		H128
92	9次 SX1	石罫	(138)	80	21	(260)	火山礫凝灰岩		H116
93	9次 SD6	石罫	137	(83)	24	(325)	粗粒凝灰岩		H152
94	9次 SX1	石罫	(100)	70	35	(345)	火山礫凝灰岩		H117
95	9次 包含層	石罫	(91)	71	17	(132)	火山礫凝灰岩		H130
96	9次 包含層	石罫	(72)	68	26	(135)	粗粒緑色凝灰岩		H129
97	9次 SD5	石罫	(92)	99	21.5	(236)	緑色凝灰岩		H151
98	9次 包含層	砂緑石	(257)	(150)	(110)	(3600)	凝灰岩		H110
99	9次 SD4	石臼	284		100.5	(1930)	緑色凝灰岩	煤付着	H138
100	9次 SK9	砥石	133	70	61	760	緑色凝灰岩	上臼転用	H173
101	9次 SK5	砥石				668	凝灰岩		H170
102	9次 SX1	砥石	(133)	50.5	23	(283)	砂岩	中砥	H115
103	9次 SH	砥石	(92)	(45)	(14)	(65)		ベンガラ付着	H102
104	9次 SK2	砥石	(57)	39	(31)	(85)	凝灰岩	中砥	H197

番号	遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考	実測 番号
105	9次 SK10	砥石	(53)	36.5	18	(45.3)	砂岩	中砥	I183
106	9次 SK11	行火	131	(72.5)	62	18	凝灰岩		I189
107	9次 SD7	行火	154	(109)	38	(1470)	粗粒凝灰岩		I165

第12表 木製品観察表

番号	グリッド 遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	実測 番号
108	9次 SX2	連南下駄	208	96	10			I124
109	9次 SH	木簡	101	29	5.5			I198

第13表 土製・磁製品観察表

番号	グリッド 遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	実測 番号
110	9次 SX2	磁製人形	46	47	31		童か	I122
111	9次 SX2	箱庭道具	68	56~81	42.5~56.5		民家	I123
112	9次 SK11	泥面子					芥子面 高麗聖人か	I195

第14表 金属製品観察表

番号	グリッド 遺構	器種	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	実測 番号
113	9次 SK15	棒状製品	61.5	11	8	5.3	鉄製	I186
114	9次 SK10	銅銭	25	25	1	3.7	寛永通宝	I180
115	9次 SX2	銅銭	23	22.5	1	3.3	一銭	I125
116	9次 SD15	匙	186	28	1	8.2	銅製	I15
117	9次 SK10	不明鉄製品				100		I184

《参考文献》

- 吉岡康暢 1994「中世須恵器の研究」吉川弘文館
- 永井久美男編 1994「中世の出土銭 ～出土銭の調査と分類～」兵庫理蔵銭調査会
- 堀内光次郎 1999「石の文化誌」『中世北陸の石文化1』北陸中世考古学研究会
- 河合忍 安英樹 1999「石麻榑考」『石川県考古資料調査・集成事業報告書 農工具』石川考古学研究会
- 江戸遺跡研究会編 2001『国説江戸考古学研究辞典』柏書房
- 田中照久 本村宏一郎 2005「越前」『中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～』中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～実行委員会
- 柿田祐司 2006「加賀・能登の様相」『中世北陸のカワケと輸入陶磁器・瀬戸美濃製品』北陸中世考古学研究会
- 藤澤良祐 2008「中世瀬戸窯の研究」高志書院
- 水澤幸一 2009「日本海流通の考古学 ～中世武士団の消費生活～」高志書院
- 2009「徳用クヤダ遺跡1」野々市町教育委員会
- 2014「徳用クヤダ遺跡2」野々市市教育委員会



3次A区全景(南東から)



6次SB 1、SK 11(東から)



3次B区SI 5・6、SK 5・6、SD 2(北から)



6次SI 9～15(南から)



6次SK 12～16(東から)



3次B区SD 4・6(東南から)



6次SK 25～27(南から)



6次SI 25、SK 33・34(南東から)



3次B区SK 28～30(西から)



3次B区SK 32、SD 7・8(北から)



6次 SI 29・30・32, SD 9 (北から)



6次 SD 9, SK 46～48 (北から)



6次 SI 28～30 (南東から)



6次 NR 1 (南東から)



3次 B区 SX 10 (南から)



6次 SB 3, SK 54 (南から)



3次 B区 SX 14 (東から)



8次 SI 1 (東から)



8次 SI 2 (西から)



8次 SD 2 (東から)



9次全景東側(南から)



9次SI1(東から)



9次SB4、SI2(東から)



9次SI2、SK15(西から)



9次SK9・10(北から)



9次SK16(南から)



9次SD2(西から)



9次SD4・10(東から)



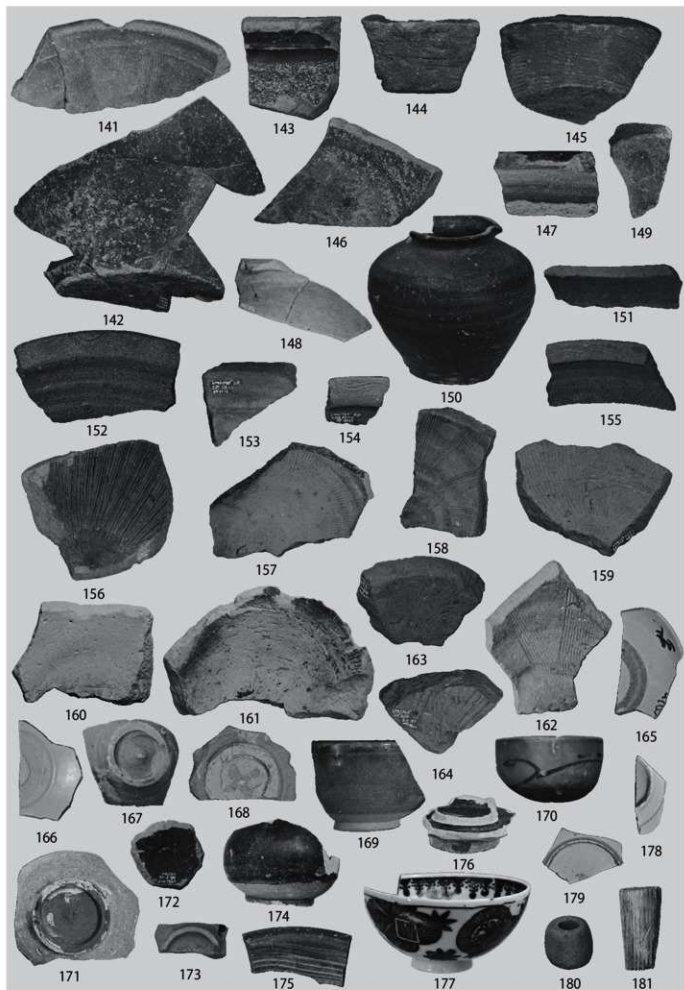
9次SD7・8(南から)

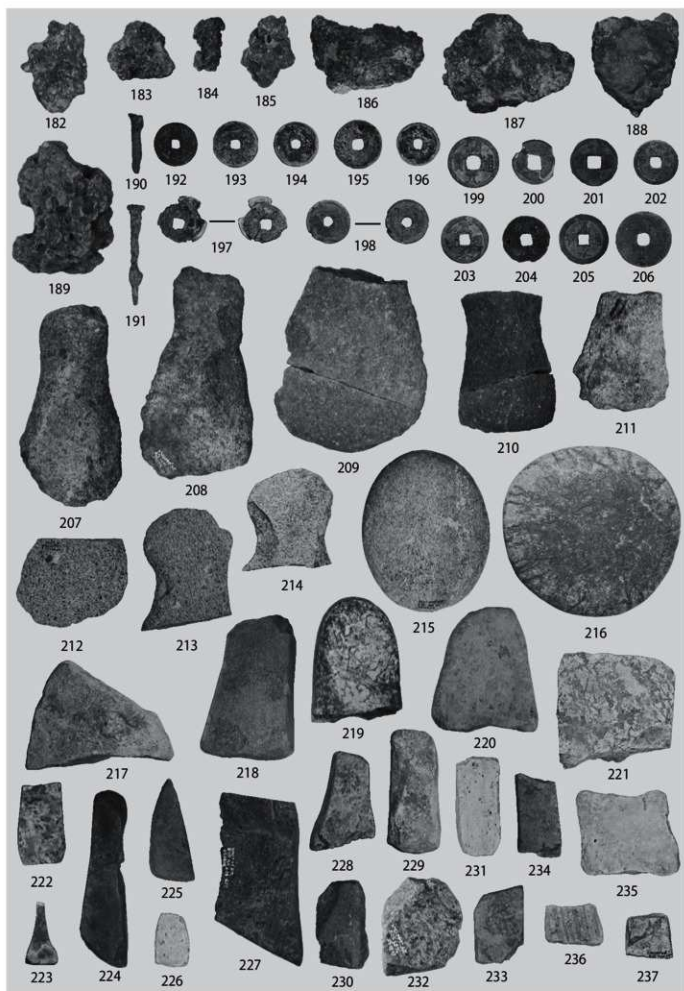


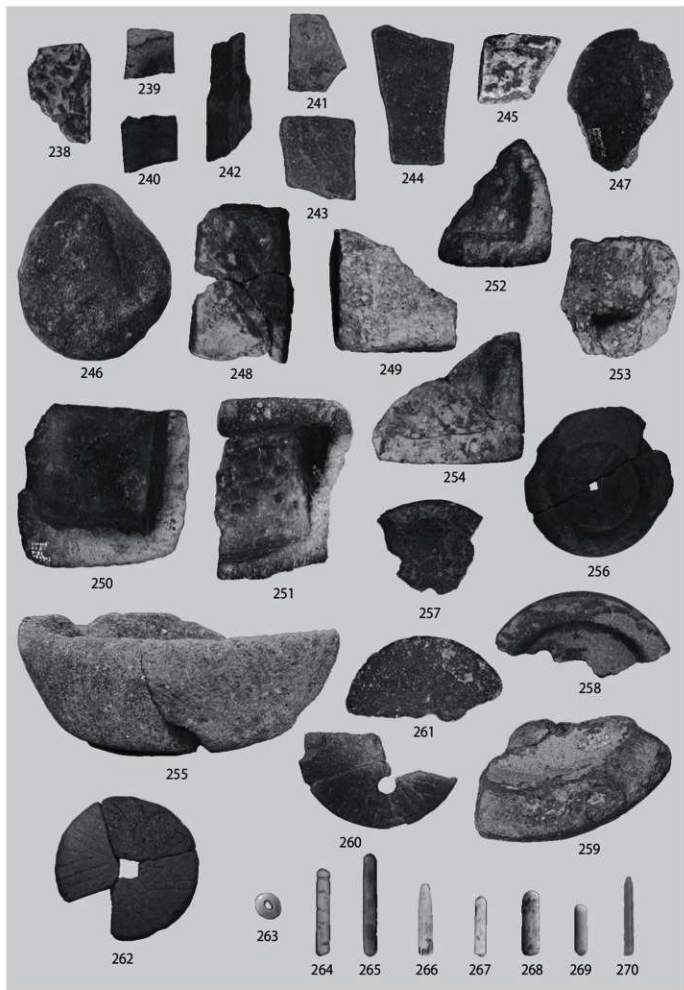
9次SX1・2(北東から)

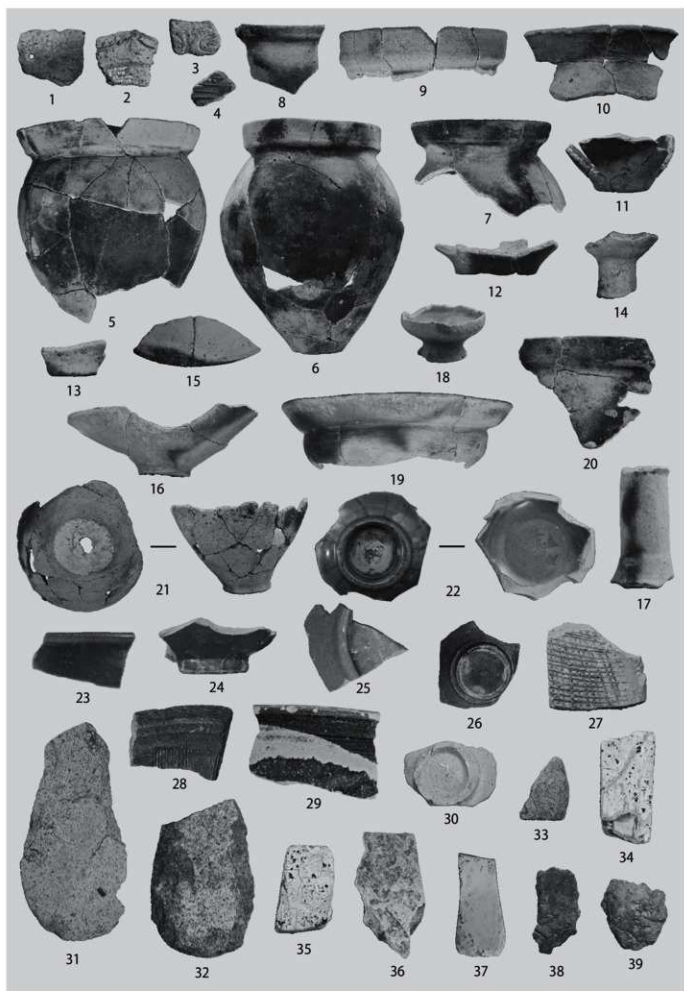


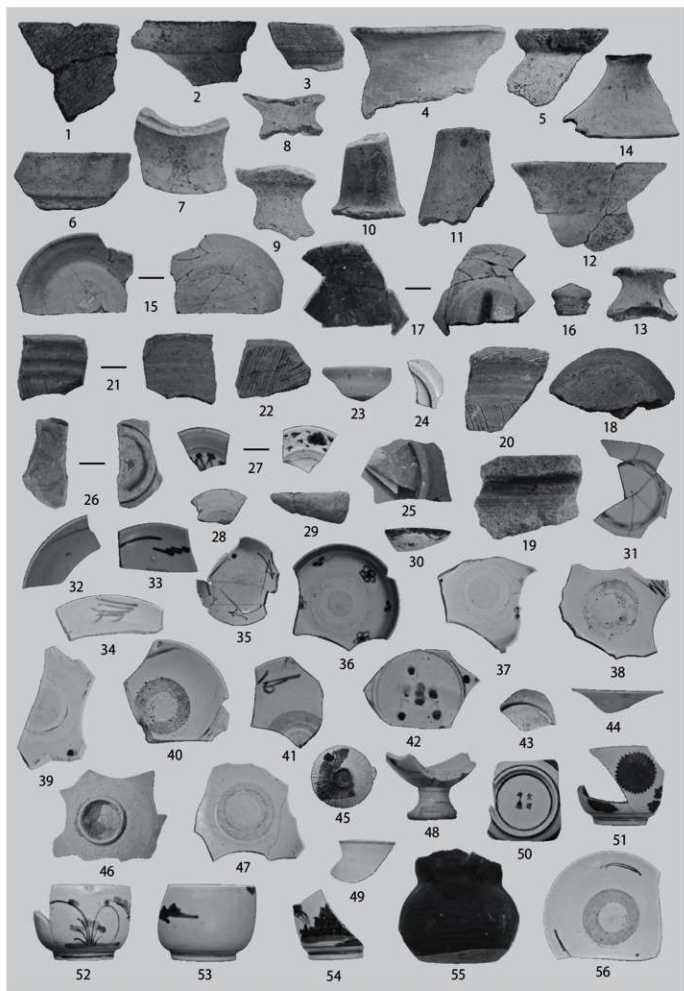


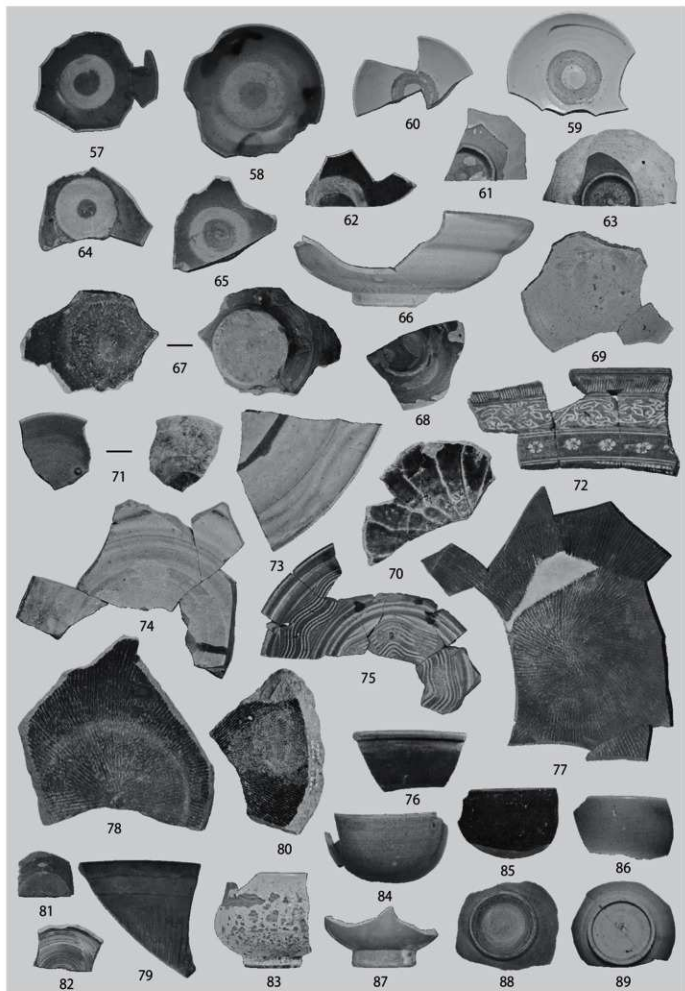


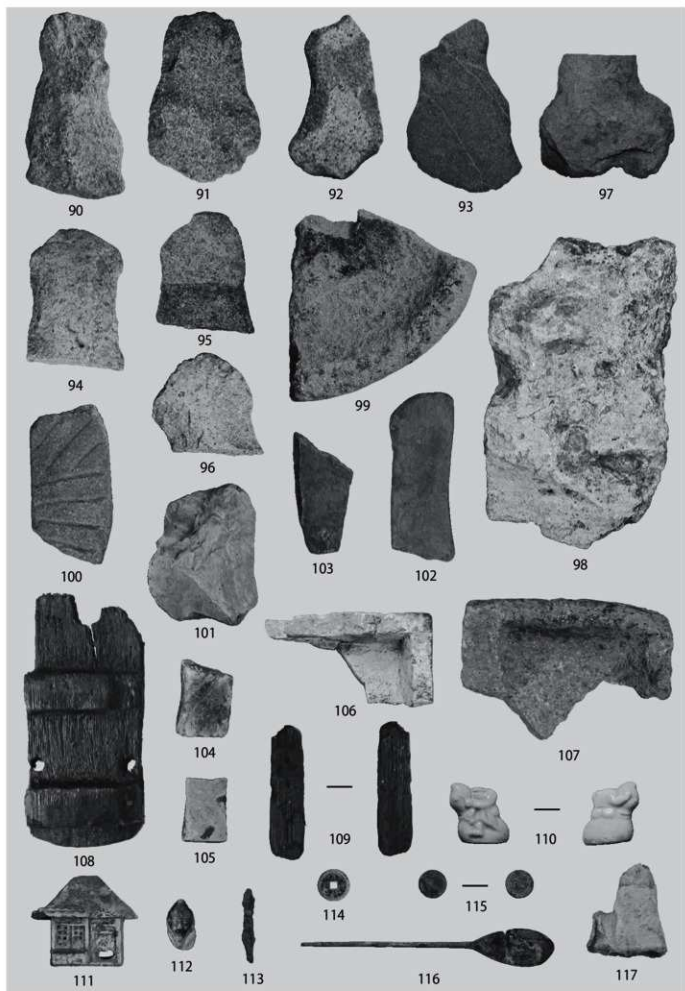












報 告 書 抄 録

ふりがな	とくもとくやだいせき
書名	徳用クヤダ遺跡 3
副書名	
シリーズ名	北西部土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	15
編著者名	田村 昌宏
編集機関	野々市市教育委員会
所在地	〒921-8510 石川県野々市市三納一丁目1番地 TEL 076-227-6122
発行年月日	西暦 2017年2月24日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
とくもとくや 徳用クヤダ遺跡 3次調査	石川県 野々市市 郷町	17344	1201902	36° 53' 30"	136° 58' 80"	20050410 ～ 20051128	1,645	記録保存 調査
とくもとくや 徳用クヤダ遺跡 6次調査	石川県 野々市市 郷町	17344	1201902	36° 53' 28"	136° 58' 95"	20080409 ～ 20090130	3,332	記録保存 調査
とくもとくや 徳用クヤダ遺跡 8次調査	石川県 野々市市 徳用町	17344	1201902	36° 53' 37"	136° 58' 84"	20091201 ～ 20100202	601	記録保存 調査
とくもとくや 徳用クヤダ遺跡 9次調査	石川県 野々市市 郷町	17344	1201902	36° 53' 75"	136° 58' 84"	20100420 ～ 20100831	2,011	記録保存 調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
徳用クヤダ遺跡 3次調査	集落	弥生、中世 近世	掘立柱建物、竪穴状遺構、土坑、溝	弥生土器、中世土師器、中世陶磁器 近世陶磁器、銅銭、砥石、行火	
徳用クヤダ遺跡 6次調査	集落	古代、中世 近世	掘立柱建物、竪穴状遺構、土坑、溝	弥生土器、中世土師器、中世陶磁器 近世陶磁器、石銚、砥石、石臼	
徳用クヤダ遺跡 8次調査	集落	縄文、弥生 中世	竪穴建物、溝	縄文土器、弥生土器、中世陶磁器 石銚、砥石	
徳用クヤダ遺跡 9次調査	集落	弥生、中世 近世	掘立柱建物、竪穴状遺構、土坑、溝	弥生土器、中世陶磁器、近世陶磁器 石銚、砥石、行火	

要 約

弥生時代は、第8次調査区で後期後半の竪穴建物2棟を検出している。過年度調査を含めて本遺跡において確認した竪穴建物は本次調査区での2棟のみである。本遺跡の北隣に位置する郷クボタ遺跡が当該時期の集落の中心であることが判明していることから、2棟の竪穴建物は当該時期の集落の南端にある。

中世は本報告のほぼ全域で遺構・遺物を確認しており、14～15世紀を中心とした集落跡である。第3・6次調査区では、掘立柱建物や竪穴状遺構が密集し、溝で区画された中に造り替えを繰り返している。本遺跡は中世後半の集落の中心にあたり、計画的な村立を行っている。

近世は、第9次調査区で東西を走る大溝や掘立柱建物、竪穴状遺構を検出しており、江戸時代後半の集落の一端を垣間見ることができる。第9次調査区の北側には郷町の現集落があり、本次調査区で確認した近世集落は郷町の前進にあたると思われる。

2017年2月24日 発行

北西部土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書15

徳用クヤダ遺跡 3

著作権所有 石川県野々市市三納一丁目1番地

発行者 野々市市教育委員会

印刷者 石川県野々市市太平寺四丁目60
有限会社アサヒヤ印刷

